



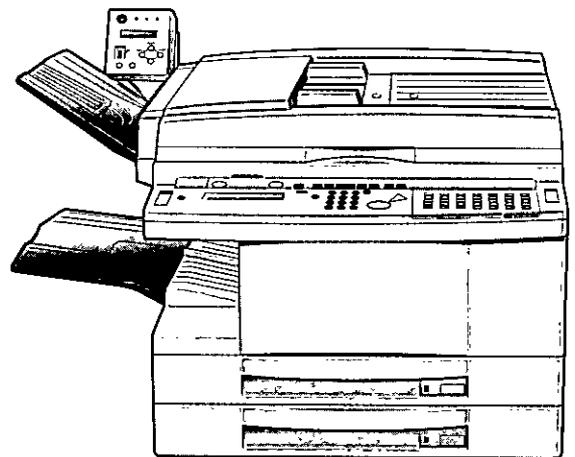
NTTFAX D-60

PCプリンタユニット

— プリンタ機能ガイド —

このたびはNTTFAX D-60 PCプリンタユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「プリンタ機能ガイド」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お使いになったあとも、本機のそばなどいつも手もとにおいてお使いください。



マニュアルの構成について

本機には、次のようなマニュアルが用意されています。目的に応じてマニュアルをお読みいただき、本機を十分にご活用ください。また、マニュアルはお読みいただいた後も、大切に保管しておいてください。

電源の入れかたを知りたい

保守や点検の方法を知りたい等

NTTFAX D-60
取扱説明書



プリンタ機能を使う準備をしたい

困ったときには

ユーザズガイド



プリンタドライバをインストールしたい

印刷したい

インストールガイド



より詳しく知りたい

プリンタ機能ガイド
(本書)

プリンタユニット操作パネルによるメニュー機能の使いかたなどを解説しています。プリンタ機能に関するリファレンス的なマニュアルです。



目次

本書の読みかた	VII
PCプリンタユニットが対応しているコントロールコマンドについて	VIII

第1章 メニュー機能とは

1	メニュー機能とは	2
	メニュー機能とは	2
	メニューの種類	3
2	メニューの機能と構造	4
	セットアップメニューの機能と構造	4
	動作モードメニューの機能と構造	7
	優先エミュレーションメニューの機能と構造	8
	ユーティリティメニューの機能と構造	8
	給紙選択メニューの機能と構造	9
	トレイ用紙サイズ選択メニューの機能と構造	10

第2章 メニュー機能の使いかた

1	操作ボタンの使いかた	12
2	ディスプレイの見かた	14
	メニューの構造	14
	メニュー操作を行える状態	14
	ディスプレイの見かた	15
3	メニューの操作の流れ	16
	共通セットアップメニューの操作の流れ	16
	LIPS専用セットアップメニューの操作の流れ	18
	N201, ESC/P専用セットアップメニューの操作の流れ	20
	動作モードメニューの操作の流れ	23
	優先エミュレーションメニューの操作の流れ	24
	ユーティリティメニューの操作の流れ	26
	給紙選択メニューの操作の流れ	28
	トレイ用紙サイズ選択メニューの操作の流れ	29

第3章 共通セットアップメニューの設定

1	拡張機能グループを設定する	34
	プリントの部数を設定する (コピーミスウ)	34
	データの終了を待たずにジョブを終了するタイマーを設定する (タイムアウト)	34
	本機を使わないときにプリンタユニット操作パネルの表示を消すタイマーを設定する (パネルオフモード)	35
	エラー時のブザーの鳴りかたを設定する (ブザー)	36
	警告時のメッセージが表示されないようにする (ケイコク ヒョウジ)	36
	トナーを節約してプリントする (トナー セツヤク)	36
	印字濃度を調整する (トナー ノウド)	37
	トナーが少なくなったときに自動的にプリントを停止させる (ケイコク ショリ)	37
	エラー時も自動的にプリントを続行させる (ジドウ エラースキップ)	38
	ディスプレイの表示言語を設定する (ヒョウジ ゲンゴ)	38
	動作モード自動切り替えの対象を設定する (ジドウ キリカエ)	39
2	給紙グループを設定する	40
	手差しトレイにセットした用紙サイズを設定する (トレイ ヨウシ サイズ)	40
	用紙サイズが特定できない場合の本機の処理サイズを設定する (デフォルト ヨウシ サイズ)	41
	用紙の置きかたに合わせて用紙の向きを設定する (ヨウシノムキ)	41
	手差しトレイ、給紙カセットの順にセットされた用紙を検知する (トレイ ユウセン)	42
	自動給紙に使用する手差しトレイ、給紙カセットを選択する (ジドウ センタク)	43
	本機の初期状態の用紙タイプを設定する (デフォルト ヨウシ タイプ)	43
3	レイアウトグループを設定する	44
	印字位置を調整する (タテホセイ) (ヨコホセイ)	44
	綴じる位置を用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定する (トジ ホウコウ)	45
	綴じしろ用の余白の幅を設定する (トジ ハバ)	46
4	印字調整グループを設定する	48
	スムージング処理の設定をする (スーパースムーズ)	48
	スーパーファイン/ファインモードでプリントを行うためのメモリを確保する (インジ ホシヨウ)	49
	スーパーファイン/ファイン/クイックモードの設定をする (カイゾウド)	51
	微妙な階調を表現する方法を選択する (チュウカンチョウ センタク)	52
	バンド制御の設定をする (バンド セイギョ)	53
	指定された解像度で印字できないときにメッセージを表示する (ガシツ ケイコク)	54
	図形処理などを行うメモリの設定をする (システムワーク メモリ)	54
	フォーム画像のためのメモリ領域を設定する (フォームキャッシュ メモリ)	55
5	インタフェースグループを設定する	57
	インタフェースの種類を設定する (インタフェース センタク)	57
	BUSY信号とACKNLG信号の出力順序を変更する (busy-ack)	58
	セントロニクスのデータの受信速度を設定する (セントロ ジュシン ソクド)	58
	セントロニクスのデータの送信速度を設定する (セントロ ソウシン ソクド)	59
	インプットブライム受信時の処理を設定する (インプットブライム)	59
	データの双方向通信を設定する (ソウホウコウ)	60
	受信バッファのサイズを設定する (ジュシンバッファ)	61
6	セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す	62

第4章 LIPS専用セットアップメニューの設定

拡大／縮小してプリントする（カクダイ／シュクショウ）	64
複数ページのデータを1ページにプリントする（フクスウページインサツ）	65
用紙を縦に使うか横に使うかを設定する（ページノムキ）	66
オーバーレイプリントの設定をする（オーバーレイ1）（オーバーレイ2）	67
スタートアップマクロ機能を使う（スタートアップ マクロ）	68
コンピュータに合わせて漢字コードの種類を設定する（カンジコード）	69
文字の大きさを設定する（モジサイズ）	70
漢字の書体を設定する（カンジショタイ）	71
ANK文字の書体を設定する（ANKショタイ）	71
JISコードの種類を切り替える（カンジグラフィックセット）	72
1ページの行数を設定する（ギョウスウ）	72
1行の文字数を設定する（ケタスウ）	73
自動改ページの設定をする（ジドウカイページ）	73
自動改行の設定をする（ジドウカイギョウ）	74
復帰コード受信時の動作を設定する（CRキノウ）	74
改行コード受信時の動作を設定する（LFキノウ）	75
網かけデータの解像度を設定する（アミカケカイゾウド）	75
「タイムアウト」機能を有効にするかどうかを設定する（ジョブタイムアウト）	76
白紙ページを排出しないようにする（ハクシセツヤク）	76

第5章 N201専用セットアップメニューの設定

1 ページレイアウトグループを設定する	78
ページフォーマットを設定する（ページフォーマット）	78
給紙方法に合わせて用紙位置を設定する（ヨウシイチ）	80
上余白を設定する（ウエヨハク）	81
用紙位置を左右に微調整する（ヨウシイチビチョウセイ）	83
印字領域を設定する（リョウイキ）	85
右マージンの位置を設定する（ミギマージンキテイチ）	85
用紙サイズを設定する（ヨウシサイズ）	86
2ページ分のデータを1ページにプリントする（2ページインサツセツテイ）	86
2 フォントグループを設定する	88
漢字書体を設定する（カンジショタイ）	88
ID番号で漢字書体を指定する（フォントID）	89
漢字サイズを設定する（カンジサイズ）	89
ゼロの書体を選択する（ゼロショタイ）	90
国別文字を設定する（クニベツモジ）	90
JISコードの種類を切り替える（カンジグラフィックセット）	90
3 印字機能グループを設定する	92
イメージデータを補正する（イメージノホセイ）	92
本機に登録された文字（外字）の印字サイズを設定する（ガイジサイズ）	93
グラフィックのドットピッチを設定する（グラフィック）	93

4	印字動作グループを設定する	94
	復帰コード受信時の動作を設定する (CRキノウ)	94
	印字開始命令を設定する (インジシレイ)	95
	右マージンを超えたときの動作を設定する (バッファフル)	95
5	VFCグループを設定する	96
	カット紙で有効になるページ長を選択する (タンピョウヨウシチョウキノウ)	96
	初期状態で有効になるページ長を選択する (ヨウシチョウキノウ)	97
	ページ長を設定する (ヨウシチョウセツテイ)	97
	ミシン目スキップ行数を設定する (ミシンメスキップ)	98
6	その他のグループを設定する	99
	本機に登録された文字をどの時点まで保持するかを設定する (トウロクレベル)	99

第6章 ESC/P専用セットアップメニューの設定

1	ページレイアウトグループを設定する	102
	ページフォーマットを設定する (ページフォーマット)	102
	上余白を設定する (ウエヨハク)	104
	用紙位置を左右に微調整する (ヨウシイチビチョウセイ)	106
	印字領域を設定する (リョウイキ)	107
	右マージンの位置を設定する (ミギマージンキテイチ)	108
	用紙サイズを設定する (ヨウシサイズ)	108
	2ページ分のデータを1ページにプリントする (2ページインサツセツテイ)	109
2	フォントグループを設定する	111
	漢字書体を設定する (カンジショタイ)	111
	ID番号で漢字書体を指定する (フォントID)	112
	漢字サイズを設定する (カンジサイズ)	112
	1バイトコード表の文字セットを設定する (モジコード)	113
	国別文字を設定する (クニベツモジ)	113
3	印字機能グループを設定する	114
	イメージデータを補正する (イメージノホセイ)	114
	縮小文字プリントを設定する (シュクショウモジ)	115
4	印字動作グループを設定する	116
	自動改行を設定する (カイギョウキノウ)	116
5	VFCグループを設定する	117
	連続用紙のページ長を設定する (レンゾクヨウシチョウ)	117
	カット紙のページ長を設定する (タンピョウヨウシチョウ)	118
	ミシン目スキップ行数を設定する (ミシンメスキップ)	119
6	その他のグループを設定する	120
	本機に登録された文字をどの時点まで保持するかを設定する (トウロクレベル)	120

第7章 セットアップ以外のメニューの設定

1 動作モードメニューを設定する	122
2 優先エミュレーションメニューを設定する	125
3 ユーティリティメニューを設定する	126
4 給紙選択メニューを設定する	129
5 トレイ用紙サイズ選択メニューを設定する	131

付録A

1 LIPSについて	134
LIPS内蔵フォント	134
2 N201について	138
N201エミュレーションのページフォーマット	138
PC-PR201/80Aプリンタとの違い	144
3 ESC/Pについて	146
ESC/Pエミュレーションのページフォーマット	146
ESC/P準拠プリンタとの違い	151

付録B

1 ダンプリスト	154
2 動作モード共通のリスト	157
3 動作モード専用のリスト	160
4 本機についての注意事項	164
本機の制限事項	164
スーパーファインモード (1200dpi) 時の制限事項	164
用語索引	166
商標について	171

巻末

 メニュールートマップ

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作するうえでの制限や参考にしていただきたい事の説明には、次のようなマークを付けています。



お願い

- 操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。



メモ

- 操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書の説明文中で、本体とプリンタユニットの操作パネルのボタンを表すときは、ボタンの名称を[]で囲んでいます。

<例>

[オンライン]ボタン : 「オンライン」の表示があるボタンを表しています。

略称について

EUCは、Extended Unix Codeの略称です。

本書ではMicrosoft® Windows®をWindowsと表記しています。

- 外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

PCプリンタユニットが対応しているコントロールコマンドについて

● 3種類のコントロールコマンドに標準対応

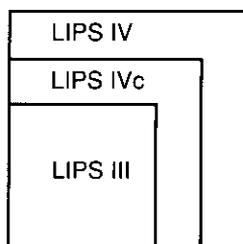
PCプリンタユニットは標準でLIPS、N201エミュレーションコマンド、ESC/Pエミュレーションコマンドの3種類のコントロールコマンドに対応しています。

コントロールコマンドとは、プリンタを制御するためのコマンド体系のことで、コンピュータからのデータをプリントするという一連の作業は、すべてコンピュータから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

PCプリンタユニットが標準で対応している3種類のコントロールコマンドのうち、LIPSは、LBP Image Processing System の略で、キヤノン(株)のページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。

N201エミュレーションコマンドはNECのPC-PR201/80Aプリンタを、ESC/PエミュレーションコマンドはESC/P準拠プリンタをエミュレートする(まねをする)コマンドです。

LIPSには、現在LIPS II、LIPS II⁺、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVのバージョンがあります。これらのうちPCプリンタユニットでは、LIPS II⁺、LIPS III、LIPS IVに対応しています。



*LIPS IVc対応アプリケーションソフトからも本機でプリントすることができますが、カラープリントはできません。また、解像度の違いにより、プリント結果の見た目も異なります。

● コントロールコマンドごとの動作モード

それぞれのコントロールコマンドを認識してプリントできる状態にするには、「動作モード」を各コントロールコマンドに対応させる必要があります。LIPSのコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「LIPSモード」、N201のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「N201エミュレーションモード」、ESC/Pのコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「ESC/Pエミュレーションモード」に切り替えます。

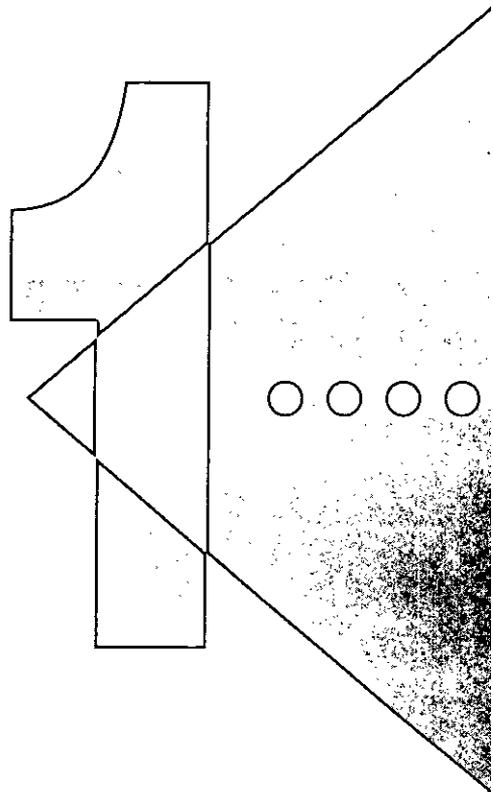
PCプリンタユニットでは、プリンタユニット操作パネルのメニュー機能を使って動作モードを切り替えたり、プリントするときの環境を設定することができます。

詳しくは「メニュー機能とは」P.2をご覧ください。

第1章

メニュー機能とは

1	メニュー機能とは	2
2	メニューの機能と構造	4



1 メニュー機能とは

メニュー機能とは

1

第1章
メニュー機能とは

プリント時にはプリント枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。しかし、本機には、プリント枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、用途に応じて設定しプリントできます。本機の設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。

メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能を設定する方法には次の2種類があります。

プリンタユニット操作パネルで設定する方法

→プリンタユニット操作パネルのディスプレイの表示を見ながらボタンを押して操作します。

本機に付属のソフトウェア「NetSpot」で設定する方法

→プリンタユニット操作パネルで行う設定とほぼ同様の設定が、コンピュータ側から行うことができます。

本書ではプリンタユニット操作パネルでメニュー機能を設定する場合に限って説明します。「NetSpot」で設定する方法については「インストールガイド」をご覧ください。

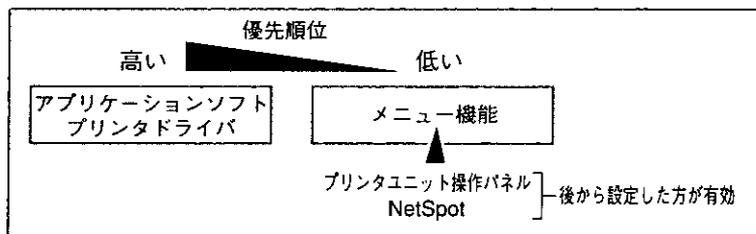


メモ

●メニュー機能の設定内容は、通常は電源を切っても消えないメモリ(NVRAM)に登録されます。したがって電源を入れ直しても、電源を切る前と同じ設定で起動します。

▶設定の優先順位

メニュー機能とアプリケーションソフトやプリンタドライバとで、同じ設定項目がある場合には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。また、メニュー機能にしかない項目を、プリンタユニット操作パネルで行う場合とNetSpotで行う場合では、後から設定した方が有効になります。



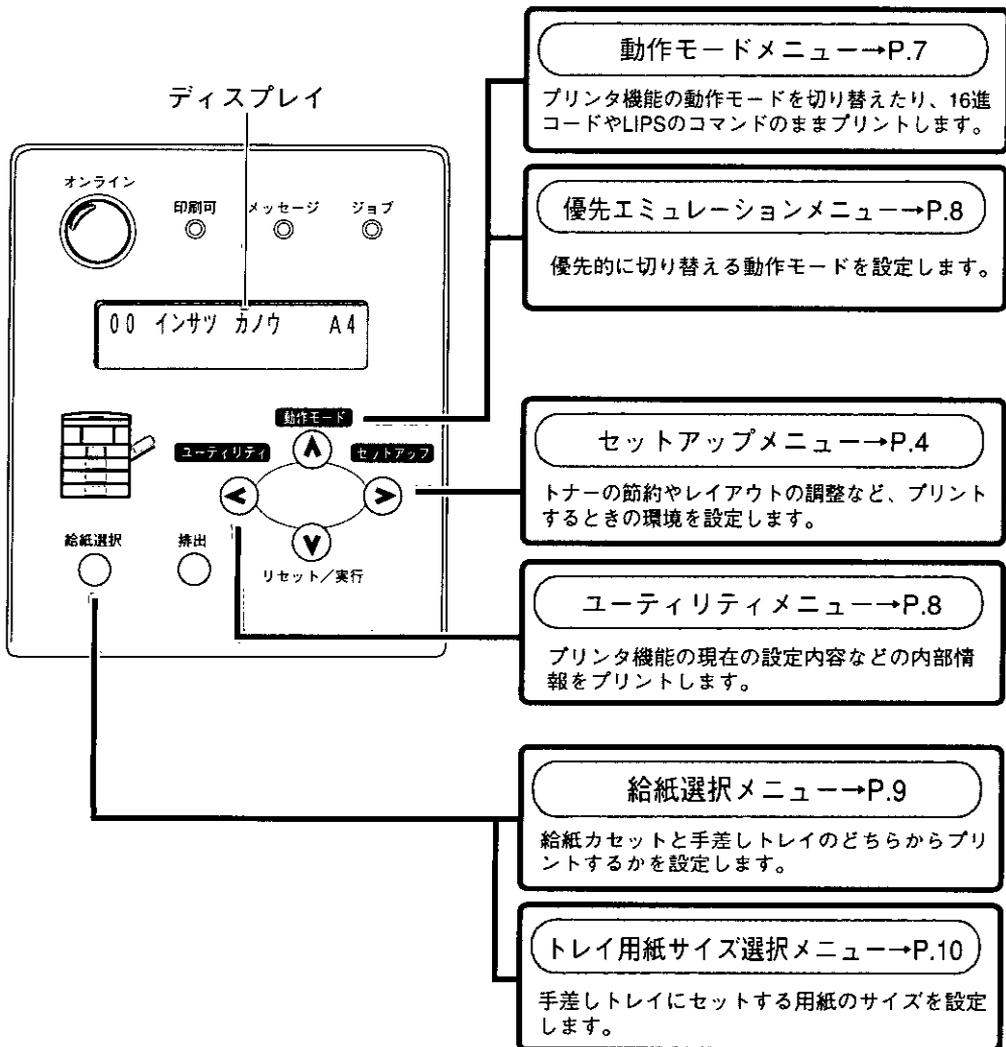
* Windows用プリンタドライバやNetSpotなどは、本機に付属しているCD-ROMからインストールします。インストール方法や操作方法については「インストールガイド」をご覧ください。

メニューの種類

メニューには次の6種類があります。

- ・セットアップメニュー
- ・動作モードメニュー
- ・優先エミュレーションメニュー
- ・ユーティリティメニュー
- ・給紙選択メニュー
- ・トレイ用紙サイズ選択メニュー

それぞれのメニューは、本機をオフラインにした状態でプリンタユニット操作パネルの以下のボタンを押して、ディスプレイに表示します。



2 メニューの機能と構造

セットアップメニューの機能と構造

1

第1章
メニュー機能とは

ここでは、セットアップメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「メニューの操作の流れ」P.16～P.22をご覧ください。

●セットアップメニューの機能

本機をオフライン状態にして、プリンタユニット操作パネルの[セットアップ]ボタンを押すと、ディスプレイにセットアップメニューが表示されます。

セットアップメニューでは、印字する位置や文字の種類、コンピュータと接続するときのインタフェースの設定などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。

通常、プリント環境は、接続しているコンピュータのアプリケーションソフトで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、本機のセットアップメニューでしか行えないものもあります。また、印刷条件を設定できないアプリケーションソフトを使用しているときや、MS-DOSのコマンドでテキストファイルを直接プリントするときなども、本機のセットアップメニューでプリント環境を設定します。

本機では、LIPS、N201エミュレーション、ESC/Pエミュレーションの3種類の動作モードが標準で内蔵されています。

セットアップメニューには、どの動作モードを使用しているも有効な項目を設定する「共通セットアップメニュー」と、それぞれの動作モード個別の項目を設定する「専用セットアップメニュー」があります。

詳しい項目の内容については以下をご覧ください。

「第3章 共通セットアップメニューの設定」→P.34

「第4章 LIPS専用セットアップメニューの設定」→P.64

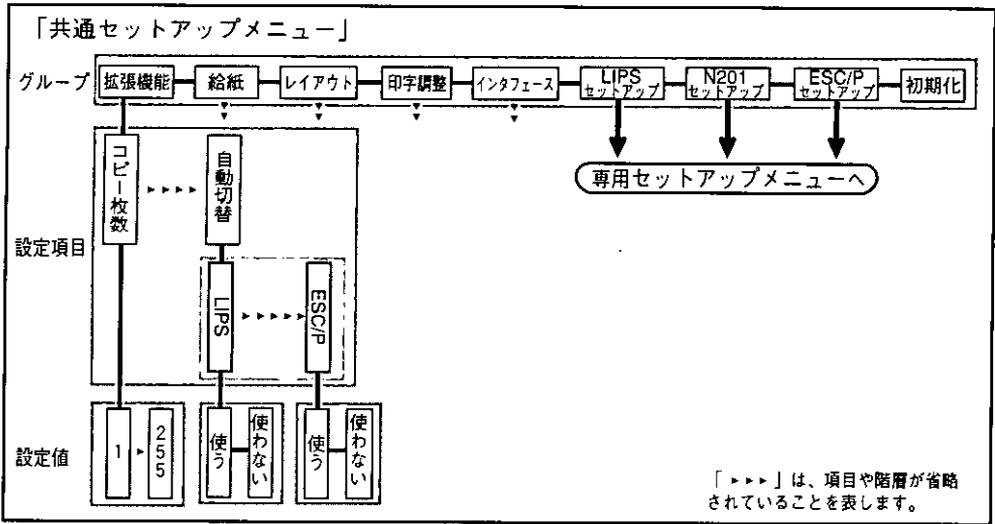
「第5章 N201専用セットアップメニューの設定」→P.78

「第6章 ESC/P専用セットアップメニューの設定」→P.102

●セットアップメニューの構造

共通セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の3つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。

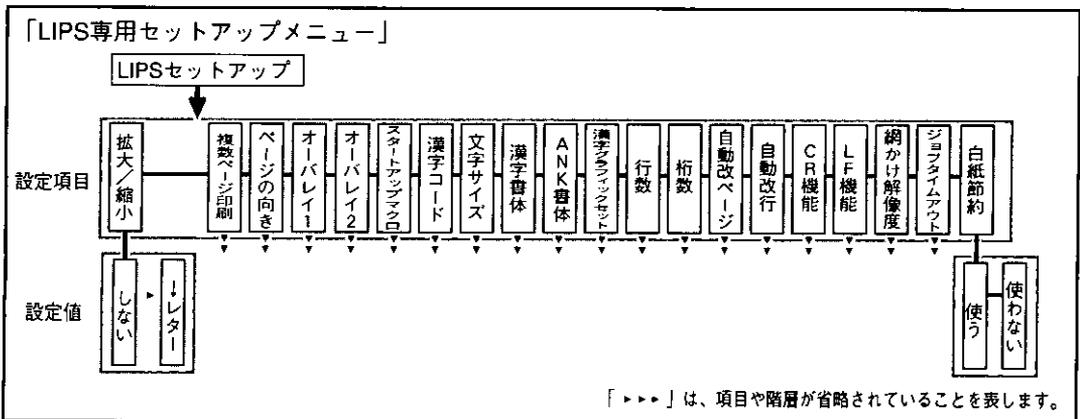
グループの階層で「LIPS」「N201」「ESC/P」のいずれかを選択すると、それぞれの専用セットアップメニューに移行します。



- 上図の「拡張機能」グループの「自動切替」のように、設定項目の階層が2つに分かれているものや、「初期化」のように階層が1つだけのものもあります。
- 動作モードメニューで、特定の動作モード(LIPSなど)に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用セットアップメニューに移行することはできません。

共通セットアップメニューのグループの階層で「LIPSセットアップ」を選択すると、LIPS専用セットアップメニューに移行します。

LIPS専用セットアップメニューは、「設定項目」と「設定値」の2つの階層に分かれています。

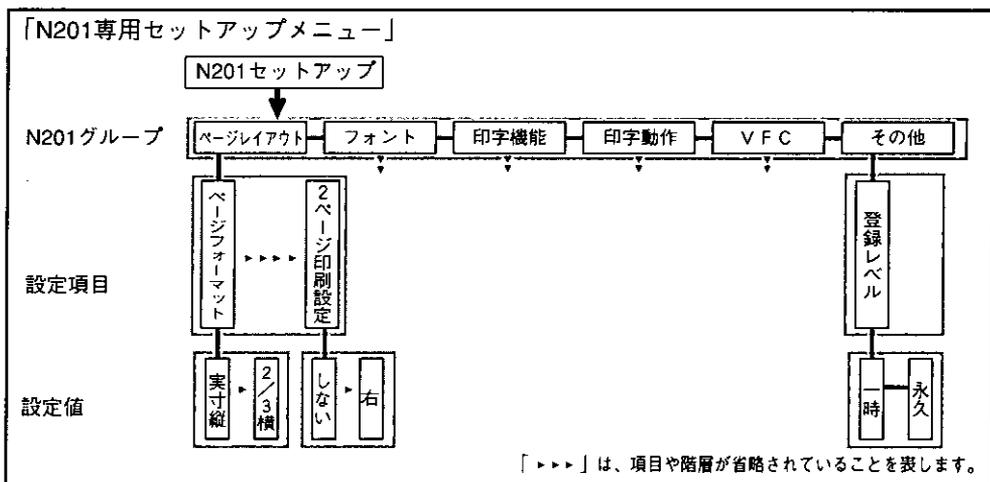


1

第1章
メニュー機能とは

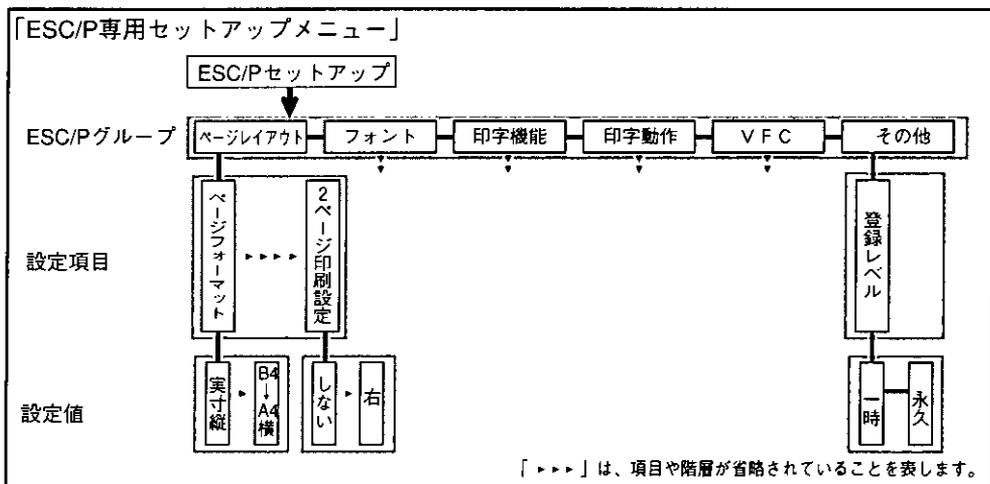
共通セットアップメニューのグループの階層で「N201セットアップ」を選択すると、N201専用セットアップメニューに移行します。

N201専用セットアップメニューは、「N201グループ」「設定項目」「設定値」の3つの階層に分かれています。



共通セットアップメニューのグループの階層で「ESC/Pセットアップ」を選択すると、ESC/P専用セットアップメニューに移行します。

ESC/P専用セットアップメニューは、「ESC/Pグループ」「設定項目」「設定値」の3つの階層に分かれています。



動作モードメニューの機能と構造

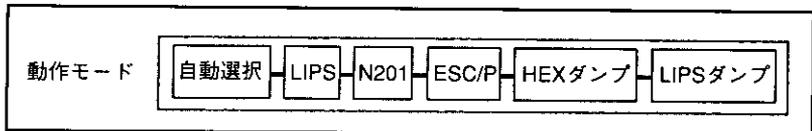
ここでは、動作モードメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「動作モードメニューの操作の流れ」P.23をご覧ください。

●動作モードメニューの機能

本機をオフライン状態にして、プリンタユニット操作パネルの[動作モード]ボタンを押すと、ディスプレイに動作モードメニューが表示されます。動作モードメニューでは、お使いのアプリケーションソフトで選択したプリンタの種類に合わせて、LIPSモードで動作するのか、N201やESC/Pなどのエミュレーションモードで動作するのかを設定することができます。しかし工場出荷時の設定で自動的に切り替わるようになっているので、通常はこの設定を変える必要はありません。また、データを文字や図形に変換せずに16進コードやLIPSのコントロールコマンドの状態でプリントするダンプモードに切り替えることもできます。詳しい項目の内容については、「動作モードメニューを設定する」P.122をご覧ください。

●動作モードメニューの構造

動作モードメニューの階層は1つです。



優先エミュレーションメニューの機能と構造

ここでは、優先エミュレーションメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「優先エミュレーションメニューの操作の流れ」P.24をご覧ください。

●優先エミュレーションメニューの機能

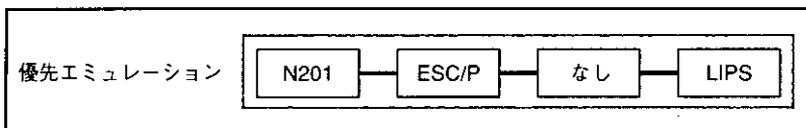
本機をオフライン状態にして、プリンタユニット操作パネルの[動作モード]ボタンを約3秒以上押すと、ディスプレイに優先エミュレーションメニューが表示されます。

優先エミュレーションメニューでは、動作モードの自動切り替えを設定した状態で、本機がコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

詳しい項目の内容については、「優先エミュレーションメニューを設定する」P.125をご覧ください。

●優先エミュレーションメニューの構造

優先エミュレーションメニューの階層は1つです。



ユーティリティメニューの機能と構造

ここでは、ユーティリティメニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「ユーティリティメニューの操作の流れ」P.26をご覧ください。

●ユーティリティメニューの機能

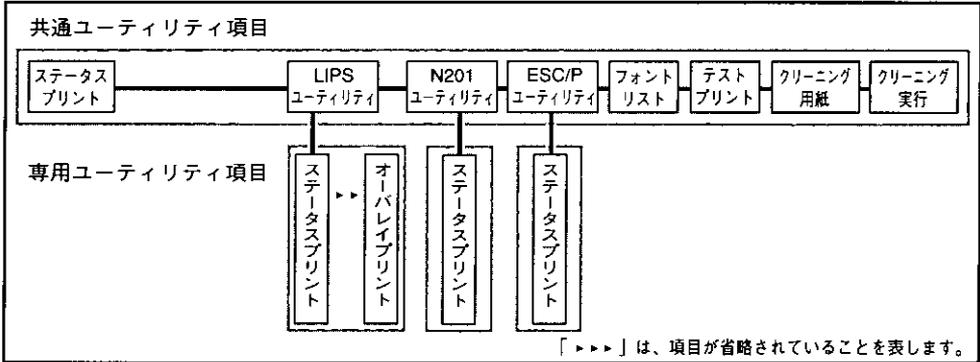
本機をオフライン状態にして、プリンタユニット操作パネルの[ユーティリティ]ボタンを押すと、ディスプレイにユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、搭載されているフォントなどの情報をプリントして確認することができます。

詳しい項目の内容については、「ユーティリティメニューを設定する」P.126をご覧ください。

●ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューは、LIPS、N201エミュレーション、ESC/Pエミュレーションなどの各動作モードに共通して選択できる「共通ユーティリティ項目」と、各動作モードごとに選択する「専用ユーティリティ項目」の2つの階層に分かれています。



メモ

- 動作モードメニューで、特定の動作モード(LIPSなど)に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用ユーティリティ項目を設定することはできません。

給紙選択メニューの機能と構造

ここでは、給紙選択メニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「給紙選択メニューの操作の流れ」P.28をご覧ください。

●給紙選択メニューの機能

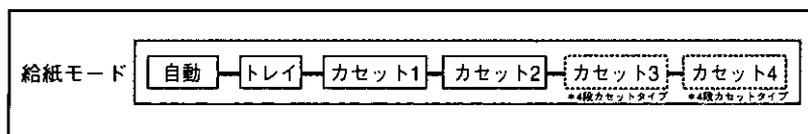
本機をオフライン状態にして、プリンタユニット操作パネルの[給紙選択]ボタンを押すと、給紙選択メニュー、トレイ用紙サイズ選択メニューのいずれかをディスプレイで選ぶことができます。このときに「給紙モード」を選ぶと、給紙選択メニューが表示されます。

給紙選択メニューでは、どの給紙カセットまたは手差しトレイからプリントするかを選択できます。選択後、プリンタユニット操作パネル上の該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

詳しい項目の内容については、「給紙選択メニューを設定する」P.129をご覧ください。

●給紙選択メニューの構造

給紙選択メニューの階層は1つです。



トレイ用紙サイズ選択メニューの機能と構造

ここでは、トレイ用紙サイズ選択メニューの機能とメニュー構造について説明します。操作の方法については、「トレイ用紙サイズ選択メニューの操作の流れ」P.29をご覧ください。

●トレイ用紙サイズ選択メニューの機能

本機をオフライン状態にして、プリンタユニット操作パネルの[給紙選択]ボタンを押すと、給紙選択メニュー、トレイ用紙サイズ選択メニューのいずれかをディスプレイで選ぶことができます。このときに「トレイ用紙サイズ」を選ぶと、トレイ用紙サイズ選択メニューが表示されます。

詳しい項目の内容については、「トレイ用紙サイズ選択メニューを設定する」P.131をご覧ください。

トレイ用紙サイズ選択メニューでは、手差しトレイにセットして使う用紙のサイズを設定します。手差しトレイは自動的に用紙のサイズを検知できないので、本メニューで用紙のサイズを設定する必要があります。



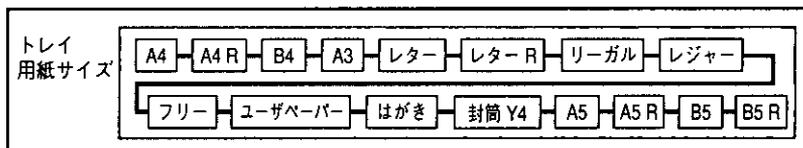
メモ

●共通セットアップメニューの給紙グループの「トレイ ヨウシ サイズ」でも同様の設定ができます。

「手差しトレイにセットした用紙サイズを設定する」→P.40

●トレイ用紙サイズ選択メニューの構造

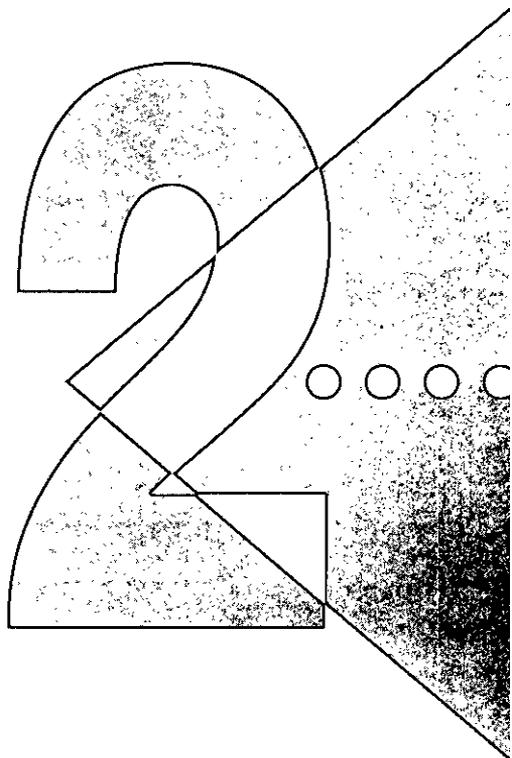
トレイ用紙サイズ選択メニューの階層は1つです。



第2章

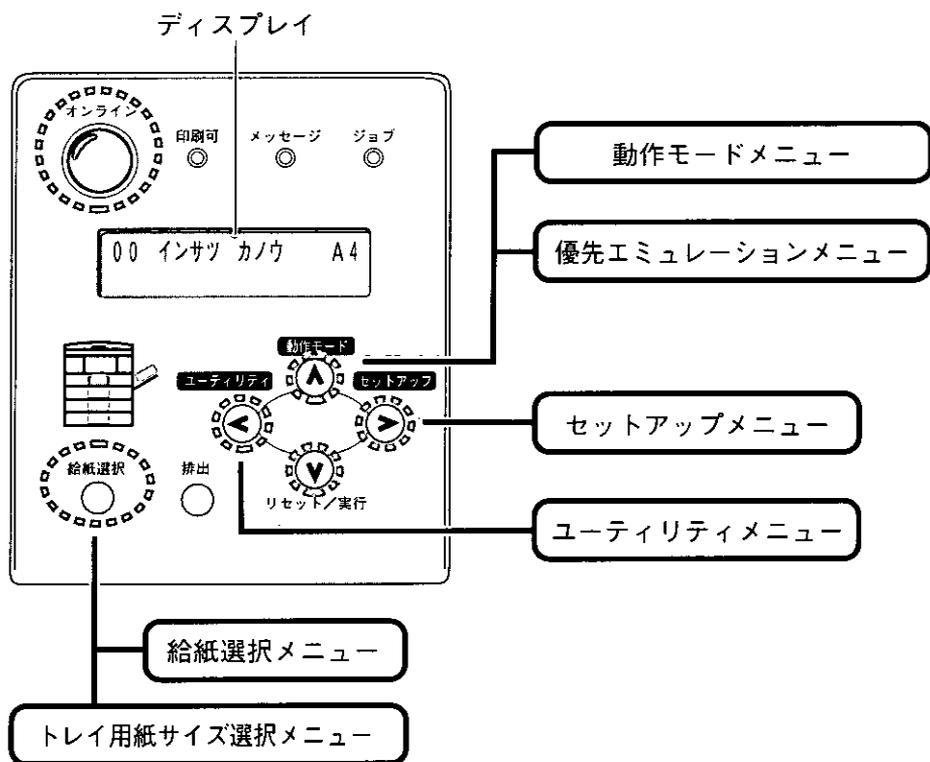
メニュー機能の使いかた

1 操作ボタンの使いかた	12
2 ディスプレイの見かた	14
3 メニューの操作の流れ	16



1 操作ボタンの使いかた

メニューの操作には、以下の点線で囲まれたボタンを使います。それらのうち、[動作モード]ボタン、[セットアップ]ボタン、[ユーティリティ]ボタン、[給紙選択]ボタンには、メニューを表示する機能があります。



* [動作モード]ボタンと[給紙選択]ボタンには複数のメニューが割り当てられています。[動作モード]ボタンは、ボタンを押す時間の長さによって表示するメニューが決まります。

各ボタンの機能は次のとおりです。

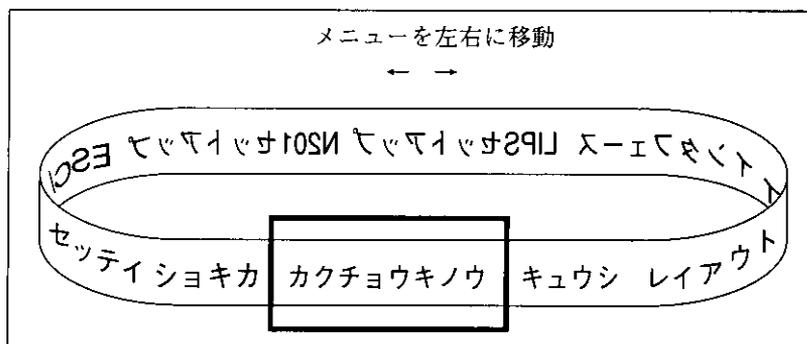
ボタン	機 能
オンライン 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのボタンを押してオフライン状態に切り替えてから行います。ボタンが点灯しているときにオンライン状態、消灯しているときにオフライン状態です。本文中では[オンライン]ボタンと表記します。
セットアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・オフライン状態に切り替えた直後にこのボタンを押すと、セットアップメニューを表示します。本文中では[セットアップ]ボタンと表記します。 ・メニューの表示中にこのボタンを押すと、同じ階層の右側の項目を表示します。本文中では[>]ボタンと表記します。
動作モード 	<ul style="list-style-type: none"> ・オフライン状態に切り替えた直後にこのボタンを押すと、動作モードメニューまたは優先エミュレーションメニューを表示します。本文中では[動作モード]ボタンと表記します。 ・メニューの表示中にこのボタンを押すと、上の階層の項目を表示します。本文中では[∧]ボタンと表記します。
ユーティリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・オフライン状態に切り替えた直後にこのボタンを押すと、ユーティリティメニューを表示します。本文中では[ユーティリティ]ボタンと表記します。 ・メニューの表示中にこのボタンを押すと、同じ階層の左側の項目を表示します。本文中では[<]ボタンと表記します。
 リセット/実行	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの表示中にこのボタンを押すと、選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では[∨]ボタンと表記します。
給紙選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・オフライン状態に切り替えた直後にこのボタンを押すと、給紙選択メニューまたはトレイ用紙サイズ選択メニューを表示します。本文中では[給紙選択]ボタンと表記します。

2 ディスプレイの見かた

メニューの構造

メニューは下の図のように、1つのつながった輪のような構造(ループ構造)になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されています。したがって、[<]ボタンや[>]ボタンを押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。

メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。



メニュー操作を行える状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。プリント可能な状態とは、次の2つの条件を満たしている状態です。

1. ジョブランプとメッセージランプが消灯している
2. ディスプレイに「00 ■■■■■」のメッセージが表示されている
例)

動作モードが自動選択の場合のプリント可能表示

00 インサツ カノウ A4

LIPSモードの場合のプリント可能表示

00 LIPS A4

N201エミュレーションモードの場合のプリント可能表示

```
00 N201 A4
```

ESC/Pエミュレーションモードの場合のプリント可能表示

```
00 ESC/P A4
```

ディスプレイの見かた

ディスプレイは上下2段表示になっています。上の段には前の階層で選択した項目が、下の段には現在の階層内で選択できる項目が表示されます。同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。

```
カクチョウ キノウ
コピ°-マウス →
```

現在の階層の下にさらに階層がある場合は、ディスプレイの右端に「↓」が表示されます。

```
カクチョウ キノウ
コピ°-マウス ↓
```

他に選択できる項目と、下の階層が同時にある場合は「→」と「↓」が交互に表示されます。

表示中の設定値がこれまでメモリ(NVRAM)に記憶されていた設定と同じ場合は、ディスプレイの左端に「=」が表示されます。

```
コピ°-マウス
=1 →
```

3 メニューの操作の流れ

共通セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の3つの階層があります。

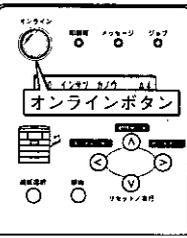
それぞれの階層で目的の項目を選択します。

「セットアップメニューの機能と構造」→P.4



メモ

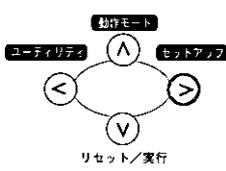
- 下図のディスプレイの表示は、印字調整グループの解像度の項目を「クイック」に設定する場合を例にしています。



オンラインボタン

オフライン状態にする

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

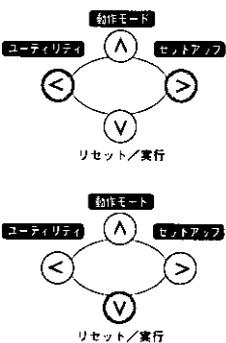


動作モード
ユーティリティ (A) セットアップ
< >
リセット/実行 (V)

セットアップメニューを表示する

[セットアップ]ボタンを押します。セットアップメニューが表示されます。

セットアップ°
カクチョウ キノウ →



動作モード
ユーティリティ (A) セットアップ
< >
リセット/実行 (V)

動作モード
ユーティリティ (A) セットアップ
< >
リセット/実行 (V)

グループを選択する

1. 目的のグループを表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「インジ チョウセイ」を表示します。

セットアップ°
インジ° チョウセイ →
2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。

設定項目を選択する

1. 目的の設定項目を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「カイゾウド」を表示します。

インジ チョウセイ
 カイゾウド →

2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。

設定値を選択する

1. 目的の設定値を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「クイック」を表示します。

カイゾウド
 クイック →

2. 設定値を確定します。
[V]ボタンを押します。
この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。



メモ

- 操作の途中で1つ前の階層に戻るには、[∧]ボタンを押します。
- 途中で操作を中止したいときは、[オンライン]ボタンを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。
- グループの階層で、「LIPSセットアップ」「N201セットアップ」「ESC/Pセットアップ」を選択した場合は、「LIPS専用セットアップメニューの操作の流れ」P.18、「N201,ESC/P専用セットアップメニューの操作の流れ」P.20をご覧ください。



メモ

- 項目によっては、設定項目の階層が2つの階層に分かれている場合があります。「初期化」の機能は、グループの下の階層がありません。初期化の操作の方法については「セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す」P.62をご覧ください。
- 以下の設定項目は設定値として数値を指定します。その場合[>]ボタンを押すと数値が増え、[<]ボタンを押すと数値が減ります。また、[>]ボタンや[<]ボタンを押し続けていると、数値の加減速度が早くなります。
 - ・拡張機能グループの「コピー枚数」「タイムアウト」「トナー濃度」
 - ・レイアウトグループの「縦補正」「横補正」「綴じ幅」

2

第2章
メニュー機能の使いかた

LIPS専用セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューの「グループ」の階層で「LIPSセットアップ」を選択すると、LIPS専用セットアップメニューを表示できます。

LIPS専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」の2つの階層があります。

それぞれの階層で目的の項目を選択します。

「セットアップメニューの機能と構造」→P.4



メモ

- 下図のディスプレイの表示は、拡大／縮小の項目を「→A4」に設定する場合を例にしています。

オフライン状態にする

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

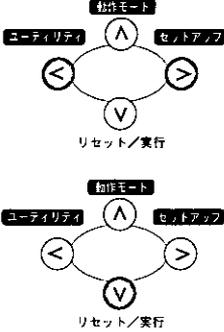
セットアップメニューを表示する

[セットアップ]ボタンを押します。

セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →

グループを選択する

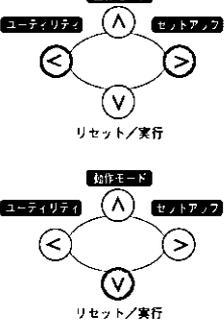


1. グループの階層で「LIPS セットアップ」を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。

セットアップ
LIPS セットアップ →

2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。

設定項目を選択する

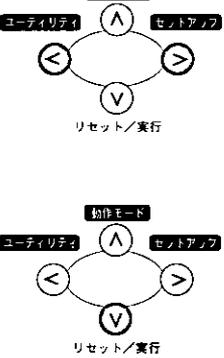


1. 目的の設定項目を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「カクダイ/シュクショウ」を表示します。

LIPS セットアップ
カクダイ/シュクショウ →

2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。

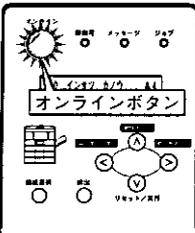
設定値を選択する



1. 目的の設定値を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「→A4」を表示します。

カクダイ/シュクショウ
→A4 →

2. 設定値を確定します。
[V]ボタンを押します。
この操作をしないと、設定は変更されません。



オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

2

第2章
メニュー機能の使いかた



メモ

- 操作の途中で1つ前の階層に戻るには、[∧]ボタンを押します。
- 途中で操作を中止したいときは、[オンライン]ボタンを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。
- 以下の設定項目は設定値として数値を指定します。その場合[>]ボタンを押すと数値が増え、[<]ボタンを押すと数値が減ります。また、[>]ボタンや[<]ボタンを押し続けていると、数値の加減速度が早くなります。
[オーバーレイ1、2][スタートアップマクロ][行数][桁数]

N201, ESC/P専用セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューの「グループ」の階層で、「N201セットアップ」「ESC/Pセットアップ」のいずれかを選択すると、N201またはESC/Pの専用セットアップメニューを表示できます。

N201とESC/Pの専用セットアップメニューは、「N201(ESC/P)グループ」「設定項目」「設定値」の3つの階層があります。

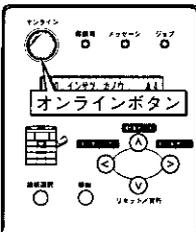
それぞれの階層で目的の項目を選択します。

「セットアップメニューの機能と構造」→P.4



メモ

- 下図のディスプレイの表示は、ESC/P専用セットアップメニューのページレイアウトグループのページフォーマットの項目を「10"→A4 タテ」に設定する場合を例にしています。

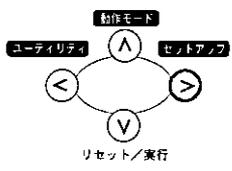


オフライン状態にする

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

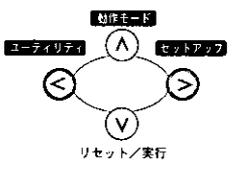




セットアップメニューを表示する

[セットアップ]ボタンを押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ°
 カクチョウ キノウ →

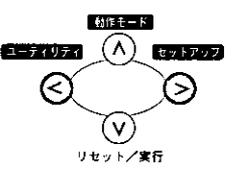


グループを選択する

1. グループの階層で「N201 セットアップ」「ESC/P セットアップ」のいずれかを表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「ESC/P セットアップ」を表示します。

セットアップ°
 ESC/P セットアップ° →

2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。



N201グループまたはESC/Pグループを選択する

1. N201グループまたはESC/Pグループの階層で目的のグループ名を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「ページレイアウト」を表示します。

ESC/P セットアップ°
 ページレイアウト →

2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。

設定項目を選択する

1. 目的の設定項目を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「ページフォーマット」を表示します。

ページ レイアウト
 ページ フォーマット →

2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。

設定値を選択する

1. 目的の設定値を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「10"→A4 タテ」を表示します。

ページ フォーマット
 10" → A4 タテ →

2. 設定値を確定します。
[V]ボタンを押します。
この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。



- 操作の途中で1つ前の階層に戻るには、[∧]ボタンを押します。
- 途中で操作を中止したいときは、[オンライン]ボタンを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。
- 以下の設定項目は設定値として数値を指定します。その場合[>]ボタンを押すと数値が増え、[<]ボタンを押すと数値が減ります。また、[>]ボタンや[<]ボタンを押し続けていると、数値の加減速度が早くなります。
 - ・ページレイアウトグループの「上余白」「用紙位置微調整」
 - ・フォントグループの「フォントID」
 - ・VFCグループの「ミシン目スキップ」「用紙長設定(N201のみ)」「連続用紙長(ESC/Pのみ)」「単票用紙長(ESC/Pのみ)」

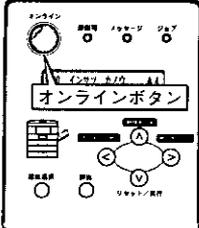
動作モードメニューの操作の流れ

動作モードメニューは、「動作モード」の階層で目的の項目を選択します。
「動作モードメニューの機能と構造」→P.7



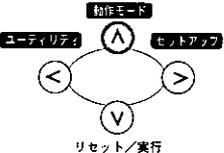
メモ

- 下図のディスプレイの表示は、動作モードを「ジドウ センタク」から「ESC/P」に切り替える場合を例にしています。



オフライン状態にする

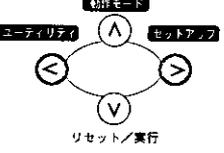
[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。



動作モードメニューを表示する

[動作モード]ボタンを押します。
動作モードメニューが表示されます。

ドウサモード
=ジドウ センタク →

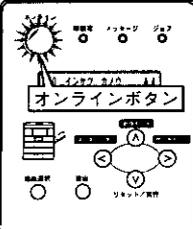


動作モードを選択する

1. 目的の動作モードを表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「ESC/P」を表示します。

ドウサモード
ESC/P →

2. 動作モードを確定します。
[V]ボタンを押します。
この操作をしないと、設定は変更されません。



オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。

2



- 操作の途中で1つ前の階層に戻るには、[△]ボタンを押します。
- 途中で操作を中止したいときは、[オンライン]ボタンを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。

第2章
メニュー機能の使いかた

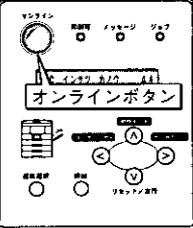
優先エミュレーションメニューの操作の流れ

優先エミュレーションメニューは、「優先エミュレーション」の階層で目的の項目を選択します。

「優先エミュレーションメニューの機能と構造」→P.8



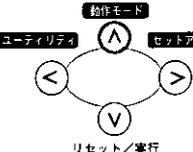
- 下図のディスプレイの表示は、優先エミュレーションモードを「N201」から「LIPS」に切り替える場合を例にしています。



オフライン状態にする

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。



優先エミュレーションメニューを表示する

[動作モード]ボタンを約3秒以上押します。

優先エミュレーションメニューが表示されます。

ユウセン エミュレーション
 =N201 →

優先エミュレーションを選択する

1. 目的の優先エミュレーションを表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「LIPS」を表示します。

エウセン エミュレーション
 LIPS →

2. 優先エミュレーションを確定します。
[V]ボタンを押します。
この操作をしないと、設定は変更されません。

オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。



メモ

- 操作の途中で1つ前の階層に戻るには、[A]ボタンを押します。
- 途中で操作を中止したいときは、[オンライン]ボタンを押します。メニューのどの階層を表示していても、オンライン状態に戻ります。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューには、「共通ユーティリティ項目」と、「専用ユーティリティ項目」の2つの階層があります。専用ユーティリティ項目は、共通ユーティリティ項目の階層で「LIPSユーティリティ」「N201ユーティリティ」「ESC/Pユーティリティ」を選択した場合のみ表示されます。

それぞれの階層で目的の項目を選択します。

「ユーティリティメニューの機能と構造」→P.8

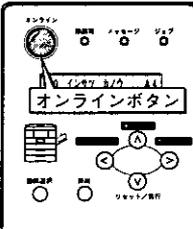


メモ

- 下図のディスプレイの表示は、LIPS専用ユーティリティのフォントリストをプリントする場合を例にしています。

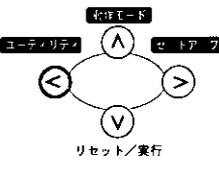
2

第2章
メニュー機能の使いかた



オフライン状態にする

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。



ユーティリティメニューを表示する

[ユーティリティ]ボタンを押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータス プリント →

共通ユーティリティ項目を選択する

1. 目的の共通ユーティリティ項目を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「LIPS ユーティリティ」を表示します。

ユーティリティ
 LIPS ユーティリティ →

2. 下の階層へ進みます。
[V]ボタンを押します。

共通ユーティリティ項目で [LIPS ユーティリティ] [N201 ユーティリティ] [ESC/P ユーティリティ] のいずれかを選択した場合

ユーティリティ

共通ユーティリティ項目で [LIPS ユーティリティ] [N201 ユーティリティ] [ESC/P ユーティリティ] 以外を選択した場合

専用ユーティリティ項目を選択する

1. 目的の専用ユーティリティ項目を表示します。
[<]ボタンまたは[>]ボタンを押します。
ここでは「フォント リスト」を表示します。

LIPS ユーティリティ
 フォント リスト →

2. 専用ユーティリティ項目を確定します。
[V]ボタンを押します。

リストがプリントされます。

オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。



メモ

- 操作の途中、またはリストのプリント中に、操作またはプリントを中止したいときは[オンライン]ボタンを押します。オンライン状態に戻ります。
- 操作の途中で1つ前の階層に戻るには、[∧]ボタンを押します。
- LIPSのオーバーレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバーレイプリントは、データが登録されている場合のみプリントされます。データが登録されていない場合はブザーが鳴り、何もプリントされません。

給紙選択メニューの操作の流れ

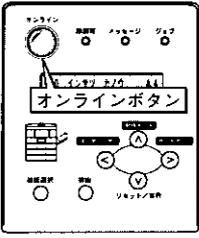
給紙選択メニューは、「給紙モード」の階層で目的の項目を選択します。
 「給紙選択メニューの機能と構造」→P.9



- 下図のディスプレイの表示は、給紙モードを「トレイ」に設定する場合を例にしています。

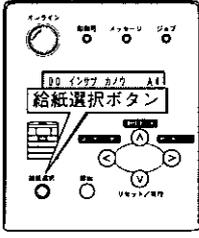
2

第2章 メニュー機能の使いかた



オフライン状態にする

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
 プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

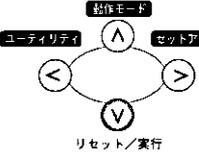


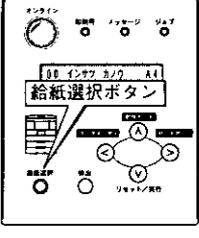
給紙選択メニューを表示する

1. [給紙選択]ボタンを押します。

キュウシ モード →

2. 給紙選択メニューの階層へ進みます。
 [給紙選択]ボタンまたは[V]ボタンを押します。

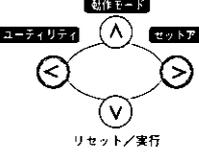


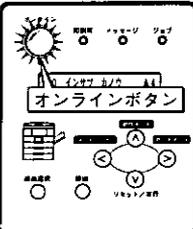


給紙方法を選択する

目的の給紙方法を表示します。
 [給紙選択]ボタンまたは[<]ボタン、[>]ボタンを押します。
 ここでは「トレイ」を表示します。

キュウシ モード
 トレイ →





オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。



メモ

- 操作の途中、ボタンを押さない状態が5秒以上続いた場合、または誤操作をした場合は、そのとき表示していた設定値を設定し、オフライン状態に戻ります。
- 操作の途中で[オンライン]ボタンを押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。
- 給紙カセットの表示は、2段カセットタイプの場合は「カセット1」「カセット2」、4段カセットタイプの場合は「カセット1」「カセット2」「カセット3」「カセット4」になります。

トレイ用紙サイズ選択メニューの操作の流れ

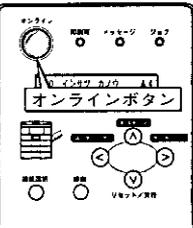
トレイ用紙サイズ選択メニューは、「トレイ用紙サイズ」の階層で目的の項目を選択します。

「トレイ用紙サイズ選択メニューの機能と構造」→P.10



メモ

- 下図のディスプレイの表示は、トレイ用紙サイズを「フリー」に設定する場合を例にしています。

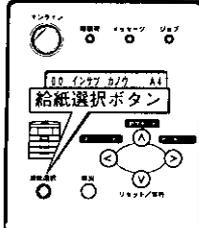
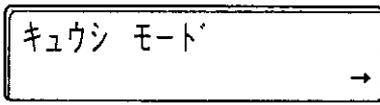


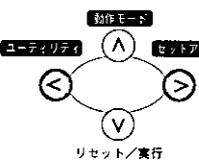
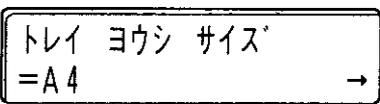
オフライン状態にする

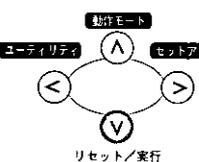
[オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にします。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。

トレイ用紙サイズ選択メニューを表示する

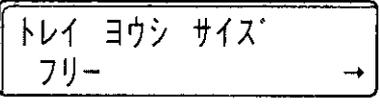
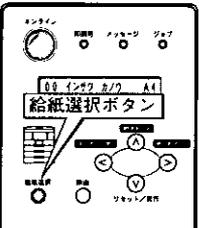
- [給紙選択]ボタンを押します。

- 「トレイ ヨウシ サイズ」を表示します。



- トレイ用紙サイズ選択メニューの階層へ進みます。




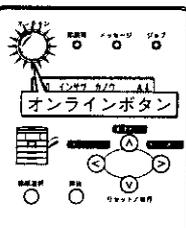
トレイ用紙サイズを選択する

目的のトレイ用紙サイズを表示します。
 [給紙選択]ボタンまたは[<]ボタン、[>]ボタンを押します。
 ここでは「フリー」を表示します。

オンライン状態に戻す

[オンライン]ボタンを押して、ボタンを点灯させます。





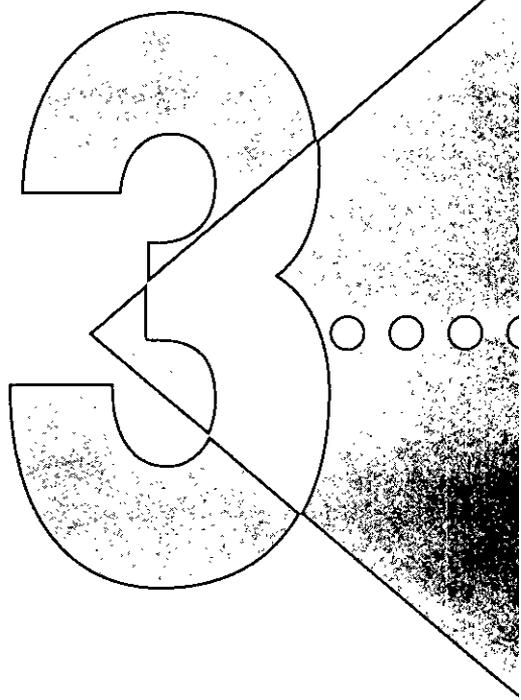
メモ

- 操作の途中、ボタンを押さない状態が5秒以上続いた場合、または誤操作をした場合は、そのとき表示していた設定値を設定し、オフライン状態に戻ります。
- 操作の途中で[オンライン]ボタンを押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。

第3章

共通セットアップメニュー の設定

1	拡張機能グループを設定する	34
2	給紙グループを設定する	40
3	レイアウトグループを設定する	44
4	印字調整グループを設定する	48
5	インタフェースグループを設定する	57
6	セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す	62



1 拡張機能グループを設定する

拡張機能グループでは、プリントの部数や濃度、エラーが起きたときの動作などについて設定できます。

●拡張機能グループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、「カクチョウ キノウ」を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、拡張機能グループの設定項目を表示します。

プリントの部数を設定する(コピーミスウ)

階層図

カクチョウ キノウ — コピーミスウ — [1]~255

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

プリントの部数を設定します。

データの終了を待たずにジョブを終了するタイマーを設定する(タイムアウト)

階層図

カクチョウ キノウ — タイムアウト — 5~30~300ビョウ
シナイ

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

本機は、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、プリントを開始/終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、プリンタユニット操作パネルのジョブランプが点灯、または点滅します。ジョブが終了しない間に次のデータを受け取った場合、正常にプリントされない場合があります。このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます。

また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、本機内にデータが残ったままの状態のときも、本項目でタイマーを設定しておく、自動的に排紙することができます。



お願い

- 自動ジョブ終了を設定した場合、コンピュータ側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。

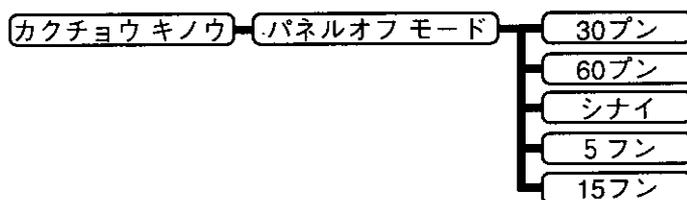


メモ

- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

本機を使わないときにプリンタユニット操作パネルの表示を消すタイマーを設定する (パネルオフモード)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

プリンタユニットでパネル操作を行わなかったり、コンピュータからのデータがこない状態が一定時間経過したときに、パネルオフモードに移行するかどうか、また、移行するまでの時間を設定します。

パネルオフモードになると、プリンタユニット操作パネルは、印刷可ランプ以外のランプはすべて消え、ディスプレイの表示も消えるので、消費電力が少なくて済みます。

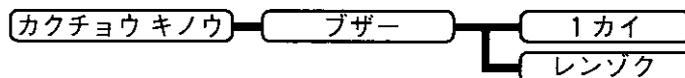


メモ

- プリンタユニット操作パネルのボタンが押されたり、コンピュータからのデータを受信すると、自動的にパネルオフモードは解除され、通常の状態に戻ります。

エラー時のブザーの鳴りかたを設定する(ブザー)

階層図

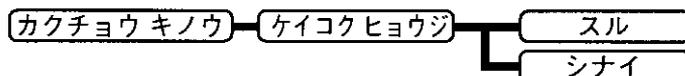


(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

エラーが発生した場合に1回だけブザー音を鳴らすか、または連続して鳴らすかを設定します。[レンゾク]に設定すると、エラーが解除されるか、プリンタユニット操作パネル上のいずれかのボタンが押されるまで、ブザー音を鳴らし続けます。

警告時のメッセージが表示されないようにする(ケイコク ヒョウジ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

本機の状態を警告するメッセージを表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。



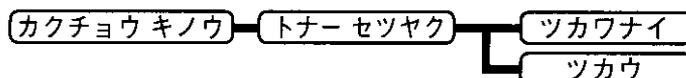
メモ

●本項目を[シナイ]に設定して表示されなくなるメッセージは次のとおりです。

「トナー チェック」「カセット1 ヨウシ ナシ」「カセット2 ヨウシ ナシ」
 「カセット3 ヨウシ ナシ」「カセット4 ヨウシ ナシ」「ヨウシカ ノコッ
 テイマス」「ソウシンチュウ：セントロ」「ソウシンチュウ：カクチョウ」
 →ユーザーズガイド「困ったときには」

トナーを節約してプリントする(トナー セツヤク)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

トナーを節約してプリントするか、トナーを節約しないで通常の状態ですべてプリントするかを設定します。

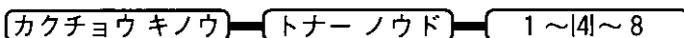


メモ

- 本項目を[ツカウ]に設定すると、トナーは節約できますが、細い線や濃度の薄いプリントが不鮮明になることがあります。
- スーパーファインモードに設定されているときは、[トナー セツヤク]の設定は無視されます。

印字濃度を調整する(トナー ノウド)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

プリントするときの印字濃度を微調整します。

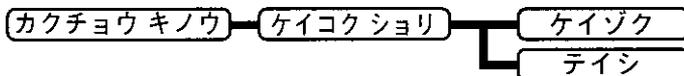


メモ

- 設定値は[>]ボタンを押すたびに1ずつ増え、印字濃度が濃くなり、[<]ボタンを押すたびに1ずつ減り、印字濃度が薄くなります。

トナーが少なくなったときに自動的にプリントを停止させる(ケイコク ショリ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

トナーが残り少なくなった場合に、メッセージの表示だけを行いプリントを続けるか、プリントを中断するかを設定します。

[ケイゾク]に設定すると、トナーが少なくなっても「トナー チェック」を表示しながらプリントを続けます。

[テイシ]に設定すると、トナーが少なくなった場合は、「トナー コウカン」を表示し、プリントを中断します。



メモ

- 「トナー コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、トナーカートリッジを振ってトナーを均一にするか、トナーカートリッジを交換した後、再度プリントを行ってください。
→ NTTFAX D-60取扱説明書「トナーカートリッジを交換するには」

エラー時も自動的にプリントを続行させる(ジドウ エラースキップ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

通常エラーが起きたときは、[オンライン]ボタンを押すとエラーを一時解除してそのままプリントを続けることができます。本項目の設定を[ツカウ]に設定すると、[オンライン]ボタンを押さなくても自動的にエラーを一時解除し、プリントを続けることができます。

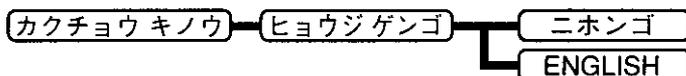


メモ

- この機能は、エラーを回復するのではなく、あくまで一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。
→ ユーザーズガイド「困ったときには」
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類は、[オンライン]ボタンを押して解除できるエラーと同様です。
- 本項目を[ツカウ]に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、自動エラースキップでエラーを一時解除します。

ディスプレイの表示言語を設定する(ヒョウジ ゲンゴ)

階層図

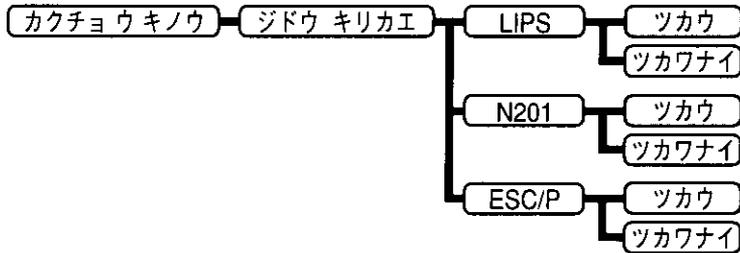


() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

動作モード自動切り替えの対象を設定する(ジドウ キリカエ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

動作モードメニューで動作モード自動切り替えが設定されている場合に、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS、N201エミュレーション、ESC/Pエミュレーションの各モードについてそれぞれ設定します。
 「動作モードメニューの機能と構造」→P.7



メモ

- 本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モードメニューで動作モード自動切り替えが設定された場合は、優先エミュレーションメニューで設定されたモードで動作します。
 「優先エミュレーションメニューの機能と構造」→P.8

2 給紙グループを設定する

給紙グループでは、手差しトレイからプリントするときの用紙サイズやセットするときの置きかたなどについて設定できます。

●給紙グループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[キューシ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、給紙グループの設定項目を表示します。

手差しトレイにセットした用紙サイズを設定する(トレイ ヨウシ サイズ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

手差しトレイにセットした用紙のサイズは自動的に検知されないため、本項目で手差しトレイにセットして使う用紙のサイズを設定します。

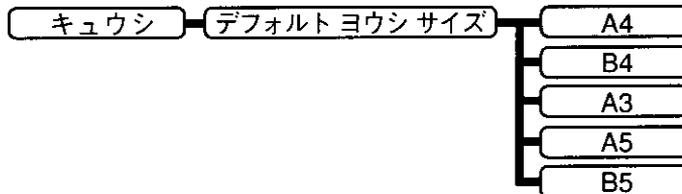


メモ

- トレイ用紙サイズ選択メニューでも同様の設定ができます。
「トレイ用紙サイズ選択メニューの機能と構造」→P.10
- 本項目を[フリー]に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないため、データが欠けてプリントされることがあります。
- [ユーザペーパー]は、アプリケーションソフトなどで定型以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。
- プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、[オンライン]ボタンを押してエラーを解除してからプリントしてください。→ユーザーズガイド「手差しトレイの用紙サイズを変更する」
- [フウトウ Y4]は洋形4号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。

用紙サイズが特定できない場合の本機の処理サイズを設定する(デフォルト ヨウシ サイズ)

階層図

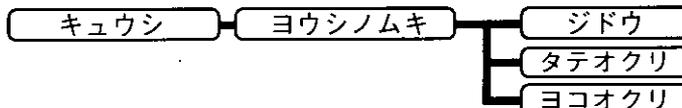


(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できなかったり、本機に給紙カセットが装着されていない場合など、本機が処理を行う用紙サイズを決定できないときに論理上の用紙サイズを設定します。

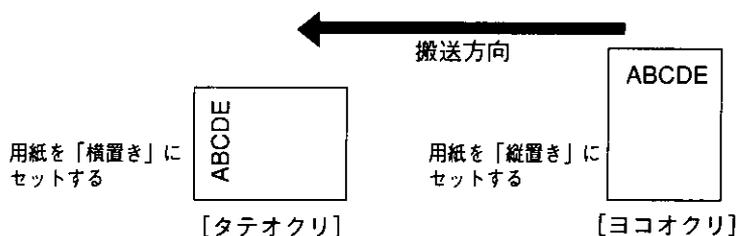
用紙の置きかたに合わせて用紙の向きを設定する(ヨウシノムキ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

縦置きにも横置きにもセットできる用紙を使うときに、給紙カセットや手差しトレイにセットした用紙の置きかたに合わせて、プリントする際の用紙の向きを設定します。[ジドウ]に設定すると、手差しトレイ、給紙カセットにセットした用紙の置きかたに合わせて自動的に画像を回転してプリントします。

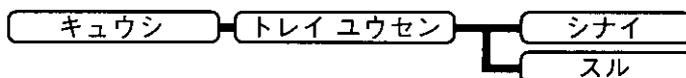


メモ

- 用紙の搬送方向と用紙の置きかた(縦置き・横置き)が異なる点にご注意ください。
- 用紙の種類と給紙元によって、用紙の置きかたが異なります。
給紙カセット
縦置き・横置き可 A4、B5、レター
縦置きのみ A5
横置きのみ A3、B4、レジャー、リーガル
- トレイ
縦置き・横置き可 A4、A5、B5、レター
横置きのみ A3、B4、ハガキ、封筒(Y4)、レジャー、リーガル
- エミュレーションモードの場合、[ジドウ]に設定すると、自動的に[ヨコオクリ]として処理されます。

手差しトレイ、給紙カセットの順にセットされた用紙を検知する(トレイ ユウセン)

階層図



(□で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合、本機は受信データの用紙サイズと給紙元が合致するかどうかの検知を、給紙カセットから手差しトレイの順に行います。本項目を[スル]に設定すると、手差しトレイから給紙カセットの順に検知するように設定できます。

[シナイ]に設定すると、給紙カセット(カセット1→カセット2→カセット3→カセット4)→手差しトレイの順で検知し、[スル]に設定すると、手差しトレイ→給紙カセット(カセット1→カセット2→カセット3→カセット4)の順で検知します。

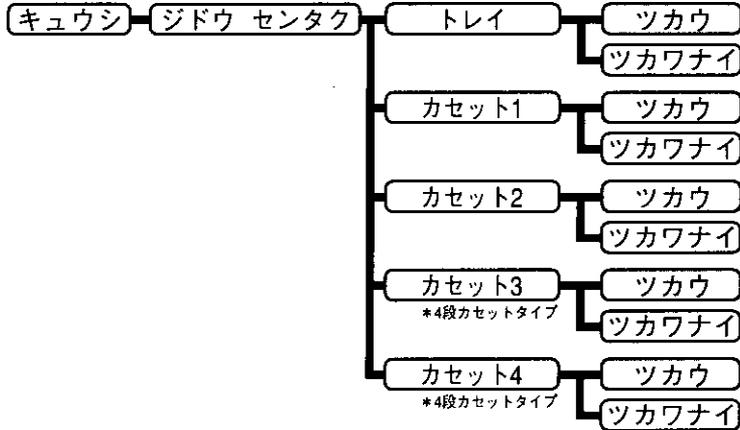


メモ

- 本項目は、給紙選択メニューで[ジドウ]が選択されている場合にのみ有効です。「給紙選択メニューの機能と構造」→P.9
- カセット3、カセット4は、4段カセットタイプの場合のみ、検知の対象となります。
- 本項目を[スル]に設定しても、手差しトレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、手差しトレイからは給紙されません。
- 自動給紙で、受信データと同じ用紙サイズの給紙カセットの給紙元表示ランプが点灯しているときは、本項目が[スル]に設定されていても手差しトレイから給紙されずに給紙カセットから給紙されます。

自動給紙に使用する手差しトレイ、給紙カセットを選択する(ジドウ センタク)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。手差しトレイ、カセット1~4のそれぞれについて設定します。

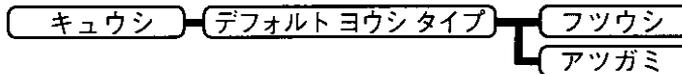


メモ

- 2段カセットタイプの場合、[トレイ][カセット1][カセット2]のみが表示されます。4段カセットタイプの場合、[トレイ][カセット1][カセット2][カセット3][カセット4]と表示されます。

本機の初期状態の用紙タイプを設定する(デフォルト ヨウシ タイプ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

用紙の材質に合わせて適切な印字結果が得られるように、本機の印字モードを切り替えます。

各印字モードは、次のような用紙に対応しています。

- [フツウシ] 普通紙、再生紙
- [アツガミ] 厚紙(128g/m²)・ラベル紙・OHPシート

3 レイアウトグループを設定する

レイアウトグループでは、印字の位置の調整や、緩じしる用の余白の設定など、プリントするときの体裁に関わる条件を設定することができます。

●レイアウトグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[レイアウト]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、レイアウトグループの設定項目を表示します。

印字位置を調整する(タテホセイ)(ヨコホセイ)

階層図

レイアウト — タテホセイ — -50.0~0.0~+50.0

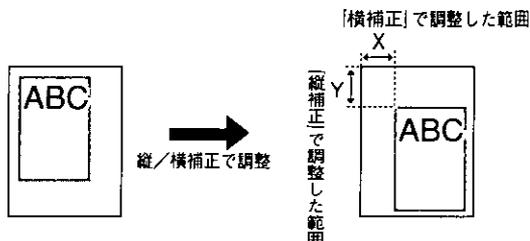
レイアウト — ヨコホセイ — -50.0~0.0~+50.0

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

印字位置を縦方向または横方向に調整します。設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらします。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

- [タテホセイ]： 設定値が増えると用紙のY方向の余白が広がります。
設定値が減ると用紙のY方向の余白が狭くなります。
- [ヨコホセイ]： 設定値が増えると用紙のX方向の余白が広がります。
設定値が減ると用紙のX方向の余白が狭くなります。





メモ

- 設定値は[>]ボタンを押すたびに0.5mmずつ増え、[<]ボタンを押すたびに0.5mmずつ減ります。また、[>]ボタンあるいは[<]ボタンから指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

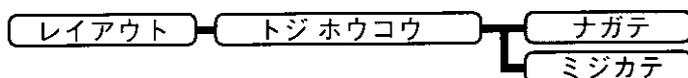


お願い

- 印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされるのでご注意ください。

綴じる位置を用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定する(トジ ホウコウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

綴じる位置を、用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定します。綴じしろ用の余白の幅や、上/下/左/右綴じのいずれにするのかは、[トジハバ](次項目)で設定します。

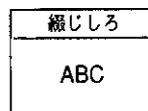
[ナガテ]

綴じる位置を用紙の長い辺にします。

用紙を縦にして
プリントする場合



用紙を横にして
プリントする場合



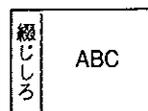
[ミジカテ]

綴じる位置を用紙の短い辺にします。

用紙を縦にして
プリントする場合



用紙を横にして
プリントする場合

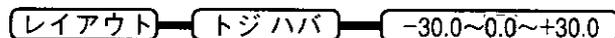


メモ

- 本項目だけを設定してもプリント結果は変わりません。[トジ ハバ]と組み合わせて設定することによって綴じしろをあげることができます。

綴じしろ用の余白の幅を設定する(トジ ハバ)

階層図

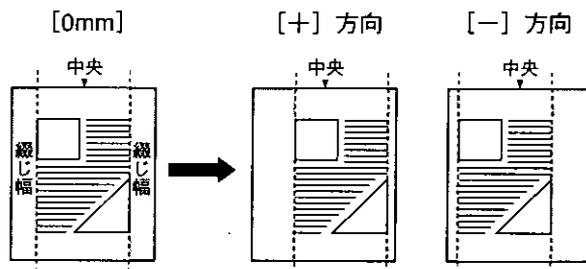


(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

綴じしろ用の余白をあけてプリントするとき、余白の幅を設定します。設定した余白の幅だけ画像がずれるので、上/下/左/右綴じのいずれにするのかも設定できます。

用紙の長短どちらの辺に綴じしろをあけるのかは[トジ ホウコウ](前項目)で設定します。

設定値で指定した値だけ、綴じしろ用の余白を空けてプリントします。「+」の値で画像が+方向にずれて余白の幅が広くなり、「-」の値で画像が-方向にずれて反対側の余白の幅が広がります。



メモ

- 設定値は[>]ボタンを押すたびに0.5mmずつ増え、[<]ボタンを押すたびに0.5mmずつ減ります。また、[>]ボタンあるいは[<]ボタンから指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- 綴じ幅を設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けてプリントされます。
- [タテホセイ][ヨコホセイ]と[トジ ハバ]を同時に設定した場合は、[タテホセイ][ヨコホセイ]の処理が行われたあとで[トジ ハバ]の処理が行われます。

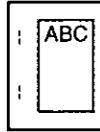
▶ 綴じ方向と綴じ幅の設定

下図の仕上りイメージを参考にして、綴じ方向と綴じ幅を設定してください。

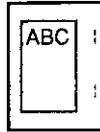
「綴じる位置を用紙の長い辺にするか短い辺にするかを設定する」→P.45

用紙を縦に使う綴じしろをあけてプリントしたいとき

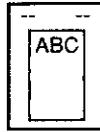
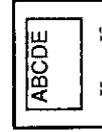
用紙を横に使う綴じしろをあけてプリントしたいとき



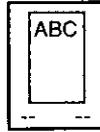
綴じ方向：ナガテ
綴じ幅：「+」方向



綴じ方向：ナガテ
綴じ幅：「-」方向



綴じ方向：ミジカテ
綴じ幅：「+」方向



綴じ方向：ミジカテ
綴じ幅：「-」方向



用紙を縦に使うプリントするか、横に使うプリントするかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

4 印字調整グループを設定する

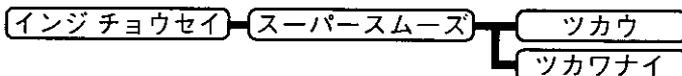
印字調整グループでは、データの解像度の設定や、高解像度印字の際のメモリの設定など、プリントの品質についての設定を行います。

●印字調整グループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[インジ チョウセイ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、印字調整グループの設定項目を表示します。

スムージング処理の設定をする(スーパースムーズ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかにプリントするスムージング処理を使うかどうかを設定します。スムージング処理を使うとファインモードでは横2400dpi相当×縦600dpi、クイックモードでは横1200dpi相当×縦600dpiの解像度でプリントすることができます。

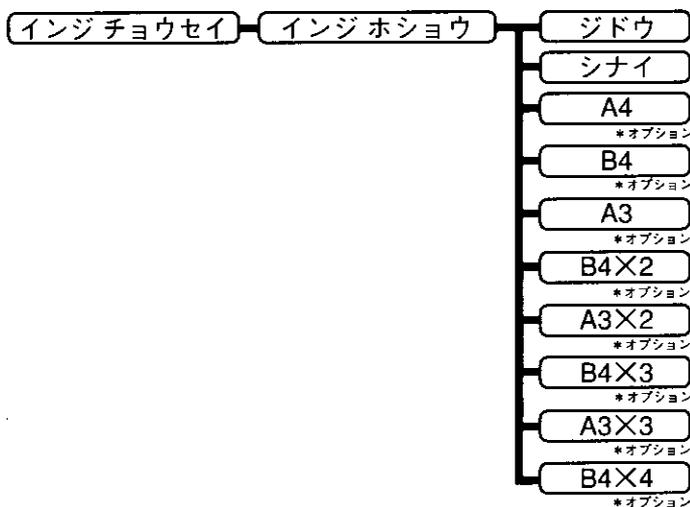


メモ

- スーパーファインモードでは、本項の設定は無視されます。

スーパーファイン/ファインモードでプリントを行うためのメモリを確保する(インジ ホシヨウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

スーパーファインモード(1200dpi)またはファインモード(600dpi)でプリントするとき、データの量や種類によって、処理に必要なメモリが不足して、1200dpiまたは600dpiでプリントされずに、600dpiまたは300dpiでプリントされてしまうことがあります。このような場合は、スーパーファインモード、ファインモードのプリント処理に必要なメモリ(印字保証メモリ)をあらかじめ確保しておきます。通常は[ジドウ]に設定しておいてください。



お願い

- スーパーファインモードでのプリントには+8MB以上のプリンタ増設RAMモジュール(オプション)が必要です。詳しくはP.50の表をご覧ください。

[ジドウ]に設定した場合

搭載されているRAMの容量に応じて、次の容量の印字保証メモリを自動的に確保します。

搭載RAM容量	[ジドウ]で確保される印字保証メモリの目安
4MB(標準)	シナイ(約2.6MB)
12MB	A3(約9.6MB)
20MB	A3×2(約18.0MB)
28MB	B4×3(約20.6MB)
36MB	A3×3, B4×4(約29.0MB)

* 搭載RAM容量を4MB(標準)より多くするためには、プリンタ増設RAMモジュール(オプション)が必要です。

→ ユーザーズガイド「オプションについて」

* 上の表のとおり印字保証メモリが確保されない場合もあります。

[ジドウ]以外に設定した場合

データの用紙サイズで目的のプリントを行うために必要に応じて印字保証メモリを固定します。

データの種類によってA3サイズまでのデータをファインモード(600dpi)でプリントできないことがあります。確実に600dpiでプリントするために、データの用紙サイズと同等以上の設定値を設定してください。(例:データの用紙サイズがA4の場合は設定値[A4]以上を設定)

各設定値でクイックモード、ファインモード、スーパーファインモードでプリントできるデータのサイズは次のとおりです。

設定値 (拡張RAM容量)	300dpi	600dpi		1200dpi			
	保証サイズ	可能サイズ	保証サイズ	可能サイズ	保証サイズ		
シナイ (標準)	A3まで	A3まで	A5まで				
A4 (+8MB以上)	A3 フルブリード まで	A3 フルブリード まで	A4まで	出力不可	出力不可		
B4 (+8MB以上)			B4まで				
A3 (+8MB以上)			A3まで	A3まで	A5まで		
B4×2 (+16MB以上)			A3 フルブリード まで	A3 フルブリード まで	A3 フルブリード まで	A3 フルブリード まで	B5まで
A3×2 (+16MB以上)							A4まで
B4×3 (+32MB以上)							B4まで
A3×3 (+32MB以上)							
B4×4 (+32MB以上)							

*「可能サイズ」とは、ファインモード(600dpi)またはスーパーファインモード(1200dpi)でプリントできずに300dpiまたは600dpiでプリントされてしまうことがあるサイズです。

*「保証サイズ」とは、確実にファインモード(600dpi)またはスーパーファインモード(1200dpi)でプリントできるサイズです。

*表中に「(+●●MB)以上」とあるのは、標準のRAM(4MB)に加えて必要なプリンタ増設RAMモジュール(オプション)の容量を示します。

*必要とされる容量(表中に示す容量)を上回るプリンタ増設RAMモジュール(オプション)を増設すると、データの処理速度が向上する場合があります。

各モードで確実にプリントを行いたい場合は、以下のように設定します。

データサイズ	クイックモード (300dpi)	ファインモード (600dpi)	スーパーファインモード (1200dpi)
A4	シナイ	A4	A3×2
B4	シナイ	B4	B4×4
A3	シナイ	A3	印字保証できない
フルブリード	A4	B4×2	印字保証できない

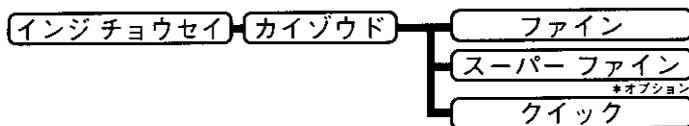


メモ

- 選択できる設定値の種類は、搭載されているRAMの容量、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリや受信バッファとして確保されているメモリの容量によって異なります。選択できない設定値はディスプレイに表示されません。
- ダウンロード用のメモリを確保したい場合などには、印字保証メモリの設定を減らすと効果があります。
- データの用紙サイズがレターの場合はA4サイズ、リーガルサイズの場合はB4サイズ、レジャーサイズの場合はA3サイズと同様の設定値を設定してください。
- プリンタドライバでスーパーファインモードに設定しても、8MB以上のプリンタ増設RAMモジュール(オプション)がない場合、「スーパーファイン フカ」というメッセージが表示されます。その場合は[オンライン]ボタンを押すと、ファインモードでプリントされます。
→ ユーザーズガイド「困ったときには」
- 印字保証メモリを設定した結果、電源を入れたときに設定したシステムワークメモリが確保できずに「メモリ フル」というエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は[オンライン]ボタンを押すと、可能な範囲でシステムワークメモリを確保してプリントを続けることができます。

スーパーファイン/ファイン/クイックモードの設定をする(カイゾウド)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

プリントするときの解像度を設定します。解像度は1インチあたりのドット数を示すdpi(dot per inch)という単位で表され、数値が大きいほど高い精度で鮮明にプリントできます。

[スーパーファイン]は、1200dpiの解像度でプリントします。きめ細かい階調表現力で、写真などの中間階調をリアルに再現できます。グラデーションの入ったグラフィックや写真が多いデータをプリントするのに適したモードです。

[ファイン]は、600dpiの解像度でプリントします。一般的な文書や表を高速にプリントする場合に適したモードです。

[クイック]は、300dpiの解像度でプリントします。Windowsの出力で高解像度モードに対応していないアプリケーションソフトなどからのプリントに適したモードです。データ処理が300dpiで行われ、プリント処理がさらに速くなる場合があります。



メモ

- ファインモード、クイックモードの場合、[スーパースムーズ]を[ツカウ]に設定するとより滑らかな表現ができます。
「スムージング処理の設定をする」→P.48
- エミュレーションモード(N201、ESC/P)の場合、スーパーファインモードは使用できません。



お願い

- データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、スーパーファインモード・ファインモードでプリントされない場合があります。そのような場合は、印字保証メモリを変更することで対処できます。
「スーパーファイン/ファインモードでプリントを行うためのメモリを確保する」→P.49
- スーパーファインモードでのプリントには、8MB以上のプリンタ増設RAMモジュール(オプション)が必要です。

3

▶スーパーファインモード・ファインモードに必要なメモリについて
スーパーファインモード・ファインモードでプリントする際には、クイックモードでプリントする場合よりも、処理に多くのメモリを必要とします。

そのため、データの量や種類によってはスーパーファインモード・ファインモードの設定をしても、600dpiまたは300dpiでプリントされることがあります。このような場合は、解像度の設定を低くしてプリントすることをおすすめします。初めからクイックモードに設定しておくことで高速でプリントできます。

確実にスーパーファインモード・ファインモードでプリントしたいときは、印字保証メモリの設定で、処理に必要なメモリを確保することができます。ただ、この設定で確保できるメモリの量は、搭載されているRAMの容量によって制限されるので、必要に応じてプリンタ増設RAMモジュール(オプション)を増設してください。

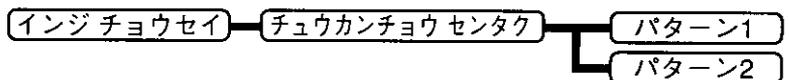
→ ユーザーズガイド「オプションについて」

*スーパーファインモード・ファインモードでプリントするメモリが不足して600dpiまたは300dpiでプリントされるときに、メッセージを表示するかどうかを設定することができます。

「指定された解像度で印字できないときにメッセージを表示する」→P.54

微妙な階調を表現する方法を選択する(チュウカンチョウ センタク)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

データの微妙な階調(中間の階調)の表現方法を設定します。

[パターン1]は、パターン2よりきめこまかな階調で印字します。グラデーションなどの微妙な階調を再現するときに向いています。

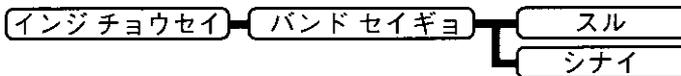
[パターン2]は、パターン1より少しきめの粗い階調で印字します。文字や細い線などをプリントするときに向いています。



- パターン1でプリントされるのは、スーパーファインモードおよびファインモードの場合のみです。

バンド制御の設定をする(バンド セイギョ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

本機では、600dpiのファインモードおよび1200dpiのスーパーファインモードでのプリントを実現するために、「バンド制御」という処理を行ってプリントしています。

「プリント オーバーラン」というメッセージが表示されたときに、バンド制御を行わずにプリントするかどうかを設定します。

▶ バンド制御とは

バンド制御は、コンピュータから受信したデータを、逐次ビットマップ展開して、展開した分のデータからすぐに出力するので、メモリも少なくすみ、高速に処理できます。

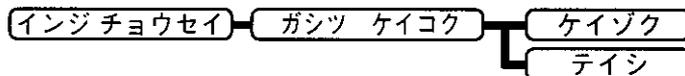
しかし、バンド制御では、データが複雑だとビットマップ展開に時間がかかり、出力とのタイミングがずれてしまうことがあります。そのようなときは、「プリント オーバーラン」というエラーメッセージが表示されます。

このエラーが起きる場合は、解像度をファインモード(600dpi)またはクイックモード(300dpi)にして再度プリントしてください。それでも同じエラーが起きる場合は、バンド制御を使わない設定にしてください。

「スーパーファイン/ファイン/クイックモードの設定をする」→P.51

指定された解像度で印字できないときにメッセージを表示する(ガシツ ケイコク)

階層図



([] で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

大量のデータや複雑なデータなどを受信した場合、処理に必要なメモリが不足して、スーパーファインモード(1200dpi)、またはファインモード(600dpi)に設定されていても、自動的に解像度を600dpi(スーパーファインモード時)、300dpi(ファインモード時)に落としてプリントすることがあります。そのときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

[ケイゾク]に設定すると、メッセージを表示せずに、自動的に解像度600dpiまたは300dpiでプリントします。[テイシ]に設定すると、「ガシツ テイカ」とメッセージを表示してプリントを停止します。その後[オンライン]ボタンを押すと、解像度600dpiまたは300dpiでプリントを再開します。



メモ

- 本項目を[テイシ]に設定して、メッセージが頻繁に表示される場合は、初めからファインモード(600dpi)またはクイックモード(300dpi)でプリントするか、プリンタ増設RAMモジュール(オプション)を増設してスーパーファインモード、またはファインモードでプリントすることをおすすめします。

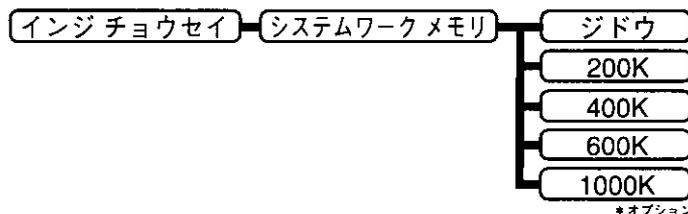
[オンライン]ボタンを押してエラーを解除することもできますが、その場合は処理スピードや印字品位が低下することがあります。

→ ユーザーズガイド「オプションについて」

- 本項目を[テイシ]に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「ビョウガメモリ フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようになります。この場合、[オンライン]ボタンを押すとエラーを解除することができます。

図形処理などを行うメモリの設定をする(システムワーク メモリ)

階層図



([] で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

図形などの処理で使うシステムワークメモリの容量を設定します。

通常は自動でシステムワークメモリの容量を設定しますが、「システムメモリフル」というメッセージが表示されたときに、適切な容量を設定します。
[ジドウ]に設定すると、搭載されているRAMの容量に応じて、次の容量のシステムワークメモリを自動的に確保します。

搭載RAM容量	[ジドウ]で確保されるシステムワークメモリ
4MB(標準)	200K
12MB	600K
20MB	600K
28MB	1000K
36MB	1000K

*搭載RAM容量を4MB(標準)より多くするためには、プリンタ増設RAMモジュール(オプション)が必要です。
→ ユーザーズガイド「オプションについて」

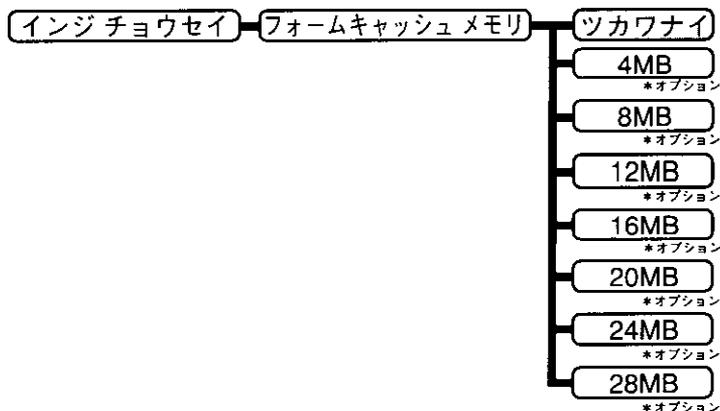


メモ

- 選択できる設定値の種類は、搭載されているRAMの容量、印字保証メモリ、フォームキャッシュメモリや受信バッファとして確保されているメモリの容量によって異なります。選択できない設定値はディスプレイに表示されません。
- 電源を入れたときに、設定したシステムワークメモリが確保できなかった場合は「メモリ フル」というエラーメッセージが表示されます。また、動作モード移行時に設定されたシステムワークメモリが確保できないと、「ワークメモリ フル」というエラーメッセージが表示されます。これらの場合は[オンライン]ボタンを押すと、可能な範囲でシステムワークメモリを確保してプリントを続けることができます。
→ ユーザーズガイド「困ったときには」

フォーム画像のためのメモリ領域を設定する(フォームキャッシュ メモリ)

階層図



()で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

「オーバーレイプリント」に使用するフォーム画像を保持するメモリ領域を設定します。

フォームキャッシュ機能は、登録されたフォームデータをあらかじめ画像として展開した状態でメモリ上に保持し、必要に応じて再利用します。より高速のオーバーレイプリントが可能になります。



メモ

- 選択できる設定値の種類は、搭載されているRAM容量や印字保証メモリ、システムワークメモリ、受信バッファなどのために確保されているメモリの容量によって異なります。選択できない設定値はディスプレイに表示されません。
- 搭載されているRAM容量や印字保証メモリ、システムワークメモリ、受信バッファなどのために確保されているメモリの容量によっては、フォーム画像のためのメモリ領域が保持できない場合があります。その場合、必要に応じて登録されたフォームデータから新たにフォーム画像が生成されます。

5 インタフェースグループを設定する

インタフェースグループでは、コンピュータと接続するときの方法や、データをやりとりするときの取り決めについて設定します。

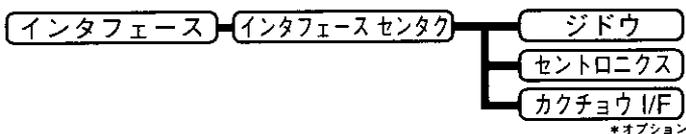
インタフェースグループの設定は、コンピュータ側のユーティリティソフトからは行えません。必ずプリンタユニット操作パネルで設定してください。

●インタフェースグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[インタフェース]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、インタフェースグループの設定項目を表示します。

インタフェースの種類を設定する(インタフェース センタク)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

コンピュータと接続するときのインタフェースの種類を設定します。

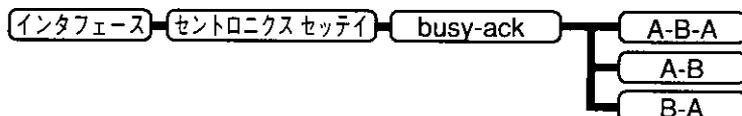
[ジドウ]に設定すると、先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えます。種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつど本機側で設定を変更する必要がありません。

セントロニクス(パラレル)インタフェースのみを使用する場合には、[セントロニクス]を選択します。

[カクチョウI/F]はLANプリンタユニット(オプション)が搭載されている場合にのみ表示され、拡張インタフェースを使用する場合に選択します。

BUSY信号とACKNLG信号の出力順序を変更する (busy-ack)

階層図

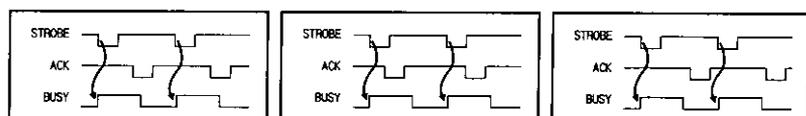
(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

インタフェースの種類の設定で、[ジドウ]または[セントロニクス]を選択した場合は、BUSY信号とACKNLG信号の出力順位を変更することができます。通常は[A-B-A]に設定しておいてください。

[A-B-A]

[A-B]

[B-A]

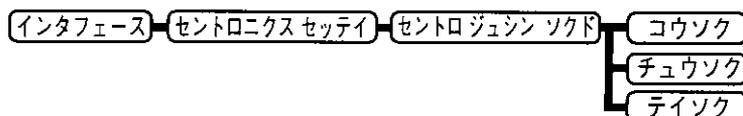


メモ

- インタフェースの種類の設定で[ジドウ]、[セントロニクス]以外の項目を選択した場合、本項目は表示されません。
- お使いのコンピュータやアプリケーションソフトによっては、[A-B][B-A]に設定する必要があります。詳しくは、コンピュータやアプリケーションソフトに付属のマニュアルをご覧ください。

セントロニクスのデータの受信速度を設定する (セントロ ジュシン ソクド)

階層図

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

インタフェースの種類の設定で、[ジドウ]または[セントロニクス]を選択した場合は、本機のセントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定することができます。

通常は[コウソク]に設定しておいてください。

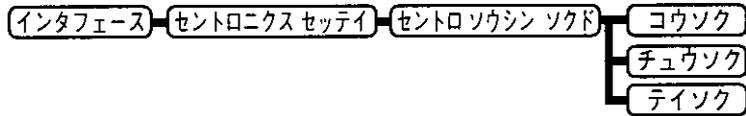


メモ

- [コウソク]に設定されている場合に、本機のデータ受信の速度が速すぎて、コンピュータからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、[チュウソク]または[テイソク]に設定してください。
- インタフェースの種類の設定で[ジドウ]、[セントロニクス]以外の項目を選択した場合、本項目は表示されません。

セントロニクスデータの送信速度を設定する(セントロ ソウシン ソクド)

階層図

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

インタフェースの種類の設定で、[ジドウ]または[セントロニクス]を選択した場合は、本機のセントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定することができます。

通常は[コウソク]に設定しておいてください。

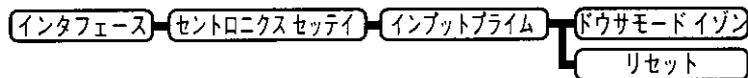


メモ

- インタフェースの種類の設定で[ジドウ]、[セントロニクス]以外の項目を選択した場合、本項目は表示されません。

インプットプライム受信時の処理を設定する(インプットプライム)

階層図

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

コンピュータからインプットプライム(プリンタ機能のリセット信号)を受信したときの処理を設定することができます。

[ドウサモード イゾン]に設定すると、動作中のモード(LIPS、N201、ESC/Pのいずれか)の機能にしたがってインプットプライム信号を処理します。インタフェースの種類の設定で[ジドウ]または[セントロニクス]を選択している場合に機能します。

[リセット]に設定すると、インプットプライム信号を受信した場合、プリンタ機能をリセットします。インタフェースの種類の設定で[ジドウ]または[セントロニクス]を選択している場合にのみ機能し、[カクチョウ I/F]を使用している場合は、インプットプライム信号は無視されます。



メモ

- インタフェースの種類の設定で[ジドウ]、[セントロニクス]以外の項目を選択した場合、本項目は表示されません。
- リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。

- 本項目を[ドウサモード イゾン]に設定した場合、LIPSモードではジョブを終了します。エミュレーションモードでは、各モードのエミュレーションの対象となるプリンタ(N201エミュレーションではPC-PR201/80A、ESC/PエミュレーションではESC/P準拠プリンタ)と同じ処理を行います。

データの双方向通信を設定する(ソウホウコウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

インタフェースの種類の設定で、[ジドウ]または[セントロニクス]を選択した場合は、セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定することができます。

[ニブル]に設定すると、コンピュータと本機との間で双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

[ツカワナイ]に設定した場合、コンピュータから本機へのデータ伝送は行いますが、本機からコンピュータへのデータ伝送は行いません。

[ECP]に設定すると、コンピュータと本機との間で双方向でデータを伝送します。ECPモード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。



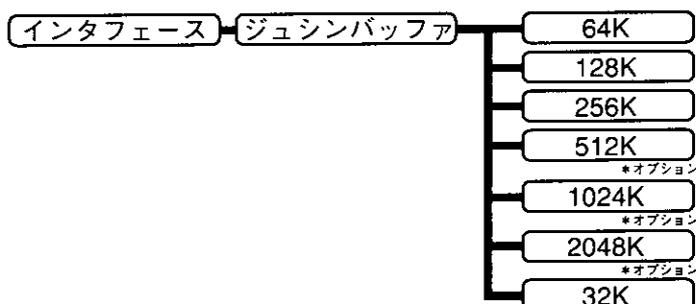
メモ

- インタフェースの種類の設定で[ジドウ]、[セントロニクス]以外の項目を選択した場合、本項目は表示されません。
- 本機の平行インタフェースは、IEEE 1284規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、コンピュータとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化を実現しています。本機はIEEE 1284規格の中のECPモード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。
- お使いのコンピュータやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについてはコンピュータのマニュアルをご覧ください。
- コンピュータ側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を[ツカワナイ]に設定してください。
- Windowsを使って本機と双方向通信を行う場合は、本機に付属している専用プリンタドライバをお使いください。
- Windowsを使って双方向通信をしているときに、コンピュータ側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を[ツカワナイ]に設定してください。

- Windowsを使って双方向通信をしているときに、コンピュータによっては、[ECP]に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、[ニブル]もしくは[ツカワナイ]に設定してプリントしてください。

受信バッファのサイズを設定する(ジュシンバッファ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

本機の受信バッファサイズを設定します。受信バッファとは、コンピュータから送られたデータを、一時的に貯めておくための領域です。

受信バッファのサイズが小さいと、コンピュータ側は、受信バッファのサイズをオーバーしないように少量のデータを何度も送信しなければならないので、データの伝送に時間がかかります。

受信バッファのサイズを大きくすると、コンピュータ側は一度に大量のデータを本機に送信できるので、データの伝送時間が減り、データ伝送の処理から早く解放されます。



お願い

- 本項目は設定操作後に、プリンタ機能を再起動するかハードリセット操作を行わないと有効にならないのでご注意ください。
→ユーザーズガイド「すべての作業を中止する(ハードリセット)」
→ユーザーズガイド「プリンタ機能を再起動する(プリンタリスタート)」



メモ

- 電源を入れ直したときに、設定したメモリサイズが確保できない場合は「メモリ フル」というエラーメッセージが表示されます。
[オンライン]ボタンを押すと、受信バッファを64KB確保します。
→ユーザーズガイド「困ったときには」
- 選択できる設定値の種類は、搭載されているRAMの容量、印字保証メモリ、フォームキャッシュメモリやシステムワークメモリとして確保されているメモリの容量によって異なります。設定できないサイズは、ディスプレイに表示されません。

6 セットアップメニューの設定を工場出荷状態に戻す

初期化(本設定)を行うと、共通セットアップメニュー/専用セットアップメニューで設定した、共通プリント環境/専用プリント環境の設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

共通セットアップメニューの「グループ」の階層で[パネル セッテイ ショキカ]を選択すると、「ジッコウ シマスカ?」という確認のメッセージが表示されます。ここで[V]ボタンを押すと初期化が行われます。[V]ボタンを押さずに[オンライン]ボタンを押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

「共通セットアップメニューの操作の流れ」→P.16



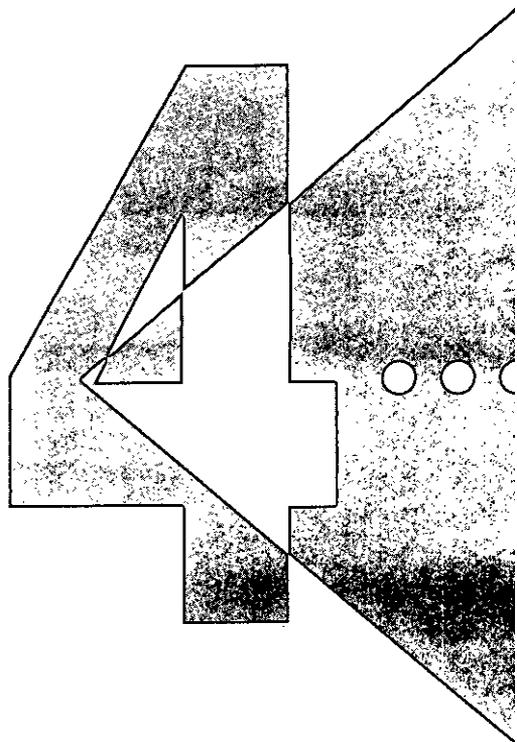
お願い

- 本項目の操作中には電源を切らないでください。PCプリンタユニットのメモリが故障することがあります。

第4章

LIPS専用セットアップ メニューの設定

拡大／縮小してプリントする(カクダイ／シユクショウ)	64
複数ページのデータを1ページにプリントする(フクスウページインサツ)	65
用紙を縦に使うか横に使うかを設定する(ページノムキ)	66
オーバーレイプリントの設定をする(オーバーレイ1)(オーバーレイ2)	67
スタートアップマクロ機能を使う(スタートアップ マクロ)	68
コンピュータに合わせて漢字コードの種類を設定する(カンジコード)	69
文字の大きさを設定する(モジサイズ)	70
漢字の書体を設定する(カンジショタイ)	71
ANK文字の書体を設定する(ANKショタイ)	71
JISコードの種類を切り替える(カンジグラフィックセット)	72
1ページの行数を設定する(ギョウスウ)	72
1行の文字数を設定する(ケタスウ)	73
自動改ページの設定をする(ジドウカイページ)	73
自動改行の設定をする(ジドウカイギョウ)	74
復帰コード受信時の動作を設定する(CRキノウ)	74
改行コード受信時の動作を設定する(LFキノウ)	75
網かけデータの解像度を設定する(アミカケカイゾウド)	75
「タイムアウト」機能を有効にするかどうかを設定する(ジョブタイムアウト)	76
白紙ページを排出しないようにする(ハクシセツヤク)	76

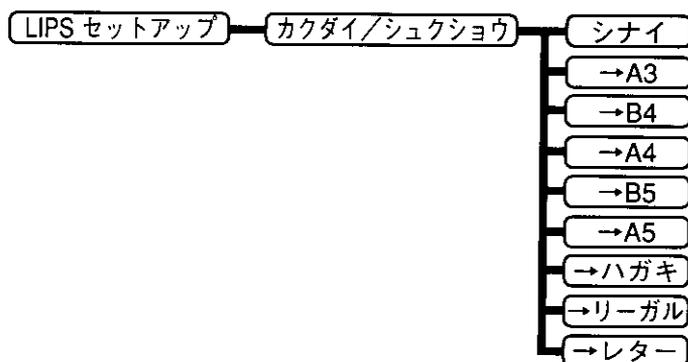


●LIPS専用セットアップメニューを表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[LIPS セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、LIPS専用セットアップメニューを表示します。

拡大／縮小してプリントする(カクダイ／シュクショウ)

階層図

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

拡大または縮小プリントの設定をします。

アプリケーションソフトで作成したデータサイズと設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に拡大／縮小の倍率を計算します。設定値で指定した用紙サイズに拡大または縮小してプリントします。

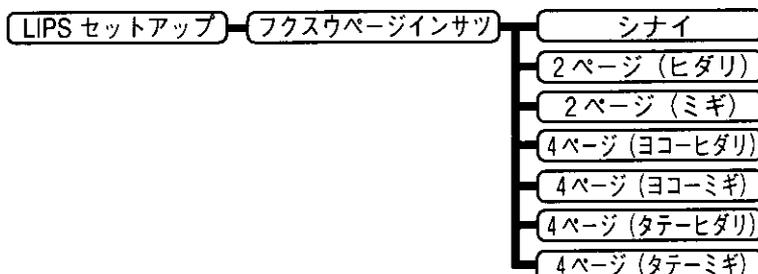


メモ

- アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定型サイズ(A4、B5など)でない場合は、正しく拡大／縮小されることがあります。
- 拡大／縮小でプリントすると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小してプリントされることがあります。
- 拡大／縮小率が50～200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍でプリントされます。この場合正しいプリント結果にはなりません。

複数ページのデータを1ページにプリントする(フクスウページインサツ)

階層図



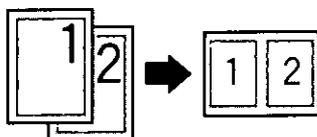
(□ で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

アプリケーションソフト側で作成したデータを、2ページ分または4ページ分を並べて1ページにプリントできます。

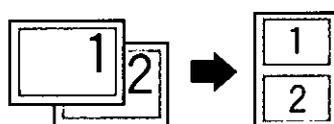
【2ページ(ヒダリ)】

2ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦に使う場合



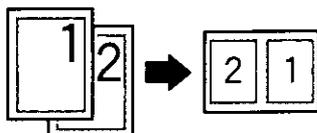
用紙を横に使う場合



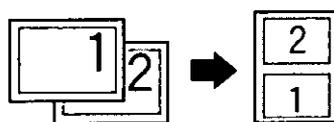
【2ページ(ミギ)】

2ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

用紙を縦に使う場合



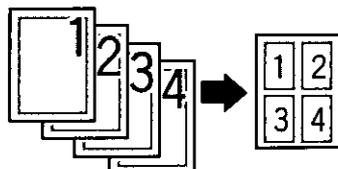
用紙を横に使う場合



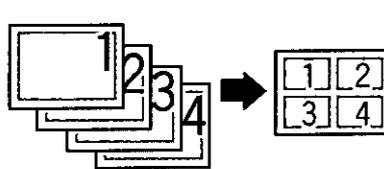
【4ページ(ヨコ-ヒダリ)】

4ページ分のデータを、左上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使う場合



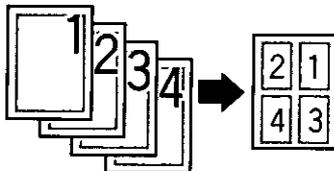
用紙を横に使う場合



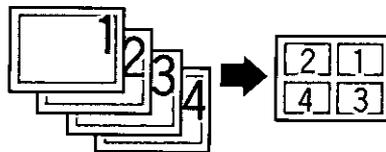
【4 ページ(ヨココミギ)】

4 ページ分のデータを、右上から横に並べてプリントします。

用紙を縦に使用してプリントする場合



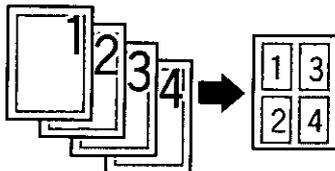
用紙を横に使用してプリントする場合



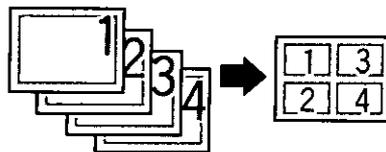
【4 ページ(タテヒダリ)】

4 ページ分のデータを、左上から縦方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使用してプリントする場合



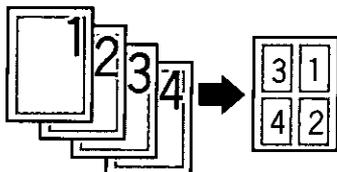
用紙を横に使用してプリントする場合



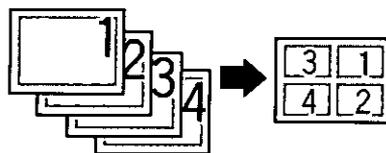
【4 ページ(タテミギ)】

4 ページ分のデータを、右上から縦方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使用してプリントする場合



用紙を横に使用してプリントする場合

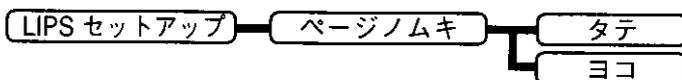


メモ

- 異なるサイズのページデータを並べて1ページにプリントすることはできません。
- 拡大/縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が50%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しいプリント結果にはなりません。

用紙を縦に使うか横に使うかを設定する(ページノムキ)

階層図

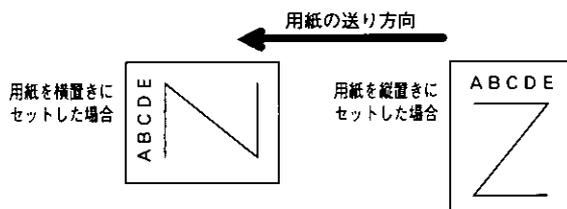


(□ で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

用紙を縦に使用してプリントするのか、横に使用してプリントするのかを設定します。

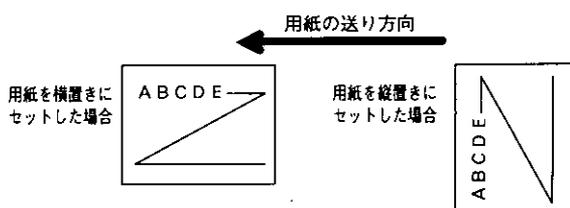
【タテ】

用紙を縦にを使ってプリントします。



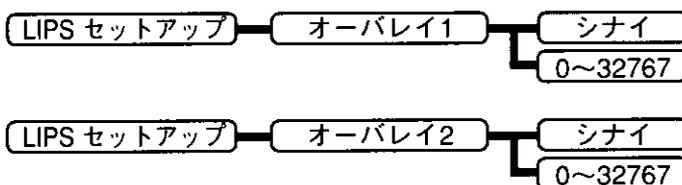
【ヨコ】

用紙を横にを使ってプリントします。



オーバーレイプリントの設定をする(オーバーレイ1)(オーバーレイ2)

階層図

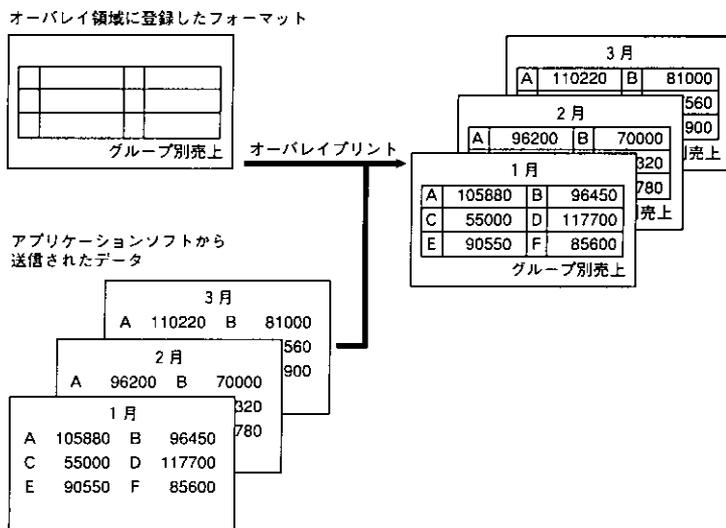


(□ で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

オーバーレイプリントを行うかどうかを設定します。

オーバーレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめ本機のオーバーレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねてプリントする機能です。オーバーレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良くプリントすることができます。

オーバーレイ領域には、1ページ分のフォーマットを最大で32,768種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに0~32767の番号をつけて登録します。プリンタ側ではオーバーレイ1あるいはオーバーレイ2として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。



メモ

- オーバレイの内容は、電源を切ると無効になります。
- オーバレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、LIPS専用ユーティリティの「オーバーレイプリント」、「オーバーレイリスト」で確認することができます。
「ユーティリティメニューの機能と構造」→P.8

スタートアップマクロ機能を使う(スタートアップ マクロ)

階層図

LIPS セットアップ — スタートアップマクロ — 0~30~32767

(□ で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

スタートアップマクロ機能は、あらかじめコンピュータ側で作成したLIPSのコントロールコマンドのプログラムを、本機のマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド(ハードリセット、ソフトリセット、パラメタリセット)で実行するようにする機能です。

マクロ領域には、最大で1~32767番までの32767種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側からLIPSのコントロールコマンドで行います。本機側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。



メモ

- 登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS専用ユーティリティの「マクロリスト」で確認することができます。
「ユーティリティメニューの機能と構造」→P.8

コンピュータに合わせて漢字コードの種類を設定する(カンジコード)

階層図

(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

コンピュータで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。コンピュータの種類に合わせて設定してください。

[JIS] : JIS 漢字コード

JIS漢字コードに対応したアプリケーションソフトを使用するときに設定します。通常は[JIS]に設定しておきます。

[シフトJIS] : シフトJIS 漢字コード

アプリケーションソフトを使わず、MS-DOSのテキストデータをそのままプリントするときに使います。

[EUC] : UNIX拡張コード(Extended Unix Code)

UNIXワークステーションなど、UNIXをOSとするコンピュータを使用するときに設定します。

[DEC] : DEC コード

DEC 漢字コードを採用しているコンピュータを使用するときに設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のようにG0~G3の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフトJIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0~G1	G0~G1	解除	解除



お願い

- 「シフトJIS」を設定した場合は、LIPSのC1制御命令は使用できなくなりますのでご注意ください。

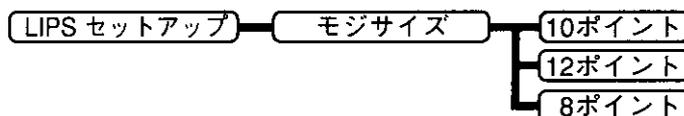


メモ

- 本項目で漢字コードを設定するという事は、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるといことです。JISで規定されていない拡張文字などはプリントされません。
上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。
- JIS 漢字コードには「新JIS」と「旧JIS」があります。新JISと旧JISの切り替えは、LIPS専用セットアップメニューの「カンジグラフィックセット」で設定します。
「JISコードの種類を切り替える」→P.72
- UNIXではEUCを採用していますが、中にはOSのデバイスドライバがJIS漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

文字の大きさを設定する(モジサイズ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

印字する文字の大きさ(文字の高さ)をポイント数で設定します。

1ポイントは1/72インチ(約0.35mm)です。

コントロールコマンドでLIPS IIIまたはLIPS IVを使用しているときと、LIPS II+を使用しているときとは同じ設定値でも、実際にプリントされる大きさが異なります。

[10ポイント] : LIPS III/IV = 10ポイント LIPS II+ = 9.6ポイント

[12ポイント] : LIPS III/IV = 12ポイント LIPS II+ = 12ポイント

[8ポイント] : LIPS III/IV = 8ポイント LIPS II+ = 7.2ポイント

設定値	LIPS III/IV		LIPS II+	
8ポイント	8	文字サイズ	7.2	文字サイズ
10ポイント	10	文字サイズ	9.6	文字サイズ
12ポイント	12	文字サイズ	12	文字サイズ

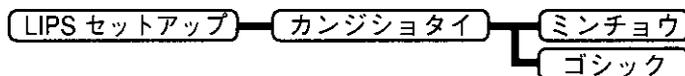


メモ

- LIPSII+のときのポイント数(7.2、9.6)はディスプレイに表示されません。

漢字の書体を設定する(カンジシヨタイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

ミンチョウ	ゴシック
明朝体	ゴシック体

ANK文字の書体を設定する(ANKシヨタイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

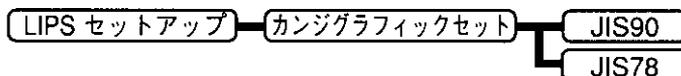
半角英数字や半角カナなどのANK文字の書体を設定します。

ANKとは、Alphabet、Numeric、Kanaの略です。

ミンチョウ	123	ABC	ミンチョウタイ
ゴシック	123	ABC	ゴシックタイ
ラインプリンタ	123	ABC	ラインプリンタ

JISコードの種類を切り替える(カンジグラフィックセット)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

[カンジコード]の種類で[JIS]を選択した場合に使用する、漢字グラフィックセットを設定します。

JIS漢字コードには[JIS90](新JIS)と[JIS78](旧JIS)があります。新JISコードは、旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。コンピュータ側に合わせて設定してください。



メモ

- グラフィックセットとは、コンピュータからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
- 新JISと旧JISの漢字コード表は、本機付属のCD-ROMの[FONT LIST]ディレクトリに収められています。

1ページの行数を設定する(ギョウスウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

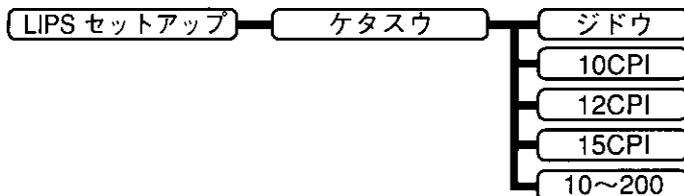
1インチまたは1ページにプリントする行数を設定します。

LPIは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数の単位を表します。

[6LPI][8LPI]は、それぞれ1インチに6行、1インチに8行プリントします。それ以外の行数を設定するときは、[10]を選択してから[>]ボタン、[<]ボタンを押します。[>]ボタンを押すと行数が増え、[<]ボタンを押すと行数が減ります。

1 行の文字数を設定する(ケタスウ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

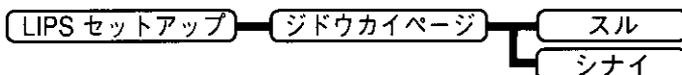
1 インチまたは 1 行にプリントする文字数を設定します。

CPIは、Characters Per Inchの略で、1 インチあたりの文字数の単位を表します。

[ジドウ]は、現在選択しているフォントに応じた文字数でプリントします。
 [10CPI][12CPI][15CPI]は、それぞれ1 インチに10桁、12桁、15桁プリントします。それ以外の桁数を設定するときは、[10]を選択してから[>]ボタン、[<]ボタンを押します。[>]ボタンを押すと桁数が増え、[<]ボタンを押すと桁数が減ります。

自動改ページの設定をする(ジドウカイページ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

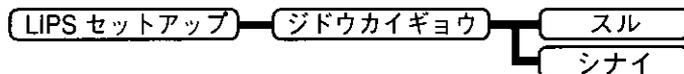
印字位置が有効印字領域の下端を越えようとしたとき、改ページコード(FF)を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。

[スル]に設定すると、印字位置が有効印字領域の下端を越えようとしたとき、改ページコード(FF)を受信しなくても、自動的に次のページに印字位置を移動してプリントします。

[シナイ]に設定すると、コンピュータから改ページコード(FF)が送られるまで印字位置を変更しません。

自動改行の設定をする(ジドウカイギョウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

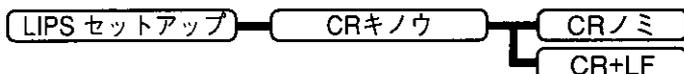
印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を越えようとしたとき、復帰コード(CR)や改行コード(LF)を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。

[スル]に設定すると、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を越えようとしたとき、復帰コード(CR)、改行コード(LF)を受信しなくても、自動的に次の行の第一文字目に印字位置を移動します。

[シナイ]に設定すると、コンピュータから復帰コード(CR)、改行コード(LF)が送られるまで印字位置を変更しません。

復帰コード受信時の動作を設定する(CRキノウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

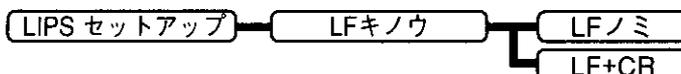
復帰コード(CR)を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

[CRノミ]に設定すると、復帰コード(CR)を受信すると印字位置をその行の第一文字目(左マージン)に移動します。

[CR+LF]に設定すると、復帰コード(CR)を受信すると印字位置を次の行の第一文字目(左マージン)に移動します。

改行コード受信時の動作を設定する(LFキノウ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

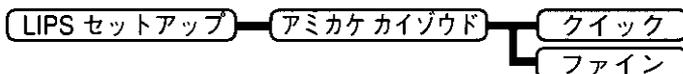
改行コード(LF)を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

[LFノミ]に設定すると、改行コード(LF)を受信すると印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。

[LF+CR]に設定すると、改行コード(LF)を受信すると印字位置を次の行の第一文字目(左マージン)に移動します。

網かけデータの解像度を設定する(アミカケカイゾウド)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

スーパーファインモード、ファインモードでプリントするときの、網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

[クイック]に設定すると、300dpi用にデザインされたパターンを使用します。ファインモードでは2倍に、スーパーファインモードでは4倍に拡大して使用します。

[ファイン]に設定すると、600dpi用にデザインされたパターンを使用します。スーパーファインモードでは、2倍に拡大して使用します。[クイック]よりも高精度でプリントできます。

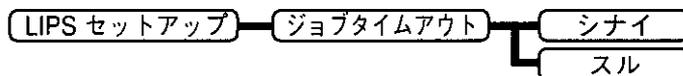


メモ

- 本項目は、解像度がファインモード、スーパーファインモードの場合のみ有効です。
- データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、ファインモード・スーパーファインモードでプリントされない場合があります。その場合は、本項目で[クイック]を指定していた場合よりも、[ファイン]を指定していた場合のほうが、印字の精度が低下することがあります。

「タイムアウト」機能を有効にするかどうかを設定する(ジョブタイムアウト)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

共通セットアップメニューで設定した[タイムアウト]を有効にするかどうかを設定します。

「データの終了を待たずにジョブを終了するタイマーを設定する」→P.34

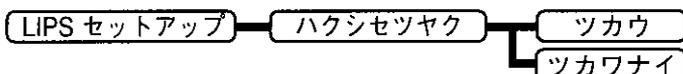


メモ

- LIPS対応のアプリケーションソフトからN201やESC/Pなど、他のエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を[スル]に設定すると、タイムアウトでLIPSモードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。

白紙ページを排出しないようにする(ハクシセツヤク)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

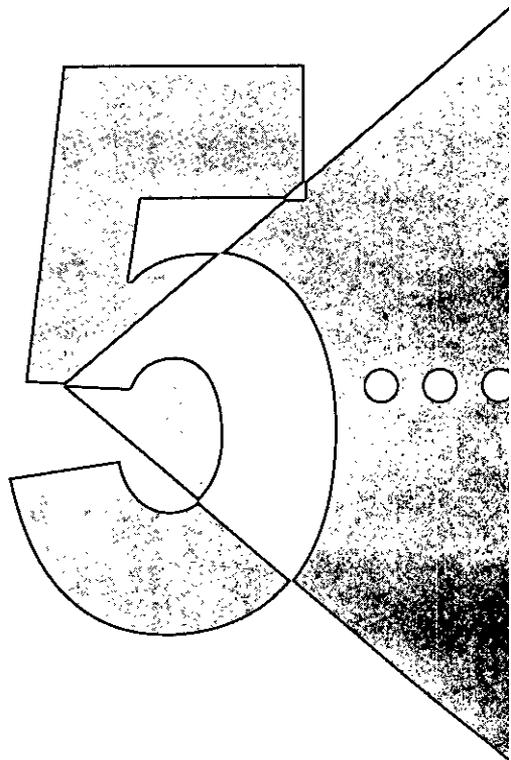
アプリケーションソフトから改ページコード(FF)を受信しても、印字するデータがない場合は、排紙をしないように設定します。

この機能を使うと、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

第5章

N201専用セットアップ メニューの設定

1 ページレイアウトグループを設定する	78
2 フォントグループを設定する	88
3 印字機能グループを設定する	92
4 印字動作グループを設定する	94
5 VFCグループを設定する	96
6 その他のグループを設定する	99



1 ページレイアウトグループを設定する

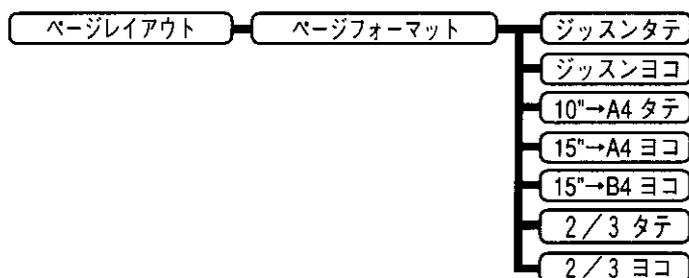
ページレイアウトグループでは、PC-PR201/80Aプリンタから本機への用紙サイズの変換や、プリントする用紙サイズの設定や位置の調整などを行うことができます。

●ページレイアウトグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[N201 セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、N201専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [V]ボタンを押して、ページレイアウトグループの設定項目を表示します。

ページフォーマットを設定する(ページフォーマット)

階層図



(□で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

PC-PR201/80Aプリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本機用の用紙サイズに変換します。

アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、付録A「N201エミュレーションのページフォーマット」P.138も併せてご覧ください。

本機にセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]で設定します。

[ジッスンタテ]：(Fmode1)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をPC-PR201/80Aプリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

[ジッスンヨコ]：(Fmode2)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をPC-PR201/80Aプリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。



メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、データと同じ用紙サイズに設定します。
「用紙サイズを設定する」→P.86
- カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。
「給紙方法に合わせて用紙位置を設定する」→P.80

[10"→A4 タテ]：(Fmode3)

10×11インチ連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(80文字×66行)をA4サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

[15"→A4 ヨコ]：(Fmode4)

15×11インチ連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(136文字×66行)をA4サイズに縮小してランドスケープでプリントします。



メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、A4サイズが基準ですが、A3、B4も選択できます。
「用紙サイズを設定する」→P.86
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
「印字領域を設定する」→P.85

[15"→B4 ヨコ]：(Fmode6)

15×11インチ連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(136文字×66行)をB4サイズに縮小してランドスケープでプリントします。



メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、B4サイズが基準ですが、A3も選択できます。
「用紙サイズを設定する」→P.86
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
「印字領域を設定する」→P.85

【2/3 タテ】：(Fmode7)

ジッスタテ用のデータを2/3のサイズに縮小してポートレイトでプリントします。

【2/3 ヨコ】：(Fmode8)

ジッソヨコ用のデータを2/3のサイズに縮小してランドスケープでプリントします。

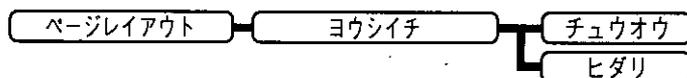


メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズを選択できます。ただし、中央印字モードのときはA4サイズが基準になります。
「用紙サイズを設定する」→P.86
- カットシートフィーダを使用した場合と同じ用紙位置にするかどうかを設定できます。
「給紙方法に合わせて用紙位置を設定する」→P.80
- 用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

給紙方法に合わせて用紙位置を設定する(ヨウシイチ)

階層図



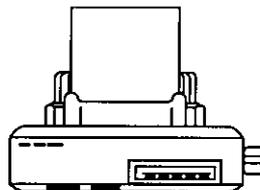
(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用する場合と使用しない場合に合わせて用紙位置を設定します。

カット紙のフォーマット (Fmode1, 2, 7, 8) の場合にのみ有効です。

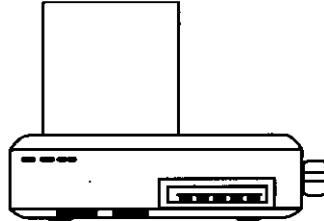
【チュウオウ】

PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用した場合と同様のプリント結果になります。



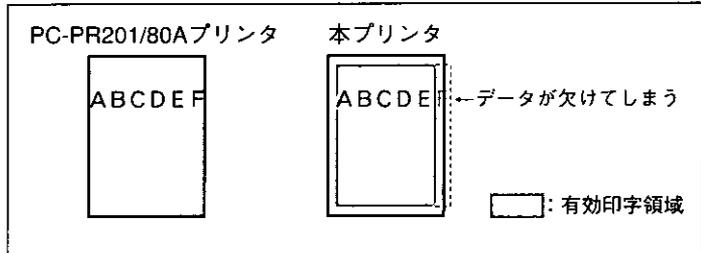
【ヒダリ】

PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用せずに、紙幅スケールの左端に合わせて用紙をセットした場合と同様のプリント結果になります。



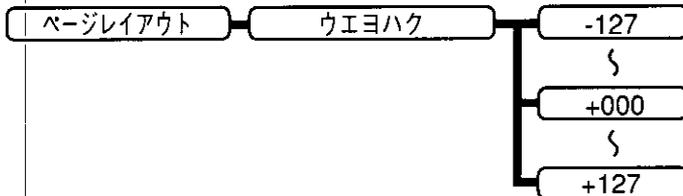
お願い

- Fmode 7, 8で、[チュウオウ]に設定した場合と【ヒダリ】に設定した場合とでは、用紙サイズによっては、有効印字領域が異なる場合がございます。付録A「N201エミュレーションのページフォーマット」→P.138
- 【ヒダリ】に設定した場合は、本機の有効印字領域からはみ出ると、その分だけデータが欠けることがあるのでご注意ください。PC-PR201/80Aプリンタでは、印字領域に制限はありませんが、本機では、有効印字領域が用紙の端から5mm内側になるためです。



上余白を設定する(ウエヨハク)

階層図

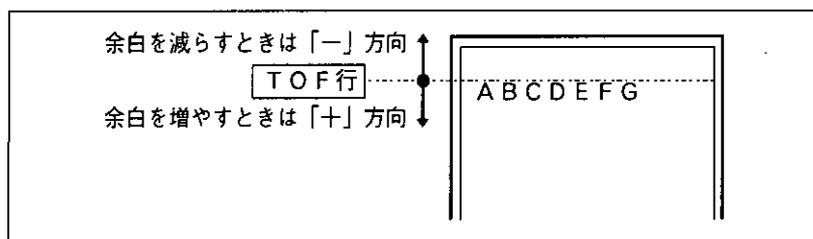


(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

それぞれのページフォーマットで設定されている1行目(TOF)の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

「+」の値で下方向、「-」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

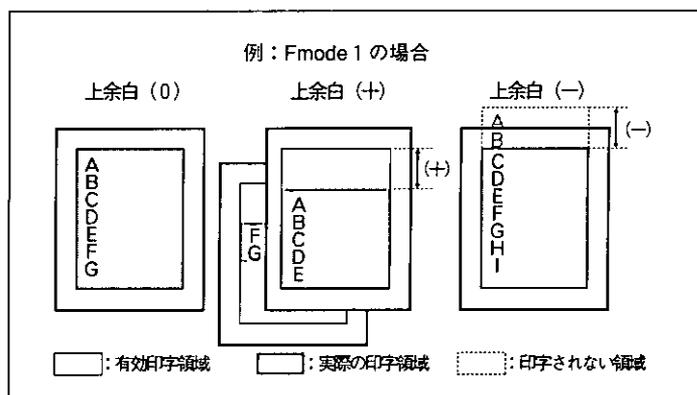
1 ページレイアウトグループを設定する



メモ

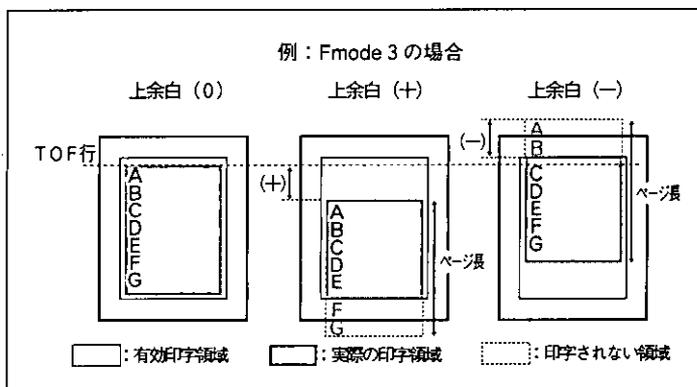
- 設定値が1 増えると、ずらす位置が1/72インチ(約0.35mm) 増えます。

◆ カット紙のページフォーマットの場合



- * 上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を越える場合は、次のページの1行目の位置からプリントされます。
- * 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分はプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます(ただし、ページ長を設定していない場合)。

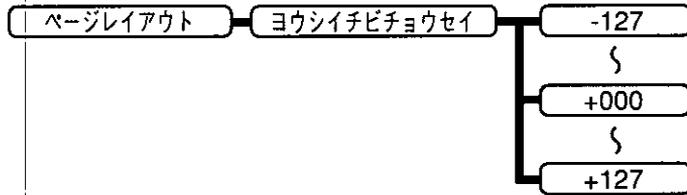
◆ 連続用紙のページフォーマットの場合



- * 上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を越えると、ボトム位置からページ長(初期状態の1行目からボトム位置までの範囲)までのあふれたデータはプリントされません。
- * 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。下端はページ長までのデータをプリントします。

用紙位置を左右に微調整する(ヨウシイチビチョウセイ)

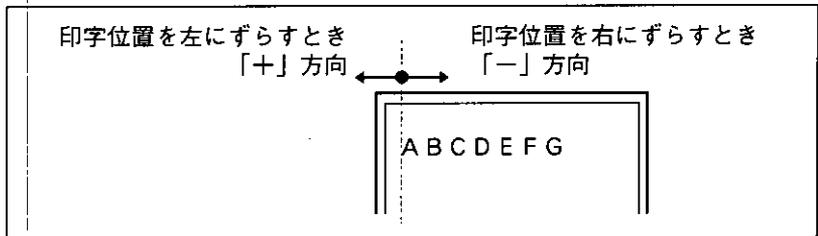
階層図



([] で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

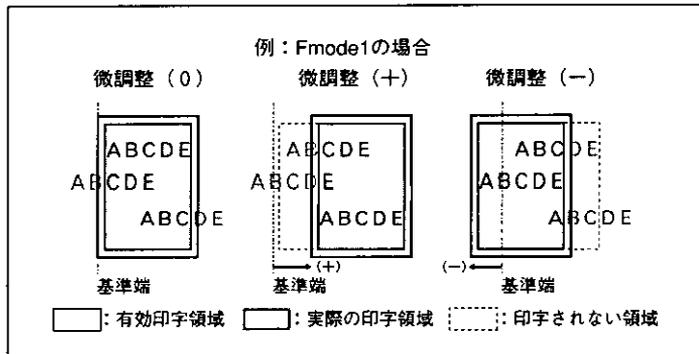
「+」の値で左方向、「-」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。



メモ

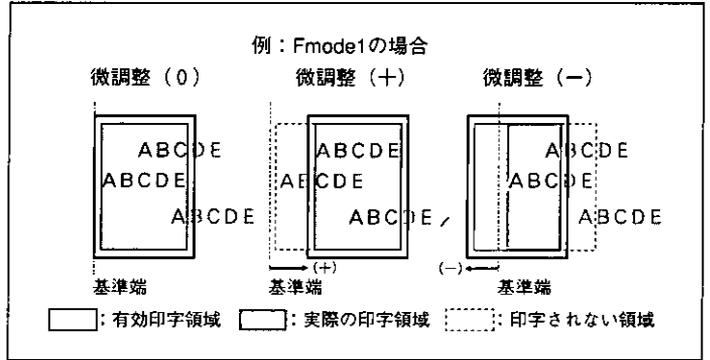
- 設定値が1増えると、ずらす位置が1/72インチ(約0.35mm)増えます。
- 設定後の印字位置は、用紙位置(中央/左端印字モード)や印字領域(標準/ワイド領域モード)の設定によって変わります。

◆ カット紙を中央印字モードでプリントする場合

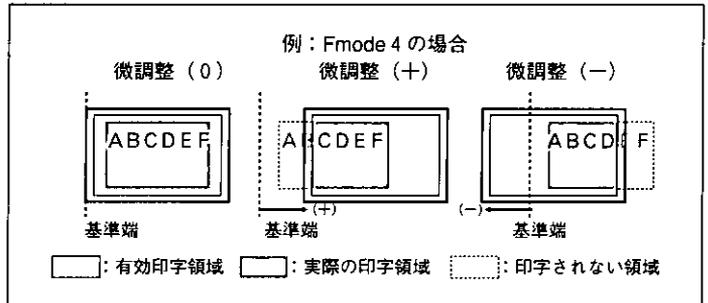


1 ページレイアウトグループを設定する

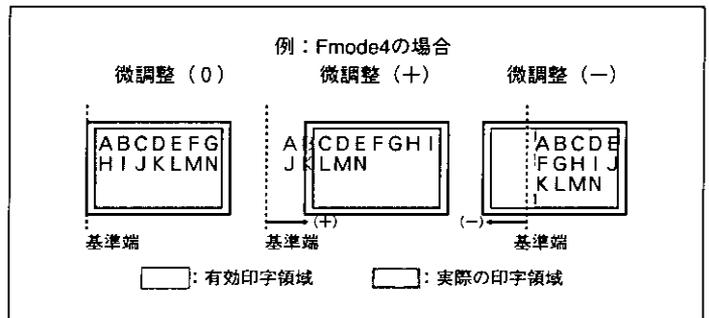
◆カット紙を左端印字モードでプリントする場合



◆連続用紙を標準領域モードでプリントする場合

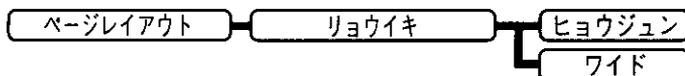


◆連続用紙をワイド領域モードでプリントする場合



印字領域を設定する(リョウイキ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントするか、または本機の有効印字領域ほほいばいにプリントするかを設定します。連続用紙のページフォーマット(Fmode3, 4, 6)の場合にのみ有効です。

[ワイド]に設定してプリントした場合、PC-PR201/80Aプリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。

付録A「N201エミュレーションのページフォーマット」→P.138

【ヒョウジュン】

各ページのページフォーマットにしたがったレイアウト(PC-PR201/80Aプリンタと同じレイアウト)でプリントします。

【ワイド】

現在セットされている用紙の有効印字領域とほほ同じ範囲まで印字領域を広げてプリントします。



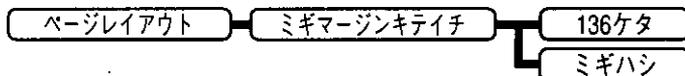
メモ

- 用紙のサイズが小さい場合、ワイドに設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。

付録A「ページフォーマットと印字範囲」→P.143

右マージンの位置を設定する(ミギマージンキテイチ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

実寸サイズでプリントするページフォーマット(Fmode1, 2)のときの、右マージンの位置を設定します。

【136ケタ】

136桁目の位置を右マージンとします。

【ミギハシ】

現在の用紙サイズの有効印字領域の右端の位置を右マージンとします。



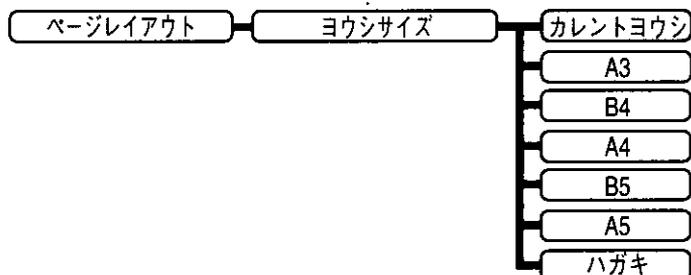
メモ

- 本項目は、実寸モード(Fmode1, 2)において、用紙位置を[ヒダリ]に設定している場合にのみ有効です。

「給紙方法に合わせて用紙位置を設定する」→P.80

用紙サイズを設定する(ヨウシサイズ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

プリントする用紙のサイズを設定します。

[カレントヨウシ]は、現在選択されている給紙元の用紙サイズを指します。

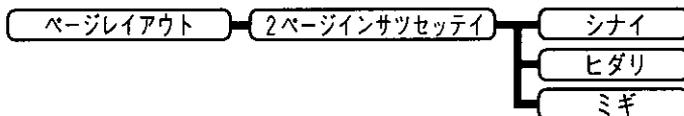


メモ

- [カレントヨウシ]以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。
- 共通セットアップメニューの[トレイ ヨウシ サイズ]を[フリー]に設定して、手差しトレイからプリントする場合は、[カレントヨウシ]以外の設定値を選択してください。

2ページ分のデータを1ページにプリントする(2ページインサツセッテイ)

階層図



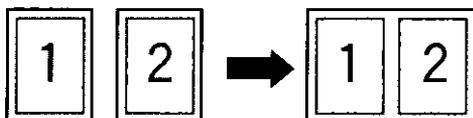
() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

アプリケーションソフト側で作成したデータがA4またはB5サイズの場合に限り、2ページ分のデータを並べて1ページにプリントできます。

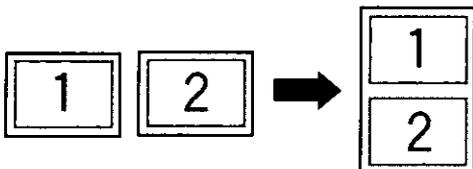
[ヒタリ]

2 ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦にを使ってプリントする場合



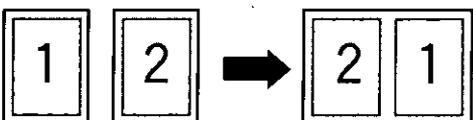
用紙を横にを使ってプリントする場合



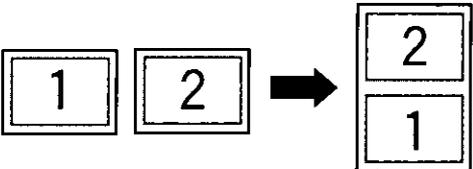
[ミキ]

2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

用紙を縦にを使ってプリントする場合



用紙を横にを使ってプリントする場合



メモ

- この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータがA4サイズのときはA3サイズの用紙にプリントされ、B5サイズのときはB4サイズの用紙にプリントされます。
- A4とB5サイズのデータを並べて1ページにプリントすることはできません。
- A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態プリントされます。

2 フォントグループを設定する

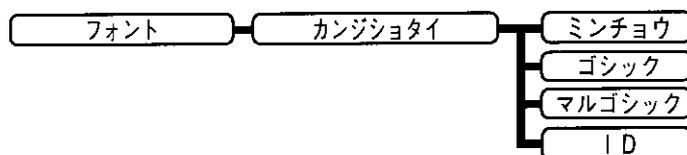
フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などに関する設定を行います。

●フォントグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[N201 セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、N201専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[フォント]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、フォントグループの設定項目を表示します。

漢字書体を設定する(カンジショタイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

漢字などの全角文字の書体を設定します。

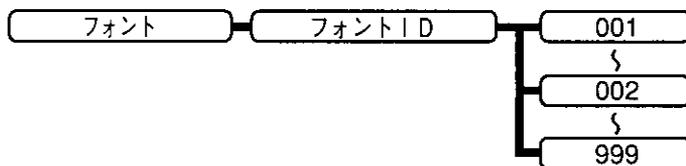
書体をID番号で指定するときは、本項目を[ID]に設定します。ID番号はフォントグループの[フォントID](次項目)で指定します。

「ID番号で漢字書体を指定する」→P.89

ミンチョウ	明朝
ゴシック	ゴシック
マルゴシック	丸ゴシック

ID番号で漢字書体を指定する(フォントID)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

[カンジショタイ](前項目)で[ID]を選択した場合に、実際に使用する書体のID番号を指定します。

「漢字書体を指定する」→P.88

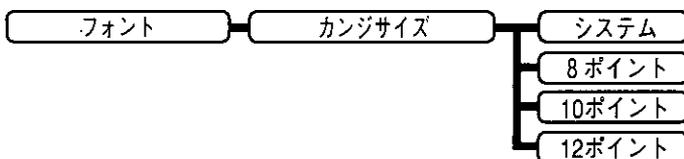


メモ

- 本項目は、[カンジショタイ]を[ID]に設定した場合にのみ表示されます。
- 書体のID番号については、共通フォントリストをご覧ください。
付録B「動作モード共通のリストー共通フォントリスト」→P.158

漢字サイズを設定する(カンジサイズ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

漢字などの全角文字のサイズを設定します。

[システム]に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。

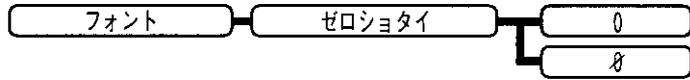


メモ

- Fmode1,2,3,6は10ポイント相当、Fmode4,7,8は8ポイント相当です。

ゼロの書体を選択する(ゼロシヨタイ)

階層図



([] で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

半角数字のゼロの書体を、[0]または[8]のいずれかから選択します。

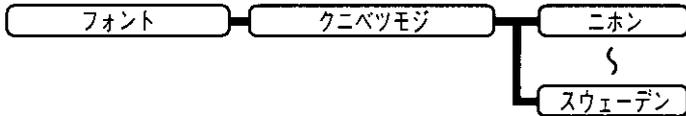


メモ

● 全角文字の[0]を[8]にすることはできません。

国別文字を設定する(クニベツモジ)

階層図



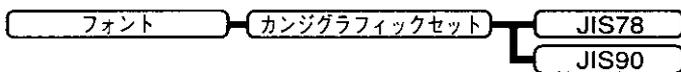
([] で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

1バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、次にあげる指定の国の文字セットをセットします。

[ニホン][USA][UK][ドイツ][スウェーデン]

JISコードの種類を切り替える(カンジグラフィックセット)

階層図



([] で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

JISコードで使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS漢字コードには[JIS90](新JIS)と[JIS78](旧JIS)があります。

新JISコードは旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。コンピュータ側に合わせて設定してください。



メモ

- グラフィックセットとは、コンピュータからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
- 新JISと旧JISの漢字コード表は、本機付属のCD-ROMの[FONTLIST]ディレクトリに収められています。
- 漢字コードは、1978年版の旧JIS(JIS78)と、1990年版の新JIS(JIS90)に準拠しています。
- 本機では、JISでパターンを定めていない部分のコードに、本機特有の文字などを割り当てています。

3 印字機能グループを設定する

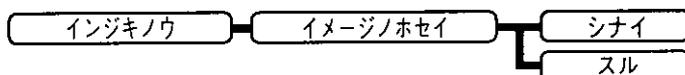
印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字に関する設定を行います。

●印字機能グループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[N201 セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、N201専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[インジキノウ]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、印字機能グループの設定項目を表示します。

イメージデータを補正する(イメージノホセイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は[シナイ]に設定しておきます。

次のような現象が出てしまうときに、本項目を[スル]に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上に縞(白い部分)が入る
- 網かけに線が入る

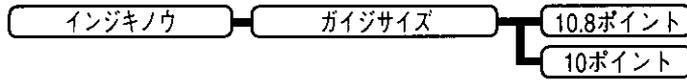


メモ

- 本項目を[スル]に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本機の解像度がPC-PR201/80Aプリンタとは異なるためです。

本機に登録された文字(外字)の印字サイズを設定する(ガイジサイズ)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

PC-PR201/80Aプリンタのコントロールコマンドによって登録した2バイトコード文字(漢字)の印字方法を設定します。

アプリケーションソフトで、外字を繋ぎ合わせて1つの図形を作り、印字するときなどは[10.8ポイント]に設定します。

[カンジサイズ]が[システム]のときと同じ文字サイズになるように印字したいときは、[10ポイント]に設定します。

「漢字サイズを設定する」→P.89

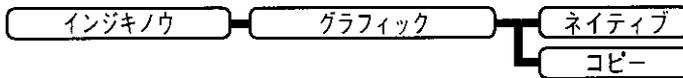


メモ

- [10ポイント]に設定した場合、内蔵フォントと同じ文字サイズになりますが、前後の文字と正しく接続しないことがあります。
- [カンジサイズ]を[10ポイント]に設定している場合や、[カンジサイズ]を[システム]に設定し、[ページフォーマット]をFmode1,2,3,6に設定している場合に、本項目を設定した効果が出ます。

グラフィックのドットピッチを設定する(グラフィック)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

ドットイメージをプリントするときの、ドットピッチ(ドットとドットの間隔)を設定します。

[ネイティブ]に設定すると、横方向のドットピッチを1/160インチ(160dpi)に設定します。

[コピー]に設定すると、8ビット・ドット列イメージをプリントする場合には、コンピュータの画面と同じ比率でプリントできるようにドットピッチを1/80インチ(80dpi)に設定します。また、同じドットが縦方向に2ドット連続してプリントされます。



お願い

- 16ビット以上のドット列イメージをプリントする場合は、必ず[ネイティブ]に設定してください。

4 印字動作グループを設定する

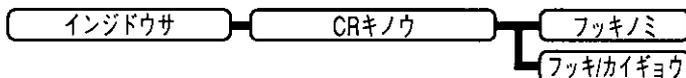
印字動作グループでは、1行を印字したあとの改行動作の設定を行います。

●印字動作グループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[N201 セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、N201専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[インジドウサ]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、印字動作グループの設定項目を表示します。

復帰コード受信時の動作を設定する(CRキノウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

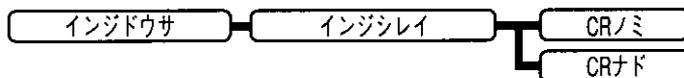
復帰コード(CR)を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

[フッキノミ]を選択した場合、復帰コード(CR)を受信したら、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。

[フッキ/カイギョウ]を選択した場合、復帰コード(CR)を受信したら、次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

印字開始命令を設定する(インジシレイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

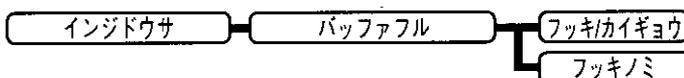
印字開始命令となる制御コードを設定します。

[CRノミ]を選択した場合、CRコードだけを印字開始命令とします。

[CRナド]を選択した場合、CR/LF/VT/FF/US/[ESC]a/[ESC]bコードを印字開始命令とします。

右マージンを越えたときの動作を設定する(バッファフル)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

印字位置が右マージンを越えた場合の印字位置の移動のしかたを設定します。

[フッキ/カイギョウ]を選択すると、印字位置が右マージンを越えた場合は次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

[フッキノミ]を選択すると、印字位置が右マージンを越えた場合はその行の第一文字目へ印字位置を移動します。

5 VFCグループを設定する

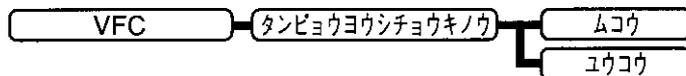
VFCグループでは、連続用紙やカット紙のページ長に関する設定をします。

●VFCグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[N201 セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、N201専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[VFC]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、VFCグループの設定項目を表示します。

カット紙で有効になるページ長を選択する(タンピョウヨウシチョウキノウ)

階層図



(で示した設定値は、工場出荷時の値です。)

カット紙(Fmode1、2、7、8)のページ長を、プリンタユニット操作パネルで設定したページ長にするかどうかを選択します。

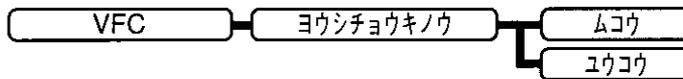
[ムコウ]に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長にしたがって改ページ動作をします。

[ユウコウ]に設定すると、プリンタユニット操作パネルで指定したページ長(ボトム位置)にしたがって改ページ動作をします。ページ長は、VFCグループの[ヨウシチョウセツテイ]で設定します。

[ページ長を設定する]→P.97

初期状態で有効になるページ長を選択する(ヨウシチョウキノウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

電源をオンにしたときや、リセット処理(プリンタユニット操作パネルで[リセット]ボタンを押すか、アプリケーションソフトからリセットコマンドを受信したときなど)を行ったときに、プリンタユニット操作パネルで設定したページ長を有効にするかどうかを選択します。

[ムコウ]の場合は、ページフォーマットで決められているページ長に、[ユウコウ]の場合は、VFCグループの[ヨウシチョウセツテイ](次項目)で指定されたページ長に設定されます。

「ページ長を設定する」→P.97

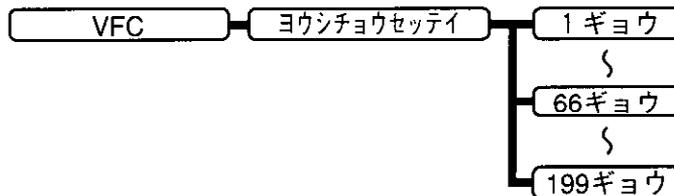


お願い

- カット紙の場合は、[タンビョウヨウシチョウキノウ]を[ユウコウ]に設定していないと、本項目の設定に関わらず、初期状態で有効になるページ長は、ページフォーマットで決められているものになりますのでご注意ください。

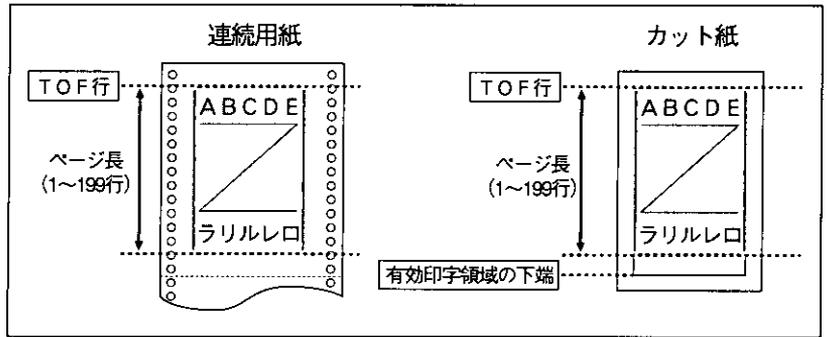
ページ長を設定する(ヨウシチョウセツテイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

カット紙および連続用紙のページ長を1ページにプリントする行数を指定して設定します。



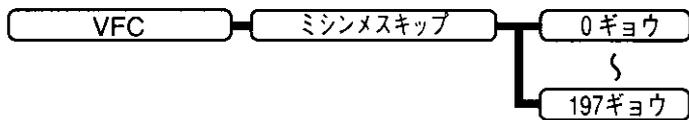
メモ

- 行間は1インチあたり6行(6LPI)です。(LPIは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です。)
- 設定値が1増えると、1/6インチ(約4.2mm)ずつページ長が増えます。
- 本項目は[ヨウシチヨウキノウ]を[ユウコウ]に設定した場合にのみ表示されます。
「初期状態で有効になるページ長を選択する」→P.97
- カット紙の場合、それぞれのページフォーマットで決められている印字可能行数を超えるページ長を設定しても、印字可能行数で改ページが行われます。
- ミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

5

ミシン目スキップ行数を設定する(ミシンメスキップ)

階層図



(□で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

ページ長で設定されている行数の、下端からプリントしない(スキップする)行数を設定します。[0ギョウ]のときは、スキップしません。



メモ

- 行間は1インチあたり6行(6LPI)です。(LPIは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です。)
- 設定値が1増えると、1/6インチ(約4.2mm)ずつスキップされる領域が増えます。
- カット紙および連続用紙のページフォーマットで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

6 その他のグループを設定する

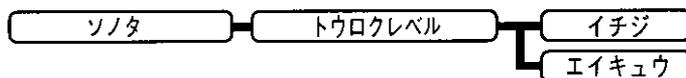
その他のグループでは、登録文字の保存方法の設定を行うことができます。

●その他のグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[N201 セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、N201専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ソノタ]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、その他のグループの設定項目を表示します。

本機に登録された文字をどの時点まで保持するかを設定する(トゥロクレベル)

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ一時的に保存するのか、電源をオフにするまで、またはプリンタ機能を再起動するまで保存するのかを設定します。

[イチジ]に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

[エイキュウ]に設定すると、電源をオフにするまで、またはプリンタ機能を再起動するまで保存します。

「ハードリセット」と表示されるまで[リセット]ボタンを押し続けてハードリセット操作を行うと、登録内容が削除されます。

→ ユーザーズガイド「すべての作業を中止する(ハードリセット)」



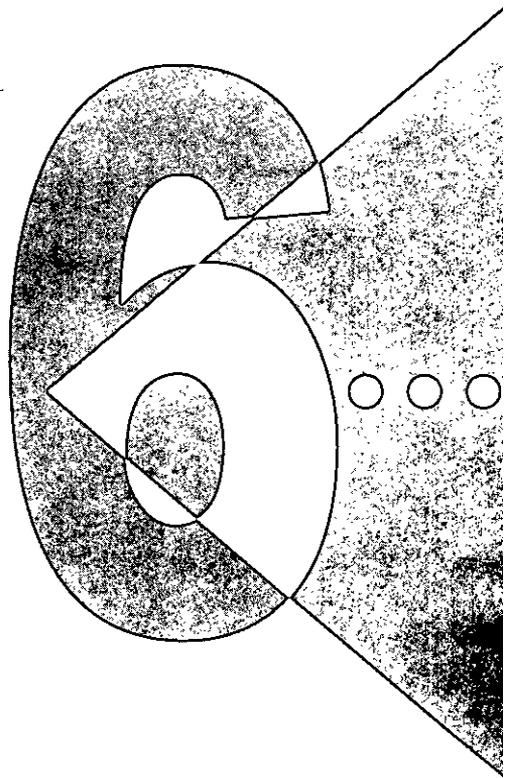
メモ

- 本機はデータを受信するとコントロールコマンドを認識して、プリントを開始/終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、プリンタユニット操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- 登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は[エイキュー]に設定してください。

第6章

ESC/P専用セットアップ メニューの設定

1	ページレイアウトグループを設定する	102
2	フォントグループを設定する	111
3	印字機能グループを設定する	114
4	印字動作グループを設定する	116
5	VFCグループを設定する	117
6	その他のグループを設定する	120



1 ページレイアウトグループを設定する

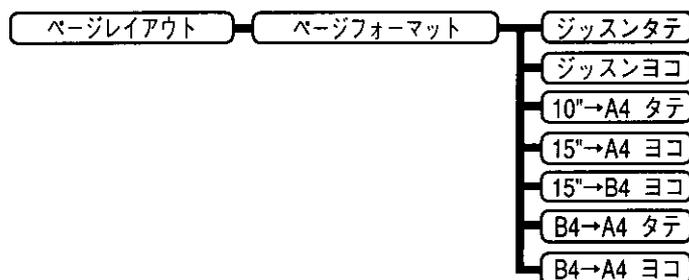
ページレイアウトグループでは、ESC/P準拠プリンタから本機への用紙サイズの変換や、プリントする用紙サイズの設定や位置の調整などを行うことができます。

●ページレイアウトグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ESC/P セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、ESC/P専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [V]ボタンを押して、ページレイアウトグループの設定項目を表示します。

ページフォーマットを設定する(ページフォーマット)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

ESC/P準拠プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本機用の用紙サイズに変換します。

アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、付録A「ESC/Pエミュレーションのページフォーマット」P.146も併せてご覧ください。

本機にセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]で設定します。

[ジッスンタテ] : (Fmode1)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をESC/P準拠プリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

[ジッスンヨコ] : (Fmode2)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントするように設定します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙をESC/P準拠プリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。



メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、データと同じ用紙サイズに設定します。
「用紙サイズを設定する」→P.108
- [ヨウシサイズ]を[A3]に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
「印字領域を設定する」→P.107

[10"→A4 タテ] : (Fmode3)

10×11インチ連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(80文字×66行)をA4サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

[15"→A4 ヨコ] : (Fmode4)

15×11インチ連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(136文字×66行)をA4サイズに縮小してランドスケープでプリントします。



メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、A4サイズが基準ですが、A3、B4も選択できます。
「用紙サイズを設定する」→P.108
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
「印字領域を設定する」→P.107

[15"→B4 ヨコ] : (Fmode6)

15×11インチ連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(136文字×66行)をB4サイズに縮小してランドスケープでプリントします。



メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、B4サイズが基準ですが、A3も選択できます。
「用紙サイズを設定する」→P.108
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
「印字領域を設定する」→P.107

[B4→A4 タテ] : (Fmode7)

B4サイズのジッスタテ用のデータを3/4のサイズに縮小してA4サイズのポートレイトでプリントします。

[B4→A4 ヨコ] : (Fmode8)

B4サイズのジッソヨコ用のデータを3/4のサイズに縮小してA4サイズのランドスケープでプリントします。

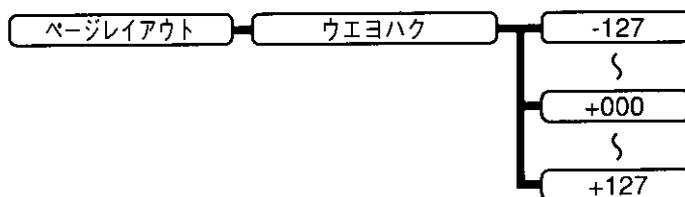


メモ

- ページレイアウトグループの[ヨウシサイズ]は、A4サイズが基準ですが、A3、B4も選択できます。
「用紙サイズを設定する」→P.108
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます。
「印字領域を設定する」→P.107
- 用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

上余白を設定する(ウエヨハク)

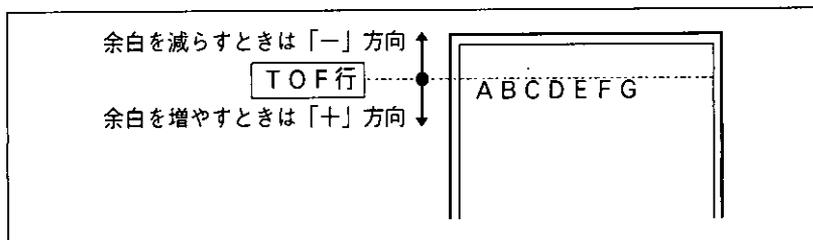
階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

それぞれのページフォーマットで設定されている1行目(TOF)の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

「+」の値で下方向、「-」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

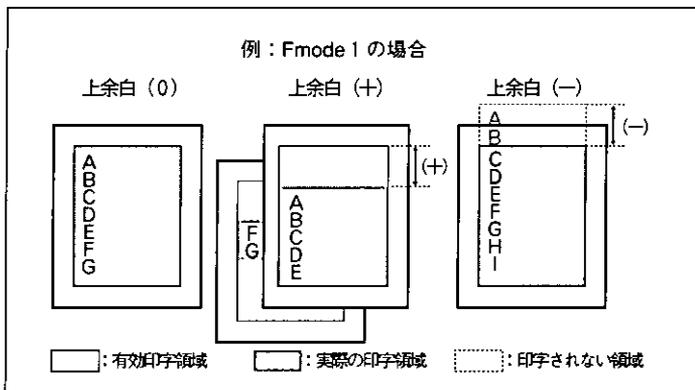




メモ

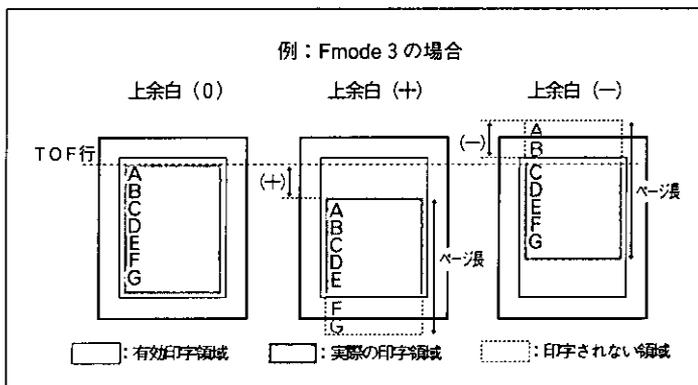
- 設定値が1 増えると、ずらす位置が1/72インチ(約0.35mm) 増えます。

◆ カット紙のページフォーマットの場合



- * 上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を越える場合は、次のページの1行目の位置からプリントされます。
- * 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分はプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます(ただし、ページ長を設定していない場合)。

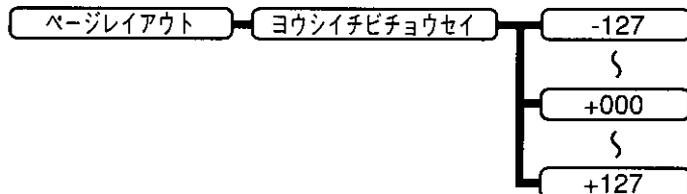
◆ 連続用紙のページフォーマットの場合



- * 上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を越えると、ボトム位置からページ長(初期状態の1行目からボトム位置までの範囲)までのあふれたデータはプリントされません。
- * 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。下端はページ長までのデータをプリントします。

用紙位置を左右に微調整する(ヨウシイチビチョウセイ)

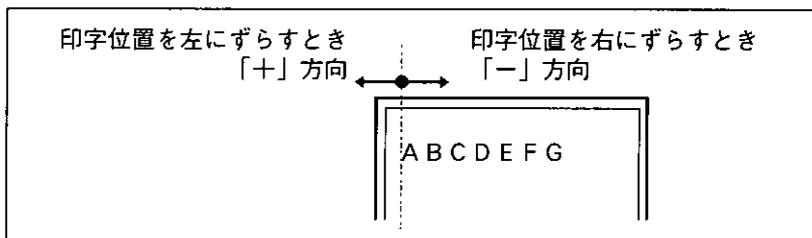
階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

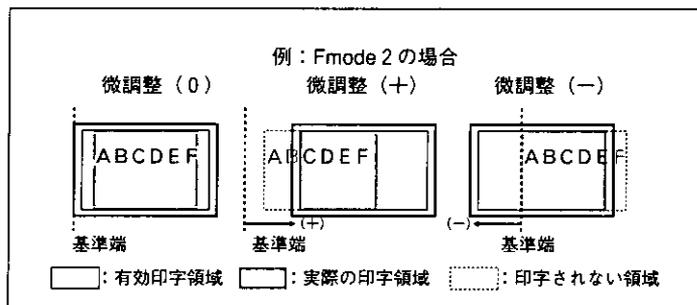
「+」の値で左方向、「-」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。



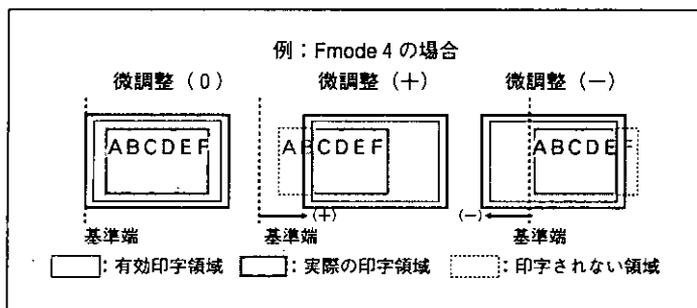
メモ

- 設定値が1 増えると、ずらす位置が1/72インチ(約0.35mm)増えます。
- データの左端が欠けてプリントされる場合は、本項目の設定を調節して本機の印字領域内(上下左右5mm以内)に入るようにしてください。
- 印字位置は、印字領域(標準、またはワイド領域モード)の設定によって変わります。

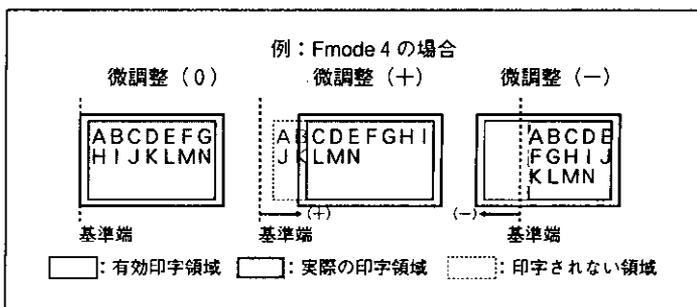
◆標準領域モードでの印字動作
実寸サイズでプリントするページフォーマットの場合



縮小プリントするページフォーマットの場合

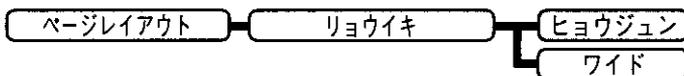


◆ワイド領域モードでプリントする場合



印字領域を設定する(リョウイキ)

階層図



(□で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントするか、または本機の有効印字領域ほほいばいにプリントするかを設定します。Fmode 1, 2で[ヨウシサイズ]を[A3]に設定している場合およびFmode 3, 4, 6, 7, 8の場合に有効です。

ワイドに設定してプリントした場合、ESC/P準拠プリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。レイアウトについては、付録A「ESC/Pエミュレーションのページフォーマット」P.146も併せてご覧ください。

【ヒョウジュン】

各ページのページフォーマットにしたがったレイアウト (ESC/P準拠プリンタと同じレイアウト) でプリントします。

【ワイド】

現在セットされている用紙の有効印字領域とほぼ同じ範囲まで印字領域を広げてプリントします。

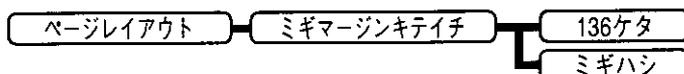


メモ

- 用紙のサイズが小さい場合、【ワイド】に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。
詳しくは、付録A「ページフォーマットと印字範囲」P.150をご覧ください。

右マージンの位置を設定する(ミギマージンキテイチ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

実寸サイズでプリントするページフォーマット (Fmodel, 2) のときの、右マージンの位置を設定します。

【136ケタ】

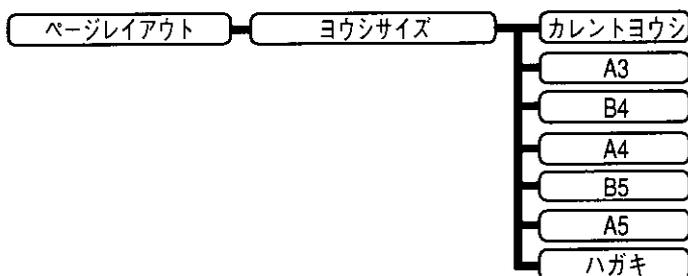
136桁目の位置を右マージンとします。

【ミギハシ】

現在の用紙サイズの有効印字領域の右端の位置を右マージンとします。

用紙サイズを設定する(ヨウシサイズ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

プリントする用紙のサイズを設定します。

[カレントヨウシ]は、現在選択されている給紙元の用紙サイズを指します。

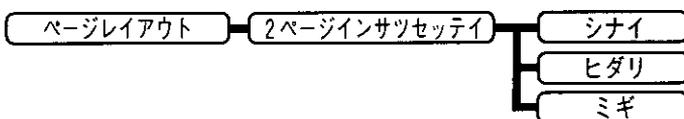


メモ

- [カレントヨウシ]以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。
- 共通セットアップメニューの[トレイヨウシサイズ]を[フリー]に設定して、手差しトレイからプリントする場合は、[カレントヨウシ]以外の設定値を選択してください。
→ ユーザーズガイド「困ったときには」

2 ページ分のデータを1ページにプリントする(2ページインサツセツテイ)

階層図



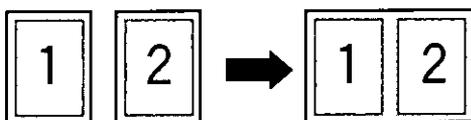
(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

アプリケーションソフト側で作成したデータがA4またはB5サイズの場合に限り、2ページ分のデータを並べて1ページにプリントできます。

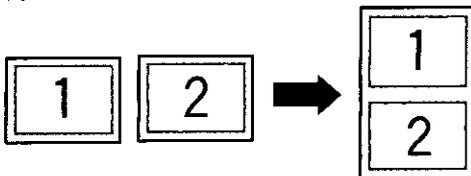
[ヒダリ]

2ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦にを使ってプリントする場合



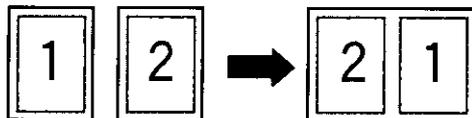
用紙を横にを使ってプリントする場合



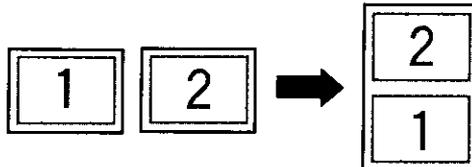
[ミギ]

2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

用紙を縦に使用してプリントする場合



用紙を横に使用してプリントする場合



メモ

- この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータがA4サイズのときはA3サイズ of 用紙にプリントされ、B5サイズのときはB4サイズの用紙にプリントされます。
- A4とB5サイズのデータを並べて1ページにプリントすることはできません。
- A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態ですべてプリントされます。

2 フォントグループを設定する

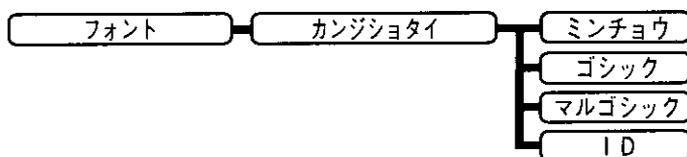
フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などに関する設定を行います。

●フォントグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ESC/P セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、ESC/P専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[フォント]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、フォントグループの設定項目を表示します。

漢字書体を設定する(カンジシヨタイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

漢字などの全角文字の書体を設定します。

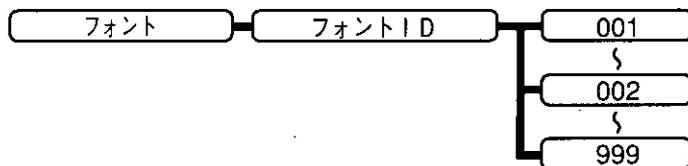
書体をID番号で指定するときは、本項目を[ID]に設定します。ID番号はフォントグループの[フォントID](次項目)で指定します。

[ID番号で漢字書体を指定する]→P.112

ミンチョウ	明朝
ゴシック	ゴシック
マルゴシック	丸ゴシック

ID番号で漢字書体を指定する(フォントID)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

[カンジショタイ](前項目)で[ID]を選択した場合に、実際に使用する書体のID番号を指定します。

「漢字書体を設定する」→P.111

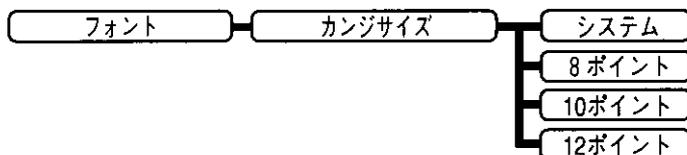


メモ

- 本項目は、[カンジショタイ]を[ID]に設定した場合にのみ表示されます。
- 書体のID番号については、共通フォントリストをご覧ください。
付録B「動作モード共通のリスト-共通フォントリスト」→P.158

漢字サイズを設定する(カンジサイズ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

漢字などの全角文字のサイズを設定します。

[システム]に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。

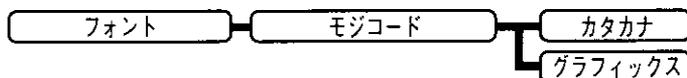


メモ

- Fmode1,2,3,6は10ポイント相当、Fmode4,7,8は8ポイント相当です。

1バイトコード表の文字セットを設定する(モジコード)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

1バイトコード表に、カタカナまたは拡張グラフィックスの文字セットをセットします。

[カタカナ]

データに1バイトコードの文字があったとき、カタカナの1バイトコード表に対応した文字でプリントします。

[グラフィックス]

データに1バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの1バイトコード表に対応した文字でプリントします。

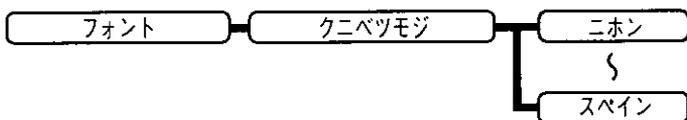


メモ

- この機能は、ESC/P準拠プリンタのDIPスイッチの文字コード設定機能に対応しています。

国別文字を設定する(クニベツモジ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

1バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、次にあげる指定の国の文字セットをセットします。

[ニホン]、[ノルウェー]、[デンマーク2]、[スペイン2]、[ラテンアメリカ]、[USA]、[フランス]、[ドイツ]、[UK]、[デンマーク]、[スウェーデン]、[イタリア]、[スペイン]

3 印字機能グループを設定する

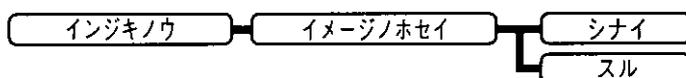
印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字に関する設定を行います。

●印字機能グループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ESC/P セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、ESC/P専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[インジキノウ]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、印字機能グループの設定項目を表示します。

6 イメージデータを補正する(イメージノホセイ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は[シナイ]に設定しておきます。

次のような現象が出てしまうときに、本項目を[スル]に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上に縞(白い部分)が入る
- 網かけに線が入る

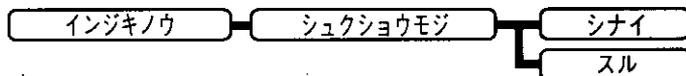


メモ

- 本項目を[スル]に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本機の解像度がESC/P準拠プリンタとは異なるためです。

縮小文字プリントを設定する(シュクショウモジ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

1バイトコード文字(ANK文字)を縮小してプリントするかどうかを設定します。

[スル]に設定すると、1バイトコード文字の横幅を1/2程度に縮小してプリントします。



メモ

- この機能は、ESC/P準拠プリンタのDIPスイッチの縮小印字機能に対応しています。
- 15CPIの文字は縮小プリントされません。

4 印字動作グループを設定する

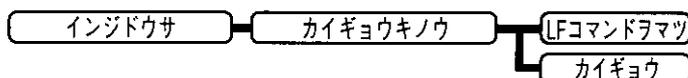
印字動作グループでは、1行を印字したあとの改行動作の設定を行います。

●印字動作グループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ESC/P セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、ESC/P専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[インジドウサ]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、印字動作グループの設定項目を表示します。

自動改行を設定する(カイギョウキノウ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

復帰コード(CR)を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

[LFコマンドヲマツ]に設定した場合、コンピュータから改行コード(LF)が送られるまで改行しません。復帰のみ行い、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。

[カイギョウ]に設定した場合、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、改行コード(LF)を受信しなくても復帰/改行を行い、自動的に次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。



●この機能は、ESC/P準拠プリンタのDIPスイッチの自動改行に対応していません。

メモ

5 VFCグループを設定する

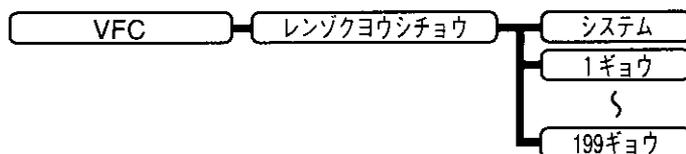
VFCグループでは、連続用紙やカット紙のページ長に関する設定をします。

●VFCグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ESC/P セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、ESC/P専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[VFC]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、VFCグループの設定項目を表示します。

連続用紙のページ長を設定する(レンゾクヨウシチョウ)

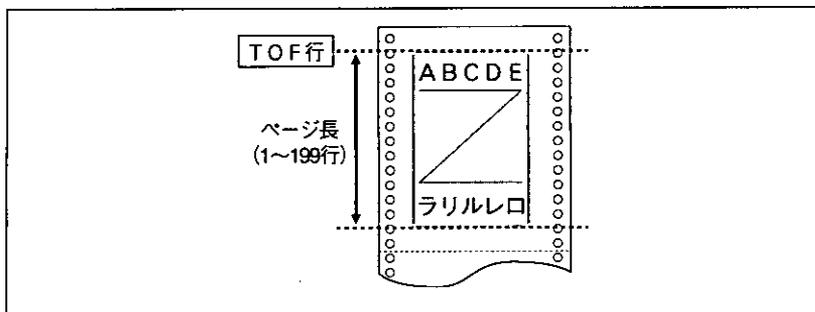
階層図



(□で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

連続用紙(Fmode3、4、6)のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、プリンタユニット操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

[システム]に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

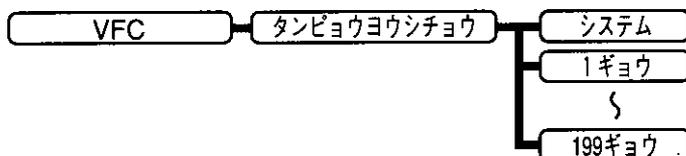


メモ

- 行間は1インチあたり6行(6LPI)です。(LPIは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です。)
- 設定値が1増えると、1/6インチ(約4.2mm)ずつページ長が増えます。
- プリンタユニット操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

カット紙のページ長を設定する(タンピョウヨウシチョウ)

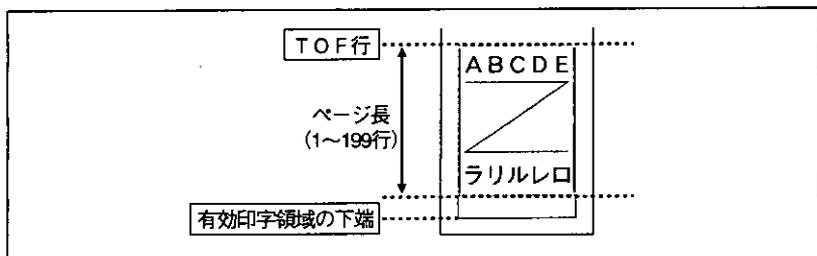
階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

カット紙(Fmodel、2、7、8)のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、プリンタユニット操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

[システム]に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。



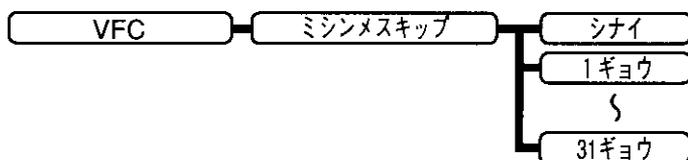


メモ

- 行間は1インチあたり6行(6LPI)です。(LPIは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です。)
- 設定値が1増えると、1/6インチ(約4.2mm)ずつページ長が増えます。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ行数を設定する(ミシンメスキップ)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

ページ長で設定されている行数の、下端からプリントしない(スキップする)行数を設定します。[シナイ]に設定すると、スキップしません。



メモ

- 行間は1インチあたり6行(6LPI)です。(LPIは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です。)
- 設定値が1増えると、1/6インチ(約4.2mm)ずつスキップされる領域が増えます。
- Fmode3,4,6の連続用紙のページフォーマットと、Fmode7,8のワイドモードで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合は、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

6 その他のグループを設定する

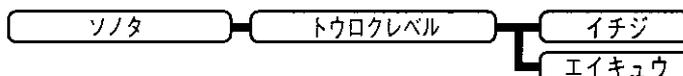
その他のグループでは、登録文字の保存方法の設定を行うことができます。

●その他のグループの設定項目を表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [セットアップ]ボタンを押して、セットアップメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ESC/P セットアップ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、ESC/P専用セットアップメニューを表示します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ソノタ]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押して、その他のグループの設定項目を表示します。

本機に登録された文字をどの時点まで保持するかを設定する(トウロクレベル)

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ一時的に保存するのか、電源をオフにするまで、またはプリンタ機能を再起動するまで保存するのかを設定します。

[イチジ]に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

[エイキュウ]に設定すると、電源をオフにするまで、またはプリンタ機能を再起動するまで保存します。

[ハードリセット]と表示されるまで[リセット]ボタンを押し続けてハードリセット操作を行うと、登録内容が削除されます。

→ ユーザーズガイド「すべての作業を中止する(ハードリセット)」



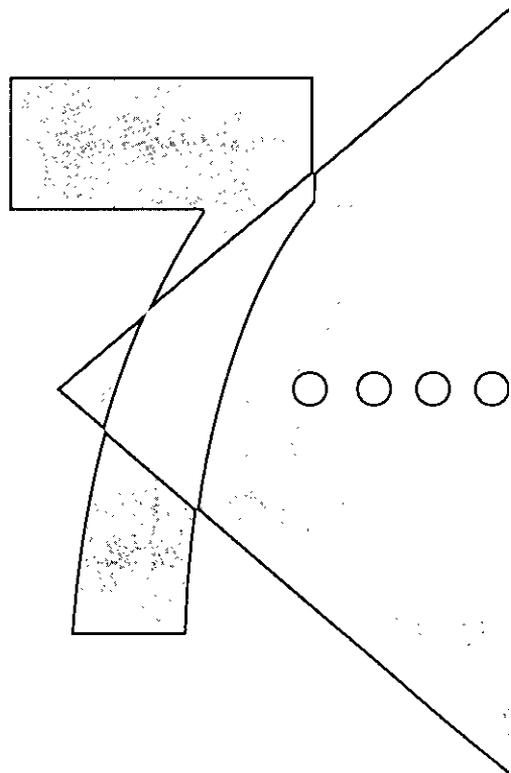
メモ

- 本機はデータを受信するとコントロールコマンドを認識して、プリントを開始/終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、プリンタユニット操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- 登録データと通常のデータを別々に送信する場合は[エイキュウ]に設定してください。

第7章

セットアップ以外の メニューの設定

- 1 動作モードメニューを設定する 122
- 2 優先エミュレーションメニューを設定する 125
- 3 ユーティリティメニューを設定する 126
- 4 給紙選択メニューを設定する 129
- 5 トレイ用紙サイズ選択メニューを設定する 131

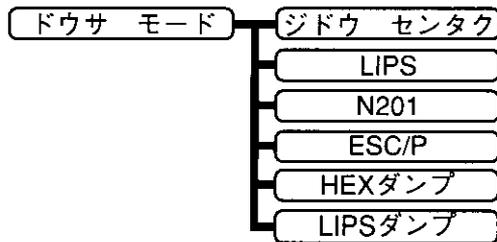


1 動作モードメニューを設定する

●動作モードメニューを表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [動作モード]ボタンを押して、動作モードメニューを表示します。

階層図



() で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

お使いのアプリケーションソフトのプリンタ選択画面で選択したプリンタ名の種類やプリントするデータの種類に合わせて、次のいずれかに動作モードを切り替えることができます。

[ジドウ センタク](自動切替モード)

コンピュータから送信されたデータが、LIPS、N201エミュレーションコマンド、ESC/Pエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、LIPSモード、N201エミュレーションモード、ESC/Pエミュレーションモードに切り替えます。

アプリケーションソフトからプリントする場合、通常はこのモードでお使いください。



- 工場出荷時の状態では、すべてのモードを対象に自動切り替えを行うように設定されていますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。

「動作モード自動切り替えの対象を設定する」→P.39

[LIPS](LIPSモード)

LIPSモードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがLIPSに限られる場合や、自動切り替えでうまくLIPSモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

[N201](N201エミュレーションモード)

N201エミュレーションモードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがN201エミュレーションコマンドに限られる場合や、自動切り替えでうまくN201エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

[ESC/P](ESC/Pエミュレーションモード)

ESC/Pエミュレーションモードに切り替えます。アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドがESC/Pエミュレーションコマンドに限られる場合や、自動切り替えでうまくESC/Pエミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

[HEXダンプ](ヘキサダンプモード)

コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずに16進コードでプリントします。コンピュータからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、付録 B「ヘキサダンプリスト」P.154をご覧ください。

[LIPSダンプ](LIPSダンプモード)

コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずにLIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。コンピュータからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPSダンプリストの見かたについては、付録 B「LIPSダンプリスト」P.154をご覧ください。

▶動作モードの自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンタ選択画面で、常に特定のプリンタ名しか選択しない(特定のコントロールコマンドしか使わない)場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくで便利です。

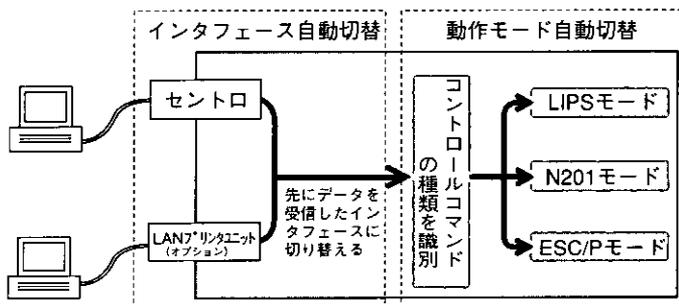
[動作モード自動切り替えの対象を設定する]→P.39

自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して動作モードを切り替えてプリントします。

自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、ジョブタイムアウトを設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替わられる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから30秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。

また、本機にはインタフェースの種類を自動的に切り替える機能もあります。インタフェースの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、先にデータを受信したインタフェースに切り替えて、そのデータのコントロールコマンドの種類を識別して動作モードを切り替えます。

[インタフェースの種類を設定する]→P.57

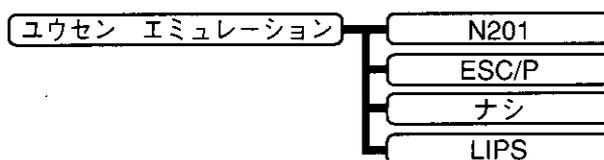


2 優先エミュレーションメニューを設定する

●優先エミュレーションメニューを表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [動作モード]ボタンを約3秒以上押して、優先エミュレーションメニューを表示します。

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

動作モードの自動切り替えを設定した状態で、プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える[優先エミュレーション]を設定しておくことができます。

[N201](N201エミュレーションモード)

N201エミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

[ESC/P](ESC/PEミュレーションモード)

ESC/PEミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

[ナシ]

優先エミュレーションを設定しません。

コントロールコマンドを識別できなかった場合は、以前の動作モードで引続き処理をします。

[LIPS](LIPSモード)

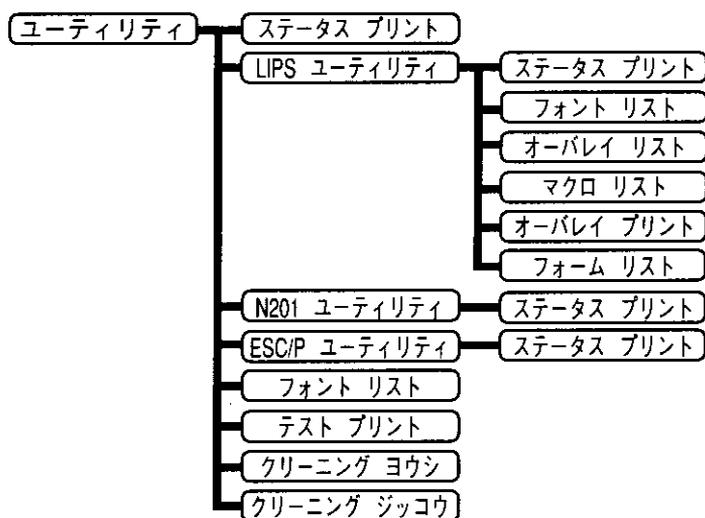
LIPSモードを優先エミュレーションにします。

3 ユーティリティメニューを設定する

● ユーティリティメニューを表示するまでの操作

- 1 [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [ユーティリティ] ボタンを押して、ユーティリティメニューを表示します。

階層図



(□ で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

本機内部の状態や搭載されているフォントなどの情報のプリント、本機のクリーニングなどを行うことができます。

● [ステータス プリント] (共通ステータスプリント)

搭載しているRAMの容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。



お願い

- ネットワークプロトコルの設定時に、MAC(Media Access Control)アドレスが必要になる場合があります。MACアドレスは、ステータスプリントの「拡張インタフェース」の「ベンダーインフォ」に表示されます。実際にMACアドレスを使用するときは、2桁ごとの区切りを入れずに使用してください。(例：0000850448A6)

● [LIPS ユーティリティ] (LIPS専用ユーティリティ)

LIPSモードでの本機の内部情報をプリントします。本項目は、動作モードが自動切り替えまたはLIPSモードのときに表示され、選択できるようになります。

ステータス プリント

共通ステータスプリントの内容に、LIPS専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

フォント リスト

LIPSモードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

オーバーレイ リスト

オーバーレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズを一覧にしてプリントします。登録されているフォーマットデータがない場合は、何もプリントされません。

マクロ リスト

マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズ、マクロが保存されている場所(RAM)を一覧にしてプリントします。登録されているマクロがない場合は、何もプリントされません。

オーバーレイ プリント

オーバーレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS専用セットアップメニューのオーバーレイ1、2に設定されている番号のオーバーレイの内容がプリントされます。オーバーレイ1、2ともに設定されている場合は、両方の内容がプリントされます。設定されていない場合は何もプリントされません。

フォームリスト

フォーム領域に登録されているフォームデータとフォームキャッシュ機能によって保持されているフォーム画像の名称、保存されている場所(RAM)、登録サイズなどを一覧にしてプリントします。登録されているフォームデータ、フォーム画像がない場合は、何もプリントされません。

● [N201 ユーティリティ] (N201専用ユーティリティ)

N201エミュレーションモードでの本機の内部情報をプリントします。本項目は、動作モードが自動切り替えまたはN201エミュレーションモードのときに表示され、選択できるようになります。

ステータス プリント

共通ステータスプリントの内容に、N201専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

●【ESC/P ユーティリティ】(ESC/P専用ユーティリティ)

ESC/Pエミュレーションモードでの本機の内部情報をプリントします。本項目は、動作モードが自動切り替えまたはESC/Pエミュレーションモードのときに表示され、選択できるようになります。

ステータス プリント

共通ステータスプリントの内容に、ESC/P専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

●【フォント リスト】(共通フォントリスト)

本機に搭載されているフォントのID番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

●【テスト プリント】(共通テストプリント)

搭載しているRAMの容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。



メモ

- 共通ステータスプリント、共通フォントリスト、共通テストプリントの出力サンプルについては、付録B「動作モード共通のリスト」P.157をご覧ください。LIPSのステータスプリントとフォントリスト、フォームリスト、N201のステータスプリント、ESC/Pのステータスプリントの出力サンプルについては、付録B「動作モード専用のリスト」P.160をご覧ください。
- 各リストのプリントは、現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントされます。

●【クリーニング ヨウシ】

本機内部の定着器ローラをクリーニングするための用紙をプリントします。手差しトレイにA4サイズまたはレターサイズを縦置きでセットし、[クリーニング ヨウシ]を実行します。

●【クリーニング ジッコウ】

プリントしたクリーニング用紙を使って、本機のクリーニングを行います。プリントしたクリーニング用紙を印刷面を下にして手差しトレイにセットし、[クリーニング ジッコウ]を実行すると、クリーニング用紙が給紙され、クリーニングを行います。



メモ

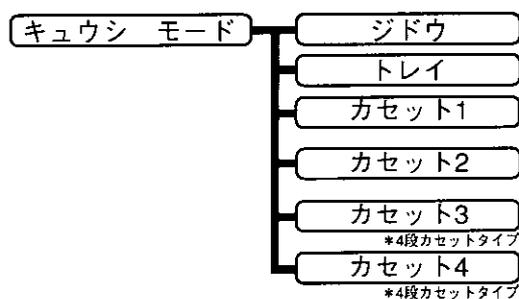
- 定着器ローラのクリーニングは、本体操作パネルを使用して行うことができます。本体操作パネルを使ったクリーニング操作については、NTTFAX D-60取扱説明書「定着器ローラのクリーニングをする」をご覧ください。

4 給紙選択メニューを設定する

●給紙選択メニューを表示するまでの操作

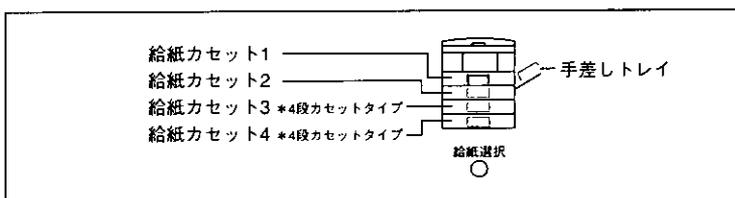
- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [給紙選択]ボタンを押します。
- 3 [給紙選択]ボタンまたは[V]ボタンを押して、給紙選択メニューを表示します。

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

どの給紙カセットまたは手差しトレイからプリントするかを選択できます。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。



[ジドウ](自動給紙選択)

アプリケーションソフトで選択した用紙サイズに合わせて、給紙カセットまたは手差しトレイを自動的に選択して給紙します。

[トレイ](手差しトレイ選択)

手差しトレイから給紙します。

[カセット1](給紙カセット1選択)

給紙カセット1から給紙します。

[カセット2](給紙カセット2選択)

給紙カセット2から給紙します。

[カセット3](給紙カセット3選択)*4段カセットタイプ

給紙カセット3から給紙します。

[カセット4](給紙カセット4選択)*4段カセットタイプ

給紙カセット4から給紙します。



メモ

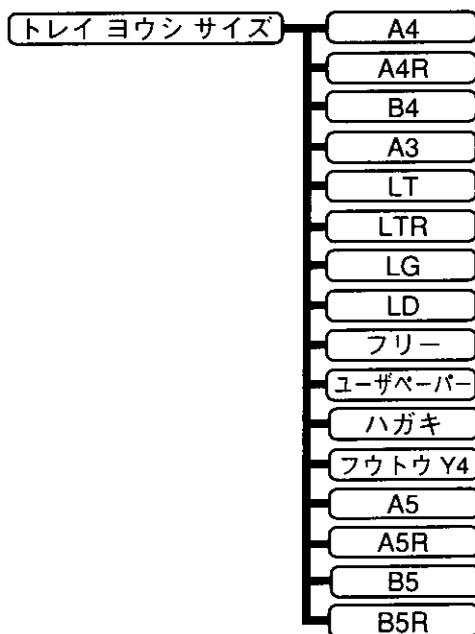
- 操作の途中で[オンライン]ボタンを押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。
- 装着している給紙カセットおよび手差しトレイは、通常はすべて自動給紙選択の対象となりますが、対象から外することもできます。
[自動給紙に使用する手差しトレイ、給紙カセットを選択する]→P.43
- 自動給紙選択で、2つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプが点灯しているほうの給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。
- 給紙カセットの表示は、2段カセットタイプの場合は[カセット1][カセット2]、4段カセットタイプの場合は[カセット1][カセット2][カセット3][カセット4]になります。
- 手差しトレイから給紙する場合は、手差しトレイにセットした用紙のサイズをあらかじめ設定しておく必要があります。工場出荷時はA4サイズに設定されていますが、それ以外のサイズの用紙をセットする場合は、トレイ用紙サイズ選択メニューでトレイ用紙サイズを設定し直してください。
[トレイ用紙サイズ選択メニューの機能と構造]→P.10
- 給紙カセットにA4をセットするときの置きかたは、共通セットアップメニューの給紙グループの[ヨウシノムキ]の設定と合わせるか、または[ジドウ]に設定してください。
[用紙の置きかたに合わせて用紙の向きを設定する]→P.41
- 手差しトレイにA4/A5/B5/レターをセットするときの置きかたは、共通セットアップメニューの給紙グループの[ヨウシノムキ]の設定と合わせてください。

5 トレイ用紙サイズ選択メニューを設定する

●トレイ用紙サイズ選択メニューを表示するまでの操作

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [給紙選択]ボタンを押します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[トレイ ヨウシ サイズ]を表示します。
- 4 [給紙選択]ボタンまたは[V]ボタンを押して、トレイ用紙サイズ選択メニューを表示します。

階層図



(で示した設定値が、工場出荷時の値です。)

手差しトレイにセットした用紙のサイズは自動的に検知されないため、本項目で用紙のサイズを設定します。



メモ

- 共通セットアップメニューの給紙グループの[トレイ ヨウシ サイズ]でも同様の設定ができます。
[手差しトレイにセットした用紙サイズを設定する]→P.40
- [ユーザペーパー]は、アプリケーションソフトなどで定型以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、[オンライン]ボタンを押してエラーを解除してからプリントしてください。
- 本項目を[フリー]に設定すると、1枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどから設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙でプリントすると、用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示されないで、データが欠けてプリントされることがあります。
- [フウトウ Y4]は洋形4号にのみ対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から10mm内側までとなります。
→ユーザーズガイド「手差しトレイの用紙サイズを変更する」

付録A

APPENDIX

A

1	LIPSについて.....	134
2	N201について.....	138
3	ESC/Pについて.....	146

* 本機内蔵フォントのコード表(LIPS、ESC/P、N201)が、本機付属のCD-ROMの [FONTLIST]ディレクトリに収められています。詳しくは、[FONTLIST]ディレクトリ内のReadmeファイルをご覧ください。

* 本機が標準で対応している3つのコントロールコマンド(LIPS、N201エミュレーションコマンド、ESC/Pエミュレーションコマンド)の機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本機付属のCD-ROMの[COMLIST]ディレクトリに収められています。LIPSコントロールコマンドは[LIPSCONT. TXT]、N201コントロールコマンドは[N201CONT. TXT]、ESC/Pコントロールコマンドは[ESCPCONT. TXT]というファイル名で入っています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。

1 LIPSについて

LIPS内蔵フォント

●文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

書体

書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンタ」「ガーランド」など多数の種類があります。

グラフィックセット

あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。

文字ピッチ

文字をプリントする間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI(1インチあたりの文字数)」で示され、コマンドで固定した文字ピッチでプリントされます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。

サイズ

文字の大きさを文字の高さで示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約0.35mm(1/72インチ)です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。

スタイル

スタイルには「直立体(Upright)」と「イタリック体(Italic)」があります。

太さ

文字の太さには「標準(Medium)」「ボールド(Bold)」「ライト(Light)」があります。

●LIPSII+内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例) ALP10.XXX → ALP10.ROMA

1バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンタ	ALP10 . X X X	ROMA N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15 . X X X	N_JPN KATA	15.00	7.20		
	ALP1125 . X X X		11.25	9.60		
明朝体	A1224M . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040M . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216M . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020M . X X X		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040G . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216G . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020G . X X X		6.00	6.00		
Garland	Garland10 . X X X	ROMA N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12 . X X X	N / USA N / GER	12.00			
	Garland17 . X X X	N / SWD N / JPN	17.15			
	GarlandPS11 . X X X	N / UK N_UK	プロポーショナル			
		N_USA N_SWD				
		N_JPN N_GER N_KATA N_HIRA N_GRF				

2バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M . X X X	J78 J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M . X X X		7.50	9.60		
	K40M . X X X		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G . X X X		10.00	7.20		
	K32G . X X X		7.50	9.60		
	K40G . X X X		6.00	12.00		

●LIPSIII/IV内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例) Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの[*1~6]については、次ページの表を参照してください。

1バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10 . X X X	*1, 2, 3, 4	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I . X X X				イタリック	
	Ncourier10 B . X X X					ボールド
	Ncourier15 . X X X	*1, 2, 3	15.00	8.16	直立体	標準
	Ncourier17 . X X X	*4	16.66	8.16		
	Ncourier20 . X X X	*1, 2, 3	20.00	7.2		
	Ncourier20 . X X X	*4	13.60	8.16		

1バイトスケラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
丸ゴシック体	RoundGothic-Light-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケラブル	直立体	ライト
ラインプリンタ	LinePrinter-Bold .XXX	ROMA KATA	固定	スケラブル	直立体	ボールド
Courier	Ncourier .XXX	*1, 2, 3, 5, 6	固定	スケラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold .XXX					ボールド
	Ncourier-Italic .XXX				イタリック	標準
	Ncourier-BoldItalic .XXX					ボールド
Swiss	Swiss .XXX	*1, 2, 3, 5, 6	プロポーショナル	スケラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック	標準
Dutch	Swiss-BoldOblique.XXX				ボールド	
	Dutch-Roman .XXX	*1, 2, 3, 5, 6	プロポーショナル	スケラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック	標準
Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド	
Symbol	Symbol .XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケラブル	直立体	ボールド



メモ

- 1バイトビットマップフォント表と1バイトスケラブルフォント表の「*1~6」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

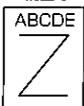
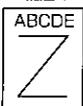
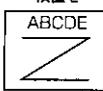
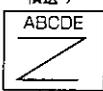
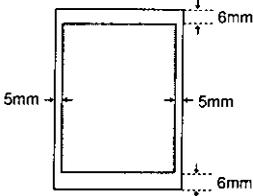
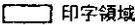
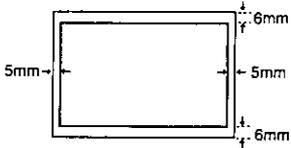
1	ISO_UK ISO_USA ISO_S/F ISO_N/D ISO_JPN ISO_GER ISO_FRC ISO_ITY ISO_SPN
2	88_UK 92_NL 92_UK 92_SWD 92_GER 92_FRC 96M_UK 96M_USA 96M_S/F 96M_N/D 96M_GER 96M_FRC 96X_USA 96P_UK 96P_USA 96P_S/F 96P_NOR 96P_GER 96P_FRC
3	CN_CND CN_NL CN_SWS CN_UK CN_USA CN_SWD CN_N/D CN_JPN CN_GER CN_FRC
4	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBML
5	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBM819 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBM1004 IBML IBML2 Win31L Win31R TURKISH
6	PSR PSL

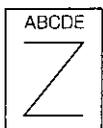
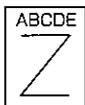
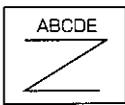
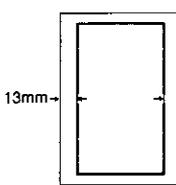
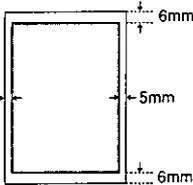
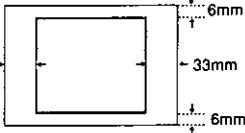
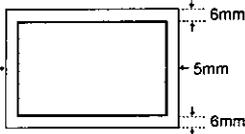
2バイトスケラブルフォント

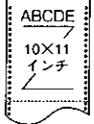
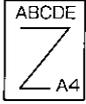
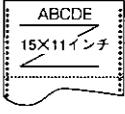
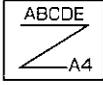
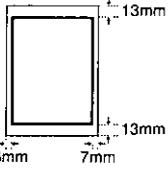
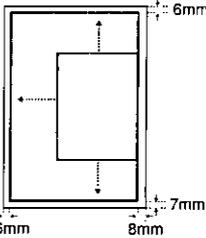
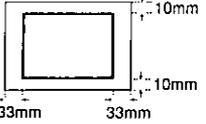
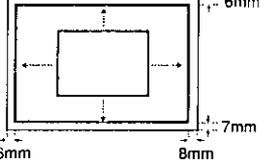
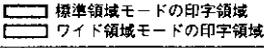
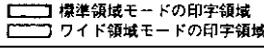
書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
丸ゴシック体	RoundGothic-Light.XXX	J78 J90	固定	スケラブル	直立体	ライト

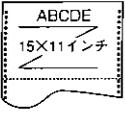
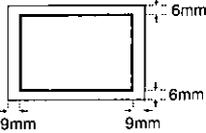
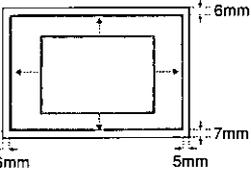
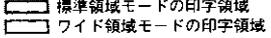
2 N201について

N201エミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸 縦 (Fmode1)	実寸 横 (Fmode2)
ページフォーマット	カット紙の場合のページフォーマット	
	PC-PR201/80A	本機
	縦置き 	縦送り  横送り 
PC-PR201/80Aプリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット PC-PR201/80Aプリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリント	横置き  縦送り  横送り 	
PC-PR201/80Aプリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット PC-PR201/80Aプリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリント		
用紙サイズ	A3,B4,A4,B5,A5,はがきサイズ N201専用セットアップメニューの [ヨウシイチ] で [チュウウオウ] (カットシートフィーダ使用) と [ヒタリ] (カットシートフィーダ不使用) を選択できます	Fmode1と同じ
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント	Fmode1と同じ
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、PC-PR201/80Aプリンタとは印字結果が若干異なります	Fmode1と同じ
印字領域	A4サイズ  	A4サイズ  
第一文字目の印字位置	先頭行 (TOF行) の左マージン位置	Fmode1と同じ
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で13.6インチ、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置 (有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません)	Fmode1と同じ
ボトム位置	PC-PR201/80Aプリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長	Fmode1と同じ

2/3 縦 (Fmode7)		2/3 横 (Fmode8)	
カット紙の場合のページフォーマット			
PC-PR201/80A	本機		PC-PR201/80A
縦置き	縦送り	横送り	横置き
 <p>PC-PR201/80Aプリンタに縦置きにセットしたカット紙を縦方向、横方向ともに2/3に縮小してプリントするときのフォーマット 用紙のほぼ中央にポートレートでプリント</p>			 <p>PC-PR201/80Aプリンタに横置きにセットしたカット紙を縦方向、横方向ともに2/3に縮小してプリントするときのフォーマット 用紙のほぼ中央にランドスケープでプリント</p>
Fmode1と同じ			Fmode1と同じ
初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字		Fmode7と同じ	
プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、PC-PR201/80Aプリンタの印字結果とは見た目が異なります		Fmode7と同じ	
<p>中央印字モード (B4サイズの場合)</p>  <p>左端印字モード (A4/A3/B5/B4サイズの場合)</p>  <p>□ 印字領域</p>	<p>中央印字モード (A4サイズの場合)</p>  <p>左端印字モード (A4/A3/B5/B4サイズの場合)</p>  <p>□ 印字領域</p>		
Fmode1と同じ			Fmode1と同じ
用紙サイズに関係なく、初期状態で13.6インチ（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）		Fmode7と同じ	
Fmode1と同じ			Fmode1と同じ

設定値名	10" →A4 縦 (Fmode3)		15" →A4 横 (Fmode4)			
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット					
	PC-PR201/80A	本機	PC-PR201/80A	本機		
	10×11インチ 	縦送り 	横送り 	15×11インチ 	縦送り 	横送り 
	PC-PR201/80Aプリンタに10×11インチの連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレートでプリント		PC-PR201/80Aプリンタに15×11インチの連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント			
用紙サイズ	A3,B4,A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません） A3,B4サイズを使用した場合でもA4サイズと同じ比率で縮小されプリント		Fmode3と同じ			
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字		初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字			
イメージの印字	Fmode7と同じ		Fmode7と同じ			
印字領域	標準モード（A4サイズの場合） 	ワイド領域モード（A3サイズの場合） 	標準モード（A4サイズの場合） 	ワイド領域モード（A3サイズの場合） 		
						
第一文字目の印字位置	標準領域モード：先頭行（TOF行）の左マージン位置		Fmode3と同じ			
右マージン	標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で13.6インチ（有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません） ワイド領域モード：有効印字領域の右端とほぼ同じ位置		Fmode3と同じ			
ボトム位置	標準領域モード：初期状態の印字開始位置から11インチ（実際の用紙上では10.6インチ）下、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置		標準領域モード：初期状態の印字開始位置から11インチ（実際の用紙上では8.3インチ）下、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置			

15" →B4 横 (Fmode6)	
連続用紙の場合のページフォーマット	
PC-PR201/80A	本機
15×11インチ 	縦送り 
PC-PR201/80Aプリンタに15×11インチの連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央 (ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい) にランドスケープでプリント	
A3,B4サイズ (B4より小さい用紙へのプリントは保証しません) A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率で縮小されプリント	
初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字	
Fmode3と同じ	
標準モード (B4サイズの場合)  ワイド領域モード (A3サイズの場合)  	
Fmode3と同じ	
Fmode3と同じ	
標準領域モード：初期状態の印字開始位置から11インチ (実際の用紙上では9.5インチ) 下、またはN201専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置	



メモ

- Fmode7およびFmode8では中央印字モードと左端印字モードとで用紙サイズによって印字領域が異なります。
- Fmode7およびFmode8の中央印字モードでは、PC-PR201/80Aプリンタの印字範囲を2/3に縮小して、用紙のほぼ中央にプリントします。
- Fmode7およびFmode8の左端印字モードでは、印字データを横方向、縦方向とも2/3に縮小して、本機の有効印字領域の左端から右端までを印字領域としてプリントします。
- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、本機側の用紙サイズも変更します。N201専用セットアップメニューの[ヨウシサイズ] (→P.86) で設定します。[カレントヨウシ]を選択すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- Fmode3,4,6では用紙の余白を有効に使用してプリントできるワイド領域モードが使えます。

●PC-PR201/80Aプリンタのカットシートフィーダについて

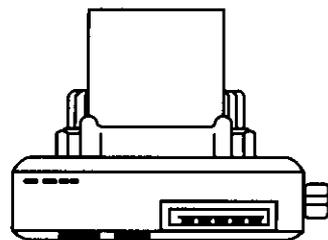
PC-PR201/80Aプリンタでは、カット紙を連続給紙するために、カットシートフィーダを使用します。カットシートフィーダを使用するかしないかで、印字開始位置が異なります。

本機では、カットシートフィーダを使用するときのモードを「中央印字モード」、カットシートフィーダを使用しないときのモードを「左端印字モード」といいます。

中央印字モード

PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用するときのモードで、カットシートフィーダにセットした用紙の左端からプリントを開始するために、用紙の左側にあらかじめ余白を設定してプリントするモードです(通常は、アプリケーションソフト側で書式設定をすると、自動的にこの余白が設定されて、PC-PR201/80Aプリンタにデータが送られてきます)。

本機で、このモードをエミュレートするには、N201専用セットアップメニューの[ヨウシイチ](→P.80)を[チュウオウ]に設定します。用紙サイズに応じて余白が設定されます。

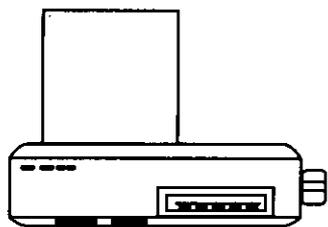


左端印字モード

PC-PR201/80Aプリンタでカットシートフィーダを使用しないときのモードで、用紙の左端0mmの位置からプリントを開始し、用紙の右端いっぱいまでプリントします。

本機で、このモードをエミュレートするには、N201専用セットアップメニューの[ヨウシイチ](→P.80)を[ヒダリ]に設定します。

ただし、本機は用紙の左端より5mm内側からプリントを開始し、用紙の右端より5mm内側までしかプリントできません(本機の有効印字領域による)。したがって、本機はPC-PR201/80Aに比べて、左端から右端まででプリントできる範囲が約10mm短くなります。



●ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

(桁数10cpi、行数6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき	
Fmode 1	文字数	112	97	78	67	54	35	
	行数	96	83	67	57	45	31	
Fmode 2	文字数	136	136	112	97	78	54	
	行数	67	57	46	39	32	20	
Fmode 3	文字数	98	90	80	×	×	×	
	行数	66	66	66	×	×	×	
Fmode 4	文字数	136	136	136	×	×	×	
	行数	66	66	66	×	×	×	
Fmode 6	文字数	136	136	×	×	×	×	
	行数	66	66	×	×	×	×	
Fmode 7	中央	文字数	136	136	118	100	80	52
		行数	144	124	100	86	68	47
	左端	文字数	169	145	118	101	81	53
		行数	144	124	100	86	68	47
Fmode 8	中央	文字数	136	136	136	136	118	80
		行数	100	86	69	59	48	30
	左端	文字数	242	209	169	145	118	81
		行数	100	86	69	59	48	30

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

(桁数10cpi、行数6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 3	文字数	116	100	80	×	×	×
	行数	98	85	68	×	×	×
Fmode 4	文字数	242	209	169	×	×	×
	行数	99	85	69	×	×	×
Fmode 6	文字数	161	139	×	×	×	×
	行数	77	66	×	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

PC-PR201/80Aプリンタとの違い

N201エミュレーションモードでは、N201対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、PC-PR201/80Aプリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

●解像度の違いについて

PC-PR201/80Aプリンタの解像度160dpiに対し、本機は解像度600dpiまたは300dpiで、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果がPC-PR201/80Aプリンタと異なることがあります。

イメージデータ

解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。

とくにFmode6では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。

登録文字

24×24ドット構成の外字は8ポイント相当、32×32ドット構成の外字は10ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。

印字間隔等

解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。

右マージン

文字が右マージンをわずか(1ドット未満)でも越える場合は、改行します。

●文字パターンの違いについて

文字サイズ

Fmode 1、2、3、6では10ポイント、Fmode 4、7、8では8ポイントの文字が印字されるため、PC-PR201/80Aプリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

フォントデザイン

PC-PR201/80Aプリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形やANK／漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

2バイトコードの未定義領域

2バイトコードの中で、N201では未定義の領域に本機専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本機特有のパターンが印字されます。

立体修飾

立体修飾の文字と、他の文字やイメージが重なると、立体修飾の側面部分は白抜きになります。

●その他の制限

登録文字数とメモリオーバー

文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「ダウンロードメモリ 満」のメッセージが表示されます。

登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。

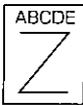
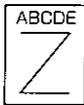
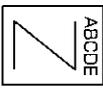
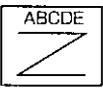
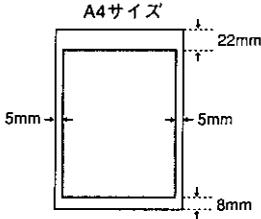
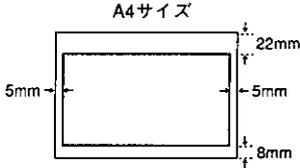
- プリンタ増設 RAM モジュール（オプション）の増設
- 受信バッファの容量を減らして再立ち上げ
- 印字保証メモリ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリの容量を減らして再立ち上げ

白紙の排出

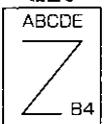
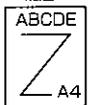
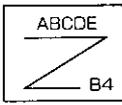
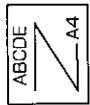
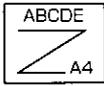
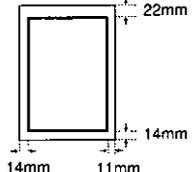
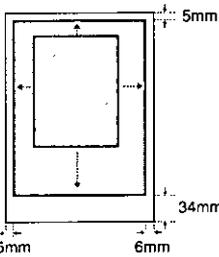
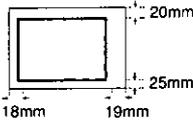
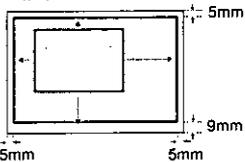
N201エミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。

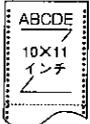
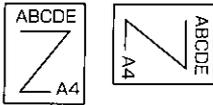
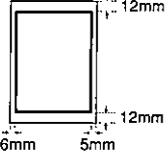
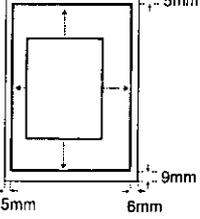
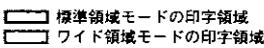
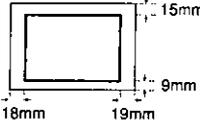
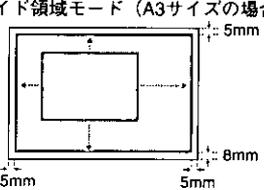
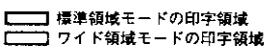
3 ESC/Pについて

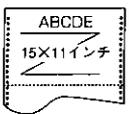
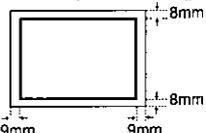
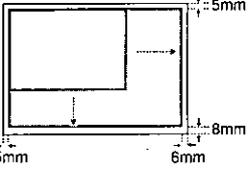
ESC/Pエミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸 縦 (Fmode1)		実寸 横 (Fmode2)		
ページフォーマット	カット紙の場合のページフォーマット				
	ESC/P準拠プリンタ	本機		ESC/P準拠プリンタ	本機
	 縦置き ESC/P準拠プリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリント	 縦送り	 横送り	 横置き ESC/P準拠プリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリント	 縦送り
用紙サイズ	A3,B4,A4,B5,A5,はがきサイズ A3サイズにプリントするときにはワイド領域モードを設定できます		Fmode1と同じ		
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント		Fmode1と同じ		
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります		Fmode1と同じ		
印字領域	 A4サイズ 5mm 22mm 5mm 8mm □ 印字領域		 A4サイズ 5mm 22mm 5mm 8mm □ 印字領域		
第一文字目の印字位置	先頭行 (TOF行) の左マージン位置		Fmode1と同じ		
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で13.6インチ、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置 (有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません)		Fmode1と同じ		
ボトム位置	ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長		Fmode1と同じ		

4 付録 A

B4→A4 縦 (Fmode7)		B4→A4 横 (Fmode8)	
カット紙の場合のページフォーマット			
ESC/P準拠プリンタ	本機		ESC/P準拠プリンタ
<p>縦置き</p> 	<p>縦送り</p> 	<p>横送り</p> 	<p>横置き</p> 
			<p>縦送り</p> 
			<p>横送り</p> 
<p>ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット A4サイズに縮小し用紙のほぼ中央 (ワイド領域では有効印字領域ほぼいっぱい) に、ポートレイトでプリント</p>		<p>ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央 (ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい) に、ランドスケープでプリント</p>	
<p>A3,B4,A4サイズ (A4より小さい用紙へのプリントは保証しません) A3,B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小されプリント</p>		<p>Fmode7と同じ</p>	
<p>初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字</p>		<p>Fmode7と同じ</p>	
<p>プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります</p>		<p>Fmode7と同じ</p>	
<p>標準モード (A4サイズの場合)</p> 	<p>ワイド領域モード (A3サイズの場合)</p> 	<p>標準モード (A4サイズの場合)</p> 	<p>ワイド領域モード (A3サイズの場合)</p> 
<p>標準領域モードの印字領域</p> <p>ワイド領域モードの印字領域</p>		<p>標準領域モードの印字領域</p> <p>ワイド領域モードの印字領域</p>	
<p>標準領域モード: (TOF行) の左マージン位置</p>		<p>Fmode7と同じ</p>	
<p>標準領域モード: 用紙サイズに関係なく、初期状態で13.6インチ (有効印字領域の右端を越えた場合は、はみ出たデータはプリントされません) ワイド領域モード: 印字領域は本機の有効印字領域とほぼ同じです</p>		<p>Fmode7と同じ</p>	
<p>標準領域モード: ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード: 有効印字領域の下端とほぼ同じ位置</p>		<p>Fmode7と同じ</p>	

設定値名	10" →A4 縦 (Fmode3)	15" →A4 横 (Fmode4)
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット	
	<p>ESC/P準拠プリンタ</p> <p>10×11インチ</p>  <p>ESC/P準拠プリンタに10×11インチの連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマットA4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトでプリント</p>	<p>本機</p> <p>縦送り 横送り</p>  <p>ESC/P準拠プリンタに15×11インチの連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマットA4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリント</p>
用紙サイズ	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字	初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字
イメージの印字	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
印字領域	<p>標準モード (A4サイズの場合)</p>  <p>ワイド領域モード (A3サイズの場合)</p>  <p>  </p>	<p>標準モード (A4サイズの場合)</p>  <p>ワイド領域モード (A3サイズの場合)</p>  <p>  </p>
第一文字目の印字位置	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
右マージン	Fmode7と同じ	Fmode7と同じ
ボトム位置	標準領域モード：初期状態の印字開始位置から11インチ（実際用の紙上では10.7インチ）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置	標準領域モード：初期状態の印字開始位置から11インチ（実際用の紙上では8.3インチ）下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長 ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置

15" → B4 横 (Fmode6)	
連続用紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ	本機
15×11インチ 	縦送り 
ESC/P準拠プリンタに15×11インチの連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央(ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい)にランドスケープでプリント	
A3,A4サイズ (B4より小さい用紙へのプリントは保証しません) A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率で縮小されプリント	
初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字	
Fmode7と同じ	
<div style="text-align: center;"> <p>標準モード (B4サイズの場合)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ワイド領域モード (A3サイズの場合)</p>  </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p> 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域 </p> </div>	
Fmode7と同じ	
Fmode7と同じ	
<p>標準領域モード：初期状態の印字開始位置から11インチ (実際の用紙上では10.5インチ) 下、またはESC/P専用セットアップメニューやコントロールコマンドで設定したページ長</p> <p>ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置</p>	



メモ

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、本機側の用紙サイズも変更します。ESC/P専用セットアップメニューの[ヨウシサイズ](→ P.108)で設定します。[カレントヨウシ]を選択すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- Fmode1, 2でESC/P専用セットアップメニューの[ヨウシサイズ]を[A3]に設定している場合、およびFmode3, 4, 6, 7, 8では、用紙の余白を有効に使ってプリントできるワイド領域モードが使えます。

●ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

(桁数 10cpi、行数 6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1	文字数	112	97	78	67	54	35
	行数	96	78	63	54	42	28
Fmode 2	文字数	136	136	112	97	78	54
	行数	63	52	42	36	28	16
Fmode 3	文字数	80	80	80	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
Fmode 4	文字数	136	136	136	×	×	×
	行数	66	66	66	×	×	×
Fmode 6	文字数	136	136	×	×	×	×
	行数	66	66	×	×	×	×
Fmode 7	文字数	97	97	97	×	×	×
	行数	78	78	82	×	×	×
Fmode 8	文字数	136	136	136	×	×	×
	行数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

表中の文字数/行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

(桁数 10cpi、行数 6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
Fmode 1	文字数	112	—	—	—	—	—
	行数	95	—	—	—	—	—
Fmode 2	文字数	161	—	—	—	—	—
	行数	66	—	—	—	—	—
Fmode 3	文字数	115	99	80	×	×	×
	行数	98	84	68	×	×	×
Fmode 4	文字数	215	186	150	×	×	×
	行数	99	85	68	×	×	×
Fmode 6	文字数	161	139	×	×	×	×
	行数	77	66	×	×	×	×
Fmode 7	文字数	150	129	104	×	×	×
	行数	127	109	88	×	×	×
Fmode 8	文字数	215	186	150	×	×	×
	行数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

表中の文字数/行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ESC/P準拠プリンタとの違い

ESC/Pエミュレーションモードでは、ESC/P対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、ESC/P準拠プリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

●解像度の違いについて

ESC/P準拠プリンタの解像度180dpiに対し、本機は解像度600dpiまたは300dpiで、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果がESC/P準拠プリンタと異なることがあります。

イメージデータ

解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。

とくにFmode6では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。

登録文字

24×24ドット構成の外字は、8ポイント相当、32×32ドット構成の外字は10ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。

印字間隔等

解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。

右マージン

文字が右マージンをわずか(1ドット未満)でも越える場合は、改行します。

●文字パターンの違いについて

文字サイズ

Fmode 1、2、3、6では10ポイント、Fmode 4、7、8では8ポイントの文字が印字されるため、ESC/P準拠プリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

フォントデザイン

ESC/P準拠プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形やANK／漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

2バイトコードの未定義領域

2バイトコードの中で、ESC/Pでは未定義の領域に本機専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本機特有のパターンが印字されます。

立体修飾

立体修飾の文字と、他の文字やイメージが重なると、立体修飾の側面部分は白抜きになります。

●その他の制限

登録文字数とメモリオーバー

文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「ダウンロードメモリ フル」のメッセージが表示されます。

登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。

- プリント増設 RAM モジュール（オプション）の増設
- 受信バッファの容量を減らして再立ち上げ
- 印字保証メモリ、システムワークメモリ、フォームキャッシュメモリの容量を減らして再立ち上げ

白紙の排出

ESC/Pエミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。

ESC/Pスーパー

ESC/PエミュレーションモードはESC/P24-J84仕様にも対応しているため、ESC/Pスーパーのプリンタ設定では正しくプリントされません。

付録 B

APPENDIX B

1	ダンプリスト	154
2	動作モード共通のリスト	157
3	動作モード専用のリスト	160
4	本機についての注意事項	164

1 ダンプリスト

●ヘキサダンプリスト

動作モードメニューで[HEXダンプ]を選択すると、コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16進コードでプリントします。

1行に32バイトの16進コードを印字します。16進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4サイズポートレイトでのみプリントできます。

(操作方法→「動作モードメニューの操作の流れ」P.23)

Version : RD.08/BEP5C251										Page : 2	
00600	E4 76 3D 1F 90 48 84 52	39 24 98 4D 27 94 4A 65	52 89 64 B6 5D 2F 90 4D	40 80 01 E0 50 38 24 16	Jv=.	Hdr9\$ M' Jcrtda)/	00 . #P8\$.				
00680	00 07 84 42 61 50 B8 84	36 1D 0F 88 44 82 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 84	..	BaPpd6.. DbQ8, V-. FcQ7Jv=. Hd					
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 89 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 00 07 84 42 61 50 B8	RS\$ M' Jcrtda)/	00 . #P8\$.. BaPp					
006C0	84 36 1D 0F 88 44 82 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	84 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8, V-. FcQ7Jv=. Hdr9\$ M'						
006E0	4A 85 52 89 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 00 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 82	Jcrtda)/	00 . #P8\$.. BaPpd6.. Db					
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 85 52 89 64 B6 5D	Q8, V-. FcQ7Jv=. Hdr9\$ M' Jcrtda)						
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 00 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	82 51 38 A4 56 2D 17 8C	/	00 . #P8\$.. BaPpd6.. DbQ8, V-					
00740	48 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 7E 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQ7Jv=. Hdr9\$					
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00					
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00					
007A0	05 00 00 00 18 00 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00					
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 08 00 00							

●LIPSダンプリスト

動作モードメニューで[LIPSダンプ]を選択すると、コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPSのコントロールコマンドの形式でプリントします。現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントします。

(操作方法→「動作モードメニューの操作の流れ」P.23)

Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18										Page : 1	
00000	ec c	ec P 4 1 ; 6 0 0 J ec v	ec <	ec [1 1 h	ec [? 6 _ i	ec [3 0 0 0 ; 1 . r	72 65 67 72 65 67				
00042	72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65										
	*** skip 2960 Byte ***										
03016	65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67	ec [0 ; 1 x	ec [[ec [0 ; 4 x	ec []	ec [0					
03057	; 0 x	ec [5 0 0 ; 5 0 0 f	FILE _ NAME _ _ _ _ > _ HEIGHT. 0 0 4 _ _ T. KAWAI								
03104	ec P z Mincho - Medium. J 7 8 ec v	ec [? 3 5 0 _ K	ec [1 0 0 0 _ C	ec [3 0 0 0 ; 4							
03150	5 0 0 f	! v ! v ! v ! ! J 8 ; z 9 b ; X D J L ? N a ! ! ! v ! v ! v	ec [? 8 5 0 _ K	ec [3 5 0							
03197	_ C	ec [5 0 0 0 ; 1 5 0 0 f	ec [4 m	! v J 8 ; z 9 b ; X D J L ? N a \$ G ; X D J \$ 7 \$?	ec [
03243	7 m	B g \$ - \$ 5 \$ N J 8 ; z \$ K \$ J \$ k \$ +	ec [2 7 m	! J # 2 % P % \$ % H ! & % 9 % ! ! < % i %							
03291	V % k ! & % U %) % s % H I K	ec [2 4 m	ec [2 7 5 0 0 ; 1 2 0 0 0 f	ec [5 m	# C # 0 # M # M						

枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位で枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

改行・改ページを示す記号

 : lf (改行)、vt (垂直タブ)、nl (復帰改行) による改行を伴うコマンド、または ff (改ページ) による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。(例: lf |)

異常終了を知らせる記号

! : 命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

00000 ec ec 5 m A B C D

LIPSダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

ベクタモードのLIPSダンプリスト

- 命令は全角文字で印字されます。
- パラメータは10進コードで、文字パターンは16進コードでそれぞれ印字されます。
- パラメータが2つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。



メモ

- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード20h (16進コード) は「`_`」、文字コードA0h (16進コード) は「`A0`」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
【例】 `FFh` (16進コード) → `FF` 改ページ → `ff`

2 動作モード共通のリスト

●共通ステータスプリント

搭載しているRAMの容量や共通プリント環境の設定内容などがプリントされます。

操作方法

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [ユーティリティ]ボタンを押して、ユーティリティメニューを表示します。
- 3 [V]ボタンを押します。

本機の特長、
搭載メモリ、
インタフェースに
関する設定、
オプションの装着状態
などを示しています。

共通プリント
環境の設定値

STATUS PRINT
LP3000/NITTFAX D-60













バージョン: R1.00 KUSHI05A	本体メモリ搭載容量: 4 (4MB + 0MB)
サブバージョン: 09.00 2ID: 2.21 01	空きメモリ量: 506 Kbytes
フォントバージョン: 19970530	動作モード: 自動
紙張モード: 自動	優先エミュレーション: N201

拡張機能グループ

コピー枚数: 1枚
タイムアウト: 30分
パキルオフモード: 30分
プリープ色: 1色
算出表示: する
トナー節約: 使わない
トナー濃度: 4
算出処理: 解除
自動エフェースキップ: 使わない
念の活動: 基本動作
自動切替/LIPS: 使う
自動切替/N201: 使う
自動切替/ESC P: 使う
パワーオンメモリ: 使わない

給紙グループ

トレイ用紙サイズ: A4
デフォルト用紙サイズ: A4
用紙の向き: 自動
トレイ優先: しない
自動選紙/トレイ: 使う
自動選紙/カセット1: 使う
自動選紙/カセット2: 使う
自動選紙/カセット3: 使う
自動選紙/カセット4: 使う
デフォルト用紙タイプ: 標準紙
用紙名称/トレイ: 1
用紙名称/カセット1: 1
用紙名称/カセット2: 2
用紙名称/カセット3: 3
用紙名称/カセット4: 4

インタフェースグループ

インタフェース選択: 自動
Baud-Ack: A8-A
セントロスピード送信: 高速
インタフェースタイプ: 動作モード依存
受動: ニブル
電圧バックアップ: 64K

レイアウトグループ

縦補正: 0.0mm
横補正: 0.0mm
縦じ方向: 真上
横じ幅: 0.0mm

印字調整グループ

スーパーストーズ: 使う
印字速度: 自動
解像度: ファイン
中間選紙: パターン1
パンチ調整: する
解像度名: 標準
システムリソースメモリ: 自動
フォームキャッシュメモリ: 使わない

デバイスID
Manufacturer: Canon
Model: LP3000 NITTFAX D-60
Description: Canon LP3000 NITTFAX D-60
CompatID: LASER SHOT LBP-350LASER SHOT I BP-750

各種コントロール	Ver 01.15	LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
LIPS	Ver 01.39	ESC Pは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
N201	Ver 01.39	
ESC P		

●共通フォントリスト

本機に搭載されているフォントの一覧がプリントされます。

操作方法

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [ユーティリティ]ボタンを押して、ユーティリティメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[フォント リスト]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押します。

FONT LISTS		LP3000/NTTFAX D-60
フォント名称	フォントID	フォント見本書体
Ncourier10		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Ncourier10B		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Ncourier10I		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Ncourier15		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Ncourier17		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Ncourier20		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Mincho-Medium	002	あいうえおかきくけこ 亜氏樂背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおかきくけこ 茶氏樂背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Gothic-Medium	004	あいうえおかきくけこ 亜氏樂背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおかきくけこ 茶氏樂背
RoundGothic-Light-H	005	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
RoundGothic-Light	006	あいうえおかきくけこ 亜氏樂背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcde fghij

印字サンプル
実際の書体を確認
できます。

●共通テストプリント

搭載しているRAMの容量や共通プリント環境の設定内容などがプリントされます。

操作方法

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [ユーティリティ]ボタンを押して、ユーティリティメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[テスト プリント]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押します。

STATUS PRINT

LP3000/NTTFAX D-60














バージョン: R1.00 KUS8105A
 サブバージョン: 09.00 2HD-221.01
 フォントバージョン: 19970530
 縮減モード: 自動

本体メモリ搭載状況: 4.4 MB + 0 MB)
 送込メモリ量: 506 Kbytes
 動作モード: 自動
 最先エミュレーション: N201

拡張機能グループ

コピー枚数: 1枚
 タイムアウト: 30分
 パネル付モード: 30分
 プザー警告: 静
 警告表示: する
 トナー節約: 使わない
 トナー濃度: 4
 警告音: 静
 自動スリープ: 使わない
 表示言語: 日本語
 自動切替/IPS: 使
 自動切替/N201: 使
 自動切替/ESC: 使
 パワーオンクロ: 使わない

給紙グループ

トレイ用紙サイズ: A4
 デフォルト用紙サイズ: A4
 用紙の向き: 自動
 トレイ優先: しない
 自動選紙/トレイ: 使
 自動選紙/カセット1: 使
 自動選紙/カセット2: 使
 自動選紙/カセット3: 使
 自動選紙/カセット4: 使
 デフォルト用紙タイプ: 普通紙
 用紙名称/トレイ:
 用紙名称/カセット1:
 用紙名称/カセット2:
 用紙名称/カセット3:
 用紙名称/カセット4:

インタフェースグループ

インタフェース選択: 自動
 Baud-rate: A-38.4
 セントロスピード変換: 高速
 セントロスピード送信: 高速
 セントロプロトコル: 動作モード依存
 互方向: ニツ五
 電圧バソフア: 64K

レイアウトグループ

幅調整: 0.0mm
 濃度正: 0.0mm
 向き方向: 長下
 濃じ幅: 0.0mm

印字調整グループ

スーパースムーズ: 使
 印字保留: 自動
 解像度: ファイン
 中間調整: パターン1
 バンド調整: する
 両頁警告: 静
 システムワークメモリ: 自動
 フォームキャッシュメモリ: 使わない

デバイスID
 Manufacturer: Canon
 Model: LP3000/NTTFAX D-60
 Description: Canon LP3000/NTTFAX D-60
 CompatibleID: LASER SHOT LBP-850,LASER SHOT LBP-750

搭載コントローラ

LIPS
 N201
 ESCP

Ver 01.15
 Ver 01.19
 Ver 01.39

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。
 ESCPは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

●LIPSフォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

操作方法

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [ユーティリティ]ボタンを押して、ユーティリティメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して[LIPS ユーティリティ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押します。
- 5 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[フォント リスト]を表示します。
- 6 [V]ボタンを押します。

FONT LISTS							PAGE: 001
Code	Pitch Size	Style	Stretch	Transfaced (Yes)	SAMPLE		
34	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ	
35	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
36	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
37	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
38	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
39	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
40	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
41	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
42	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
43	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
44	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
45	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
46	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
47	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
48	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
49	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
50	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
51	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
52	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
53	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
54	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
55	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
56	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
57	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
58	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
59	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
60	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
61	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
62	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
63	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
64	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
65	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
66	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
67	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
68	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
69	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
70	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
71	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
72	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
73	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
74	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
75	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
76	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
77	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
78	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
79	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
80	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
81	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
82	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
83	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
84	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
85	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
86	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
87	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
88	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
89	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
90	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
91	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
92	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
93	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
94	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
95	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
96	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
97	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	
98	FIX	variable	Normal	0	Medium	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz	
99	FIX	variable	Normal	0	Medium	0123456789ABCDEF	
100	FIX	variable	Normal	0	Medium	ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ	

印字サンプル
実際の書体を確認でき
ます。



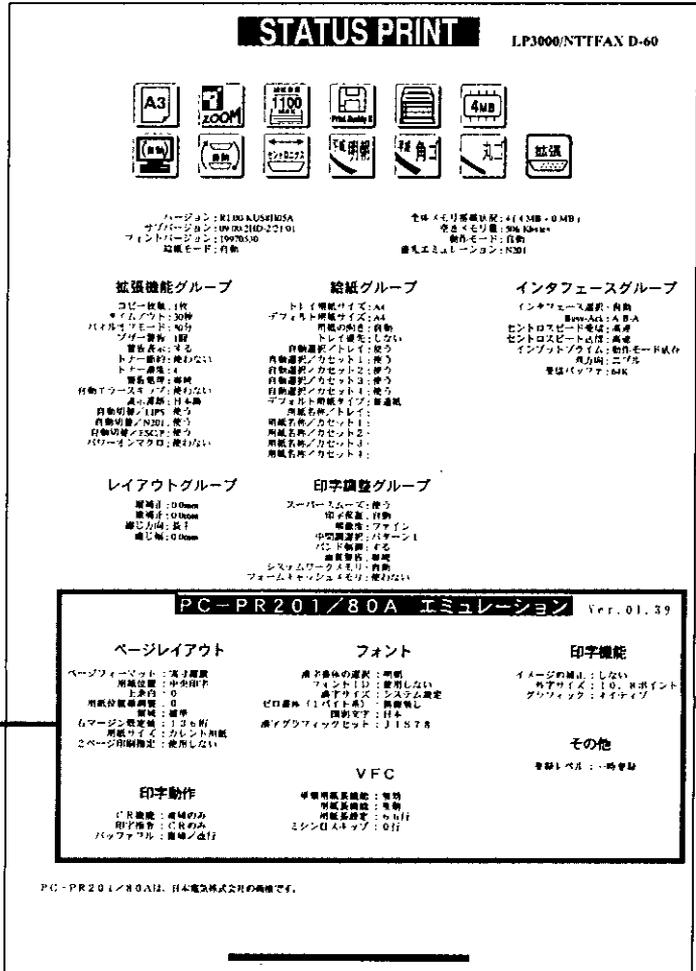
- この他に、本機に内容が登録されている場合にのみ、「LIPSオーバレイリスト」、「LIPSオーバレイプリント」、「LIPSマクロリスト」、「LIPSフォームリスト」がプリントできます。

●N201ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、N201専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

操作方法

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [ユーティリティ]ボタンを押して、ユーティリティメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[N201 ユーティリティ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、[ステータス プリント]を表示します。
- 5 [V]ボタンを押します。



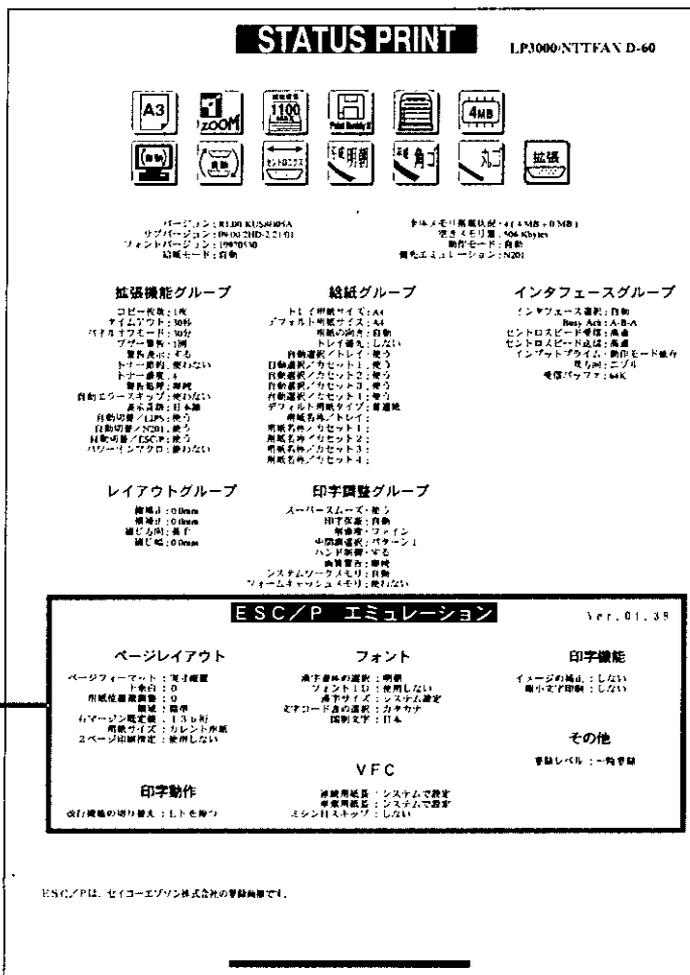
N201専用セットアップメニューの設定値

●ESC/Pステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、ESC/P専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

操作方法

- 1 [オンライン]ボタンを押して、ボタンを消灯させます。
- 2 [ユーティリティ]ボタンを押して、ユーティリティメニューを表示します。
- 3 [<]ボタンまたは[>]ボタンを押して、[ESC/P ユーティリティ]を表示します。
- 4 [V]ボタンを押して、[ステータス プリント]を表示します。
- 5 [V]ボタンを押します。



ESC/P専用セット
アップメニューの
設定値

4 本機についての注意事項

プリント結果が意図したものと異なる場合や、スーパーファインモード時の制限など、本機をお使いになるうえでご注意いただきたい制限事項を説明します。

本機の制限事項

- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- テキストモードで縦書きに文字を印字する場合2バイト和文プロポーショナルフォント (Mincho-Medium-PS.XXX、Gothic-Medium-PS.XXX) は使用できません。文字ピッチが固定しているフォントをお使いください。
- LIPSメニューより拡大/縮小を行う場合、LIPS II+モード用ユーザ登録文字セット、およびビットマップフォントGarlandPS11/ALP10/ALP15/ALP125は、印字されないことがあります。

スーパーファインモード(1200dpi)時の制限事項

スーパーファインモードでは、次のような制限があります。

●プリント速度

- A4(横送り)で8枚/分になります。

●メモリについて

- 8MB以上のメモリ(プリンタ増設RAMモジュール：オプション)を増設する必要があります。
- 32MB(Max.)のメモリを増設すると、B4サイズまでの印字を保証します。
詳しくは、「スーパーファイン/ファインモードでプリントを行うためのメモリを確保する」P.49をご覧ください。
- スーパーファインモード(1200dpi)に設定されていても、処理に必要なメモリが不足した結果メモリエラーが発生し、解像度を600dpiに落としてプリントすることがあります。スーパーファインモードでは、クイックモード、ファインモードに比べて印字データの処理に必要なメモリが不足しがちなため、次のようなメモリエラーが発生しやすくなります。

例：「23 ダウンロードメモリ フル」 「26 システムメモリ フル」
「28 ビョウガメモリ フル」 「30 メモリ フル」
「33 ワークメモリ フル」 「38 ガシツ テイカ」

●細い線・網点・塗りつぶし

- 極細線や極小網点は、印刷されない場合があります。
- 閉領域塗りつぶし命令(指定した閉領域を塗りつぶしてプリントするように命令する、LIPSコントロールコマンド)は動作しません。閉領域塗りつぶし命令を受信すると、「S2 ヌリツブシメイレイ フカ」とエラーメッセージが表示されます。
[オンライン]ボタンを押すと、閉領域塗りつぶし命令だけをスキップしてプリントします。

●無視される設定項目

- スーパースムージング処理、トナー節約の設定は無視されます。
「スムージング処理の設定をする」→P.48、「トナーを節約してプリントする」→P.36

●エミュレーションモードでの使用

- すべてのエミュレーションモード時は、スーパーファインモードを使用できません。

●座標範囲

- スーパーファインモードでは、1200dpiでデータを処理するため、ベクタモードの座標範囲が1.38m四方になります。ベクタモード座標の最大・最小値は、どの解像度の場合でも-32640～+32639ドット(XY座標とも)です。したがって、解像度が上がると、ベクタモード座標範囲は狭くなります。

●文字の修飾

- アウトライン修飾とシャドウ修飾を使用した場合、搭載されているメモリによっては、修飾できないことがあります。

解像度	搭載メモリ	修飾保証
1200dpi	12MB以上	100ポイントまで
	28MB以上	250ポイントまで
300dpi・600dpi	4MB以上	100ポイントまで
	12MB以上	250ポイントまで

上記のサイズ以上の文字に対して修飾をした場合、アウトライン修飾、シャドウ修飾がかからないことがあります。

ただし、上記の条件を満たした場合も、複雑な形状の文字の場合、印字位置によってはアウトライン修飾、シャドウ修飾がかからないことがあります。

●ビットマップフォント

- LIPS II+モード用フォントGarlandPS11/ALP10/ALP15/ALP1125は、単純拡大されるため品位が低下する文字があります。

用語索引

記号

2 ページ印刷設定	
ESC/P	109
N201	86

A

ANK 書体	71
--------------	----

B

busy-ack	58
----------------	----

C

CPI	134
CR 機能	
LIPS	74
N201	94

D

dpi	51
-----------	----

E

ECP	60
ESC/P エミュレーションコマンド	VIII, 133
ESC/P エミュレーションモード	VIII, 123, 125
ESC/P ステータスプリント	128, 163
ESC/P 専用セットアップメニュー	
機能	4
構造	6
操作の流れ	20
ESC/P 専用ユーティリティ	128

F

Fmode1	
ESC/P	103, 146
N201	79, 138
Fmode2	
ESC/P	103, 146
N201	79, 138
Fmode3	
ESC/P	103, 148
N201	79, 140

Fmode4	
ESC/P	103, 148
N201	79, 140
Fmode6	
ESC/P	103, 149
N201	79, 141
Fmode7	
ESC/P	104, 147
N201	80, 139
Fmode8	
ESC/P	104, 147
N201	80, 139

J

JIS78	
LIPS	72
N201	90
JIS90	
LIPS	72
N201	90

L

LF 機能	75
LIPS II	VIII
LIPS II+	VIII
LIPS III	VIII
LIPS IV	VIII
LIPS IVc	VIII
LIPS オーバレイプリント	127
LIPS オーバレイリスト	127
LIPS コントロールコマンド	VIII, 133
LIPS ステータスプリント	127, 160
LIPS 専用セットアップメニュー	
機能	4
構造	5
操作の流れ	18
LIPS 専用ユーティリティ	127
LIPS ダンプモード	123
LIPS ダンプリスト	154
LIPS フォームリスト	127
LIPS フォントリスト	127, 161
LIPS マクロリスト	127

LIPSモード	VIII, 123, 125
LPI	98, 118, 119

N

N201 エミュレーションコマンド	VIII, 133
N201 エミュレーションモード	VIII, 123, 125
N201 ステータスプリント	127, 162
N201 専用セットアップメニュー	
機能	4
構造	6
操作の流れ	20
N201 専用ユーティリティ	127
NetSpot	2
NVRAM	2

T

TOF	
ESC/P	104, 146
N201	81, 138

V

VFC グループ	
ESC/P	117
N201	96

ア行

網かけ解像度	75
イメージの補正	
ESC/P	114
N201	92
印字機能グループ	
ESC/P	114
N201	92
印字指令	95
印字調整グループ	48
印字動作グループ	
ESC/P	116
N201	94
印字保証	49
印字保証メモリ	49
インタフェースグループ	57
インタフェース選択	57

インプットブライム	59
上余白	
ESC/P	104
N201	81
オーバーレイ 1	67
オーバーレイ 2	67

カ行

改行機能	116
外字サイズ	93
解像度	51
拡大／縮小	64
拡張機能グループ	34
画質警告	54
カットシートフィーダ	142
漢字グラフィックセット	
LIPS	72
N201	90
漢字コード	69
漢字サイズ	
ESC/P	112
N201	89
漢字書体	
ESC/P	111
LIPS	71
N201	88
給紙グループ	40
給紙選択メニュー	
機能	9
構造	10
操作の流れ	28
行数	72
共通ステータスプリント	126, 157
共通セットアップメニュー	
機能	4
構造	4
操作の流れ	16
共通テストプリント	128, 159
共通フォントリスト	128, 158
共通プリント環境	4
クイックモード	51

国別文字

ESC/P	113
N201	90
グラフィック	93
グラフィックセット (LIPS)	134
クリーニング実行	128
クリーニング用紙	128
警告処理	37
警告表示	36
桁数	73
コピー枚数	34
コントロールコマンド	VIII, 133

サ行

左端印字モード	142
システムワークメモリ	54
自動エラースキップ	38
自動改行	74
自動改ページ	73
自動給紙選択	129
自動切り替え	39
自動切替モード	122
自動選択	43
縮小文字	115
受信バッファ	61
書体 (LIPS)	134
ジョブ	34, 100, 120
ジョブタイムアウト	76, 124
スーパースムーズ	48
スーパーファインモード	51
スタートアップマクロ	68
セットアップメニュー	
機能	4
構造	4
ゼロ書体	90
セントロ受信速度	58
セントロ送信速度	59
セントロニクス	57
専用プリント環境	4
双方向	60
その他のグループ	
ESC/P	120
N201	99

タ行

タイムアウト	34
縦補正	44
単票用紙長	118
単票用紙長機能	96
中央印字モード	142
中間調選択	52
手差しトレイ選択	129
デフォルト用紙サイズ	41
デフォルト用紙タイプ	43
動作モード	VIII
動作モードメニュー	
機能	7
構造	7
操作の流れ	23
登録レベル	
ESC/P	120
N201	99
綴じ幅	46
綴じ方向	45
トナー節約	36
トナー濃度	37
トレイ優先	42
トレイ用紙サイズ	40
トレイ用紙サイズ選択メニュー	
機能	10
構造	10
操作の流れ	29

ナ行

ニブル	60
-----------	----

ハ行

白紙節約	76
バッファフル	95
パネルオフモード	35
バンド制御	53
左マージン	
ESC/P	146
N201	138
表示言語	38
ファインモード	51

フォームキャッシュ メモリ	55
フォント I D	
ESC/P	112
N201	89
フォントグループ	
ESC/P	111
N201	88
複数ページ印刷	65
ブザー	36
プリンタユニット操作パネル	3
ページ長	
ESC/P	105, 146
N201	82, 138
ページの向き	66
ページフォーマット	
ESC/P	102, 146
N201	78, 138
ページレイアウトグループ	
ESC/P	102
N201	78
ヘキサダンプモード	123
ヘキサダンプリスト	154
ポートレイト	104
ボタン	
[∧] ボタン	13
[オンライン] ボタン	13
[給紙選択] ボタン	12, 13
[∨] ボタン	13
[セットアップ] ボタン	12, 13
[動作モード] ボタン	12, 13
[<] ボタン	13
[>] ボタン	13
[ユーティリティ] ボタン	12, 13
ボトム位置	
ESC/P	146
N201	138

マ行

右マージン	
ESC/P	146
N201	138

右マージン既定値	
ESC/P	108
N201	85
ミシン目スキップ	
ESC/P	119
N201	98
メニュー機能	2
メニューの構造	14
文字コード	113
文字サイズ	70
文字ピッチ (LIPS)	134

ヤ行

ユーティリティメニュー	
機能	8
構造	9
操作の流れ	26
有効印字領域	
ESC/P	105, 146
N201	81, 82, 138
優先エミュレーションメニュー	
機能	8
構造	8
操作の流れ	24
用紙位置	80
用紙位置微調整	
ESC/P	106
N201	83
用紙サイズ	
ESC/P	108
N201	86
用紙長機能	97
用紙長設定	97
用紙の向き	41
横補正	44

ラ行

ランドスケープ	104
領域	
ESC/P	107
N201	85
レイアウトグループ	44
連続用紙長	117

メニューの表示方法

ESC/P ステータスプリント	163
ESC/P 専用セットアップメニュー	
VFC グループの設定項目	117
印字機能グループの設定項目	114
印字動作グループの設定項目	116
その他のグループの設定項目	120
フォントグループの設定項目	111
ページレイアウトグループの設定項目 ..	102
LIPS ステータスプリント	160
LIPS 専用セットアップメニュー	64
LIPS フォントリスト	161
N201 ステータスプリント	162
N201 専用セットアップメニュー	
VFC グループの設定項目	96
印字機能グループの設定項目	92
印字動作グループの設定項目	94
その他のグループの設定項目	99
フォントグループの設定項目	88
ページレイアウトグループの設定項目	78
給紙選択メニュー	129
共通ステータスプリント.....	157
共通セットアップメニュー	
給紙グループの設定項目	40
印字調整グループの設定項目	48
インタフェースグループの設定項目	57
拡張機能グループの設定項目	34
レイアウトグループの設定項目	44
共通テストプリント.....	159
共通フォントリスト.....	158
動作モードメニュー	122
トレイ用紙サイズ選択メニュー	131
ユーティリティメニュー.....	126
優先エミュレーションメニュー	125

商標について

LASER SHOTは、キヤノン(株)の登録商標です。

LIPS, Print BuddyII, MaxiMem, NetSpotはキヤノン(株)の商標です。

MS-DOS、Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。

Unixは、米国AT & T社が開発し、ライセンスしているオペレーティングシステムです。

PC-9800 シリーズ、N5200 シリーズ、PC-PR201/80A は日本電気(株)の商標です。

ESC/Pは、セイコーエプソン(株)の商標です。

IBMは米国IBM社の商標です。

DECは、米国デジタルイクイブメント社の商標です。

Diabloは、米国ゼロックス社の商標です。

PostScriptは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。

次の各書体名は、キヤノン(株)が米国ビットストリーム社よりライセンスを受けています。

Swiss 721, Swiss 721 Oblique, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Dutch 801 Roman, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Symbol,

Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text,

Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text,

Century 702, Century Schoolbook, Century 702, Century Schoolbook Italic,

Century 702, Century Schoolbook Bold, Century 702, Century Schoolbook Bold Italic,

Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Oblique, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique,

Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic,

Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geomet-

ric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, Reval 711 ITC

Bookman Light, Reval 711 ITC Bookman Light Italic, Reval 711 ITC Bookman Demi, Reval 711 ITC Bookman

Demi Italic, Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic and ITC Zapf Dingbats

次の各書体名は、米国インターナショナルタイプフェイス社の商標です。

ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery and ITC Zapf Dingbats

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

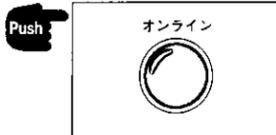
本機で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5を使用しています。これらのフォントは(財)日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

メニュースタートアップ

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する **MAP A** から **MAP C** をご覧ください。

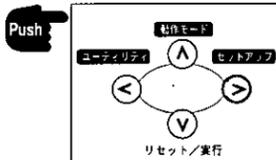
MAP A 共通セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



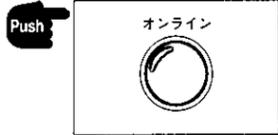
2. [セットアップ] ボタンを押します。セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →



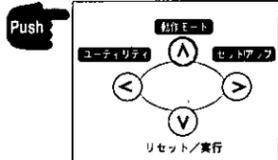
MAP C 動作モードメニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



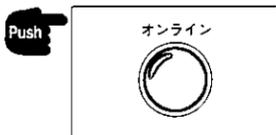
2. [動作モード] ボタンを押します。動作モードメニューが表示されます。

ドウサモード
=ジドウ センタク →



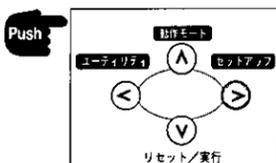
MAP A LIPS専用セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



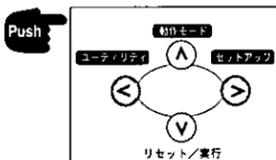
2. [セットアップ] ボタンを押します。セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →



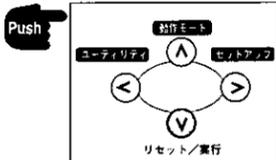
3. [LIPS セットアップ] を表示します。[<] ボタンまたは [>] ボタンを押します。

セットアップ
LIPS セットアップ →



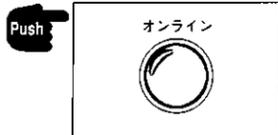
4. 下の階層へ進みます。[V] ボタンを押します。LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

LIPS セットアップ
カクダイ/シュクショー →



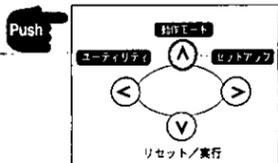
MAP C 優先エミュレーションメニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



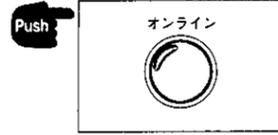
2. [動作モード] ボタンを約3秒以上押します。優先エミュレーションメニューが表示されます。

ユウセン エミュレーション
=N201 →



MAP C 給紙選択メニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



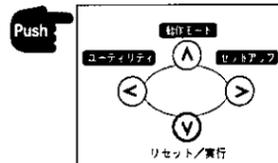
2. [給紙選択] ボタンを押します。

キュウシ モード
→



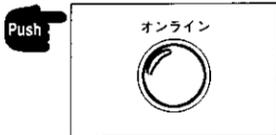
3. 下の階層へ進みます。[V] ボタンを押します。給紙選択メニューが表示されます。

キュウシ モード
=ジドウ →



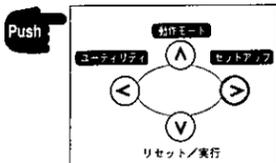
MAP B ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



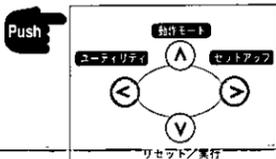
2. [セットアップ] ボタンを押します。セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →



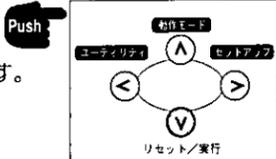
3. [ESC/P セットアップ] を表示します。[<] ボタンまたは [>] ボタンを押します。

セットアップ
ESC/P セットアップ →



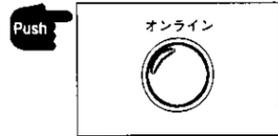
4. 下の階層へ進みます。[V] ボタンを押します。ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ESC/P セットアップ
ページレイアウト →



MAP C トレイ用紙サイズ選択メニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



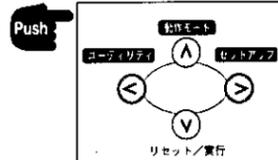
2. [給紙選択] ボタンを押します。

キュウシ モード
→



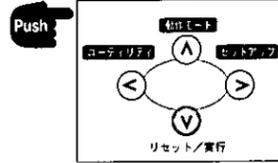
3. [トレイ ヨウシ サイズ] を表示します。[<] ボタンまたは [>] ボタンを押します。

トレイ ヨウシ サイズ
→



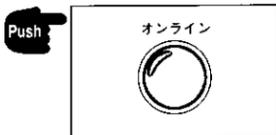
4. 下の階層へ進みます。[V] ボタンを押します。トレイ用紙サイズ選択メニューが表示されます。

トレイ ヨウシ サイズ
=A4 →



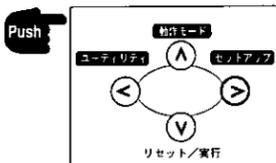
MAP B N201専用セットアップメニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。



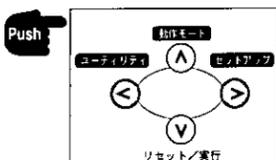
2. [セットアップ] ボタンを押します。セットアップメニューが表示されます。

セットアップ
カクチョウ キノウ →



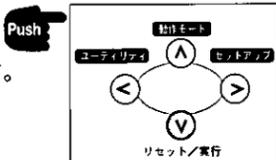
3. [N201 セットアップ] を表示します。[<] ボタンまたは [>] ボタンを押します。

セットアップ
N201 セットアップ →



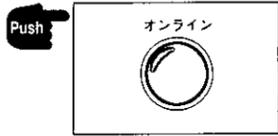
4. 下の階層へ進みます。[V] ボタンを押します。N201専用セットアップメニューが表示されます。

N201 セットアップ
ページレイアウト →



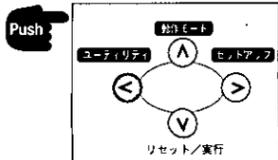
MAP C ユーティリティメニューを表示する

1. [オンライン] ボタンを押して、ボタンを消灯させます。

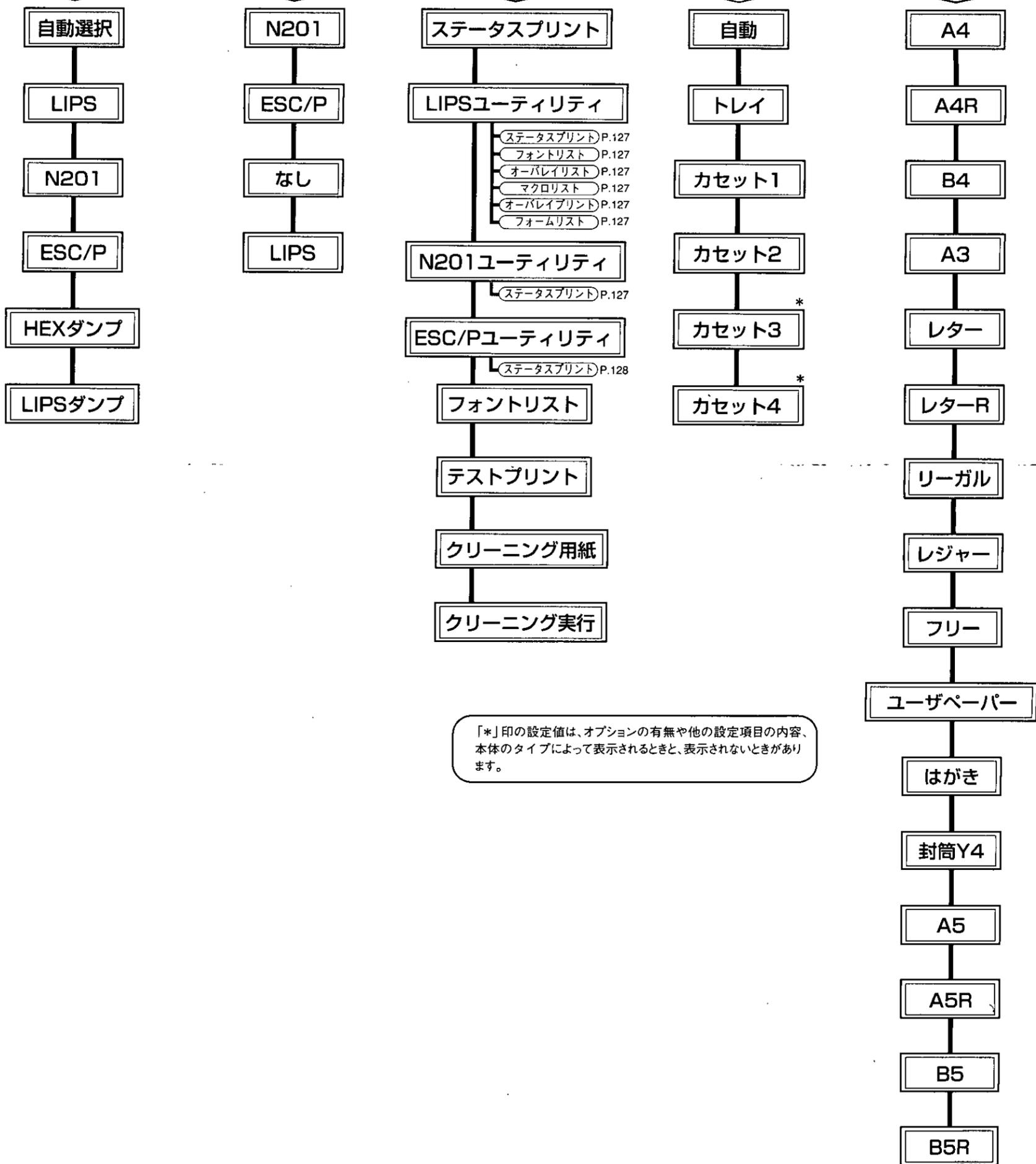


2. [ユーティリティ] ボタンを押します。ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ
ステータス プリント →



動作系メニュー	優先エミュレーションメニュー 優先エミュレーションメニューの操作の流れ→P.24 優先エミュレーションメニューを設定する→P.125	ユーティリティメニュー ユーティリティメニューの操作の流れ→P.26 ユーティリティメニューを設定する→P.126	給紙選択メニュー 給紙選択メニューの操作の流れ→P.28 給紙選択メニューを設定する→P.129	トレイ用紙サイズ選択メニュー トレイ用紙サイズ選択メニューの操作の流れ→P.29 トレイ用紙サイズ選択メニューを設定する→P.131
---------	--	---	--	--



「*」印の設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容、本体のタイプによって表示されるときと、表示されないときがあります。

注 意

本製品は、外国為替および外国簡易管理法が定める規制貨物に該当いたします。
本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.



この取扱説明書は、
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います。

使い方等でご不明の点がございましたら、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



NTT

NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION

日本電信電話株式会社

〒163-8019 東京都新宿区西新宿3-19-2

本1864-1(98.9)